

教 育 要 覧

南相馬市の教育

令和元年度
(2019)

南相馬市教育委員会

目 次

I	市勢概況	
1	南相馬市のシンボル	1
2	南相馬市の概要	1
3	南相馬市の人口・世帯数	1
4	位置及び面積	2
5	南相馬市民の歌	2
6	東日本大震災における状況	3
II	教育行政	
1	教育委員	9
2	教育委員会の沿革	10
3	教育委員会組織機構と事務分掌	12
4	南相馬市復興総合計画後期基本計画	15
5	令和元年度南相馬市学校教育努力目標	16
III	教育財政	
1	令和元年度当初予算	22
2	令和元年度教育費等予算	23
IV	学校教育	
1	学校一覧	24
2	児童・生徒数	28
3	教育指導	32
4	就学奨励	38
5	学校保健・安全	40
6	学校給食	47
7	学校施設一覧	48
8	学校施設関連事業計画・実施状況	52
9	高等学校・専修学校	54
V	幼児教育	
1	幼稚園・保育園一覧	56
2	園児数	62
3	保健・安全	65
4	幼稚園給食	65
5	幼稚園・保育園施設一覧	66
6	放課後児童クラブ・児童教室	68
7	事業計画・実施状況	74
VI	生涯学習・文化振興	
1	生涯学習関係	76
2	生涯学習センター関係	87
3	南相馬市生涯学習施設一覧	100
4	図書館関係	102
5	文化振興関係	116
VII	歴史文化	
1	文化財保護関係	120
2	博物館関係	126
3	市史編さん関係	133
VIII	スポーツ	
1	スポーツ関係	135
2	スポーツ施設一覧	145
3	学校体育施設開放	155
IX	各種委員会等名簿	156
X	教育史年表	161

I 市勢概況

1 南相馬市のシンボル

(1) 市章



緑と青の2色は山・川・海の豊かな自然を象徴。
連携する3つの円は合併3市町の絆であり、調和・協調・交流を表わし、オレンジの円に一人ひとりの輝きと市民の活力の意味を込めて、ゆとりある未来を創造する「南相馬市」の発展の姿を、安定感あるフォルムで表現しました。

(2) 市の花・木・鳥・魚・昆虫



花：さくら



木：けやき



鳥：ひばり



魚：さけ



昆虫：ほたる

2 南相馬市の概要

平成18年1月1日、小高町、鹿島町及び原町市が合併して「南相馬市」が誕生しました。南相馬市は、福島県浜通りの北部で太平洋に面し、緑深い阿武隈の山すそに広がる豊かな平野で、海洋性の穏やかな気候に恵まれたまちです。

3 南相馬市の人口・世帯数（住民基本台帳登録人口）

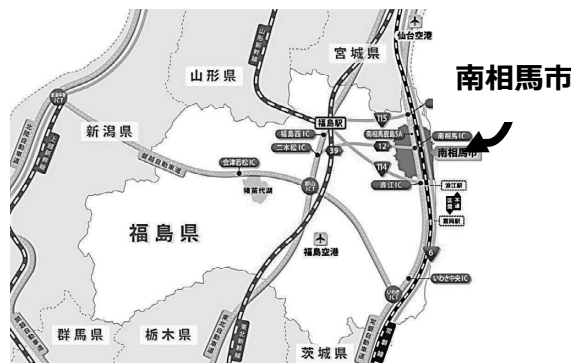
（令和元年5月31日現在）

	人口（人）			世帯数
	男	女	計	
小高区	3,741	3,949	7,690	2,783
鹿島区	5,173	5,265	10,438	3,693
原町区	20,977	20,992	41,969	17,480
合 計	29,891	30,206	60,097	23,956

※住民基本台帳登録人口は、住民基本台帳に登録された人口です。直近の国勢調査人口を基本にその後の人口動態（出生・死亡・転入・転出）から算出した現住人口とは差があります。

4 位置及び面積

福島県太平洋沿岸北部にあり、東京から 292 km。
いわき市と仙台市のほぼ中間に位置しています。



【位置】	【面積】
東経 140 度 57 分 38 秒	南相馬市 398.5 k m ²
北緯 37 度 38 分 21 秒	福島県 13,782.48 k m ²

5 南相馬市民の歌

作 詞 佐藤 邦雄
補作詞 市民歌制定委員会
作 曲 大島ミチル

- 山並み遠く 雲が流れ
風さわやかに 野を渡る
ここはふるさと 野馬追の里
雲雀が原に 馬駆ける
南相馬市 ここに生まれ
心晴れ晴れ 未来に広がる
- 朝霧晴れて 陽は昇る
太平洋の海 洋々と
ここはふるさと 万葉の里
古代の夢が よみがえる
南相馬市 ここに生きる
光を浴びて 日々新しく
- 歌声高く 湧くところ
笑顔あふれて 花ひらく
ここはふるさと 紅梅の里
はじける火花 空に咲く
南相馬市 ここに生きて
明るい朝を 共に迎える

作詞：佐藤 邦雄
補作詞：市民歌制定委員会
作曲：大島 ミチル

♩=87 *mf*

やまなみ とお く も が な が れ
あさぎり は れ て ひ は の ほ ー
うたごえ たか く わく と こー

か ぜ さ わ や か に の を わ た ー
たいへいの う み よう よ う と
えがおあふ れ て は な ひ ら く

こ こ は ふ る さ と の ま お い の さ と
こ こ は ふ る さ と ま ん よ う の さ と
こ こ は ふ る さ と こ う ば い の さ と

ひ ば り が は ら に う ま が け ー る
こ だ い の ゆ め が よ み が え ー
は じ け る ひ ば な そ ら に さ ー く

f

み な み そ う ま し こ こ に う ま ー れ
み な み そ う ま し こ こ に い き ー
み な み そ う ま し こ こ に い き ー

こ ころ は れ ば れ て み ら い に ひ ろ が
ひ か り を あ び て ひ び あ た ら し ー く
あ か る い あ さ を と も に む か え ー る

※伴奏付きで演奏する場合は、前奏、1番の後に2番の後に間奏、3番の後に後奏が入ります。

6 東日本大震災における南相馬市の状況

(1) 東日本大震災に伴う被災等の状況

平成 23 年	南相馬市で震度 6 弱を観測
3 月 11 日 14:46	
3 月 11 日 15:35 頃	津波到達
3 月 12 日 5:44	福島第一原子力発電所から半径 10 km 圏内の住民に避難指示
3 月 12 日 18:25	福島第一原子力発電所から半径 20 km 圏内の住民に避難指示
3 月 15 日 11:00	福島第一原子力発電所から半径 20 km 以上 30 km 圏内の住民は外出せず、自宅など屋内に退避の指示
3 月 15 日～17 日	市がバスで市内の避難所から市外に避難を誘導 (1,939 人)
3 月 18 日～20 日	市がバスで集団避難を誘導 (2,725 人)
3 月 25 日	市がバスで集団避難を誘導 (142 人)
4 月 21 日 11:00	福島第一原子力発電所から半径 20 km 圏内を警戒区域に指示 (4 月 22 日 0:00 警戒区域に設定)
4 月 22 日 9:44	福島第一原子力発電所から半径 20 km 以上 30 km 圏内に指示していた屋内への退避を解除、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定
7 月 21 日 12:30	特定避難勧奨地点として 57 地点 (59 世帯) を設定
8 月 3 日 12:00	特定避難勧奨地点として 65 地点 (72 世帯) を追加設定
9 月 30 日 18:11	緊急時避難準備区域を解除
11 月 25 日 10:00	特定避難勧奨地点として 20 地点 (22 世帯) を追加設定
平成 24 年	警戒区域及び計画的避難区域を、避難指示解除準備区域、居住制限区域及び帰還困難区域に見直し
4 月 16 日 0:00	
平成 26 年	特定避難勧奨地点を解除
12 月 28 日 0:00	
平成 28 年	国、県及び市で避難指示解除準備区域及び居住制限区域の避難指示を平成 28 年 7 月 12 日に解除することに合意
5 月 27 日	
5 月 31 日	国の原子力災害対策本部において、避難指示解除準備区域及び居住制限区域の避難指示を平成 28 年 7 月 12 日に解除することを決定
7 月 12 日 0:00	居住制限区域及び避難指示解除準備区域を解除

(2) 東日本大震災に伴う教育施設等の被災状況

平成23年

3月11日	東日本大震災（震度6弱、大津波警報） 大津波により真野小学校及び真野幼稚園が被災
4月22日	緊急時避難準備区域指定 (福島第一原発から半径20km～30km圏内は教育施設休止)
4月22日	小・中学校の再開（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等） 炊き出し昼食提供開始（2,500食）
4月25日	小学1年生の入学式（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
5月6日	公立保育園の再開（かしま保育園・かみまの保育園） 私立保育園の再開（原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園が鹿島区 寺内地区に臨時園舎にて再開） 児童クラブの再開（千倉（鹿島）・上真野・八沢児童クラブ）
6月1日	公立幼稚園の再開（鹿島区鹿島幼稚園・上真野幼稚園）
8月1日～ 11月5日	除染作業（保育園・幼稚園・小・中学校の校庭・園庭の表土入替え 及び校舎・園舎の洗浄）（警戒区域を除く。）
8月5日～7日	中央図書館・博物館施設除染作業
8月9日	中央図書館・博物館の再開
8月25日	学校給食再開（3,300食） 鹿島区内小・中学校にユニット教室完成・使用開始（24教室～高平小・ 大甕小・ <u>原町一小</u> ・ <u>石神二小</u> ・小高小・ <u>金房小</u> ・ <u>鳩原小</u> ・ <u>原町二中</u> ） ※ <u> </u> は一部使用校
9月1日	公立幼稚園の再開（鹿島区八沢幼稚園）
10月11日	私立保育園の本園再開（原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園）
10月17日	原町区内小中学校の本校再開①（原町一小・原町三小・大甕小・原町一 中・原町二中） 児童クラブの再開（東町・上町・大甕児童クラブ）
11月1日	私立幼稚園再開（青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園・さゆり幼稚園）
11月21日	仮設校舎完成・使用開始（鹿島小仮設校舎～真野小・福浦小・小高中・ 鹿島中仮設校舎～石神一小・石神中）
12月6日	鹿島図書館、市民情報交流センターの再開

平成24年

1月10日	原町区内小学校の本校再開②（原町二小・高平小・太田小） 児童クラブの再開（橋本町児童クラブ・高平児童館）
2月15日～	小・中学校プールの除染作業（警戒区域を除く）
3月31日	
2月27日	原町区内小中学校の本校再開③（石神一小・石神二小・原町三中・石神中） 児童クラブの再開（石神第二児童クラブ）
4月 1日	児童クラブの再開（石神第一児童クラブ） 公立幼稚園の再開（高平幼稚園・大甕幼稚園）
4月 3日	学校図書館支援員の派遣開始（原町三小・石神二小・小高小・鹿島小）
4月 6日	小高・金房・鳩原小が鹿島小及びユニット教室から鹿島中仮設校舎へ引越し
7月 2日	児童クラブの再開（太田児童クラブ・仲町児童センター）
9月 3日	小高区児童（小高小、金房小） 鹿島児童クラブから上真野児童クラブへ移動

平成25年

4月 1日	福浦小が鹿島小仮設校舎から鹿島中仮設校舎へ引越し 真野小が鹿島小仮設校舎から鹿島小校舎へ引越し 東町児童クラブの分割（東町児童クラブ1、2） 児童クラブの再開（原町第一児童クラブ、小高合同児童クラブ）
-------	---

平成26年

3月31日	真野幼稚園の廃止
4月 1日	真野小を鹿島小に統合
9月 3日	新八沢児童クラブ開所

平成27年

4月 1日	公立保育園の再開（原町あずま保育園） 上町児童クラブの分割（上町児童クラブ1、2）
-------	--

平成28年

4月 1日	小高区内4小学校（小高小、福浦小、金房小、鳩原小）合同運営開始
4月23日	公立保育園の再開（原町さくらい保育園）
7月15日	小高図書館再開 埴谷・島尾記念文学資料館再開
7月21日	新鹿島児童クラブ開所

平成29年

4月 1日	小高小学校（小高小、福浦小、金房小、鳩原小合同運営）、小高中学校、 小高幼稚園の本校・本園再開
-------	--

(3) 平成23年度以降の各小・中学校の移転状況

	H23.4.22	H23.8.29	H23.10.17	H23.11.21	H24.1.10	H24.2.27	H24.4.6	H25.4.1	H26.4.1	H29.4.1
原町第一 小学校	鹿島小 校舎	一部鹿島 小ユニット	本校再開							
原町第二 小学校	八沢小 校舎				本校再開					
原町第三 小学校	鹿島小 校舎		本校再開							
高平 小学校	八沢小 校舎	八沢小 ユニット			本校再開					
大甕 小学校	八沢小 校舎	八沢小 ユニット	本校再開							
太田 小学校	八沢小 校舎		大甕小に 同居		本校再開					
石神第一 小学校	前川原 体育館			鹿島中内 仮設校舎		本校再開				
石神第二 小学校	上真野小 校舎	一部上真 野小ユニット				本校再開				
鹿島 小学校	本 校									
真野 小学校	農村環境 改善センター			鹿島小内 仮設校舎				鹿島小 校舎	鹿島小に 統合	
八沢 小学校	本 校									
上真野 小学校	本 校									
小高 小学校	鹿島小 校舎	鹿島小 ユニット	鹿島小 校舎				鹿島中内 仮設校舎			本校再開
福浦 小学校	八沢小 校舎		八沢小 ユニット	鹿島小内 仮設校舎				鹿島中内 仮設校舎		小高小 合同運営
金房 小学校	上真野小 校舎	一部上真 野小ユニット	鹿島小 ユニット				鹿島中内 仮設校舎			小高小 合同運営
鳩原 小学校	上真野小 校舎	一部上真 野小ユニット	鹿島小 ユニット				鹿島中内 仮設校舎			小高小 合同運営
原町第一 中学校	鹿島小 体育館		自校再開							
原町第二 中学校	鹿島中 校舎	鹿島中 ユニット	自校再開							
原町第三 中学校	鹿島中 校舎		鹿島中 ユニット	鹿島中 校舎		本校再開				
石神 中学校	鹿島中 校舎			鹿島中内 仮設校舎		本校再開				
鹿島 中学校	本 校									
小高 中学校	鹿島中 校舎			鹿島小内 仮設校舎						本校再開

(4) 東日本大震災に伴う児童・生徒の死亡及び行方不明者数、遺児・孤児数

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

① 児童・生徒の死亡及び行方不明者

	死亡	行方不明	計
小学生	11 人	0 人	11 人
中学生	8 人	0 人	8 人
計	19 人	0 人	19 人

② 遺児・孤児

() 内は昨年的人数

		遺児	孤児	計
区 分 別 の 内 訳	未就学児等	0 人 (1 人)	0 人 (0 人)	0 人 (1 人)
	小学生	14 人 (15 人)	0 人 (1 人)	14 人 (16 人)
	中学生	10 人 (10 人)	1 人 (1 人)	11 人 (11 人)
	高校生	8 人 (11 人)	1 人 (0 人)	9 人 (11 人)
	計	32 人 (37 人)	2 人 (2 人)	34 人 (39 人)

3.11 東日本大震災による被災状況図

宇野図 南相馬市 縮尺 1:25,000

人的被害 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

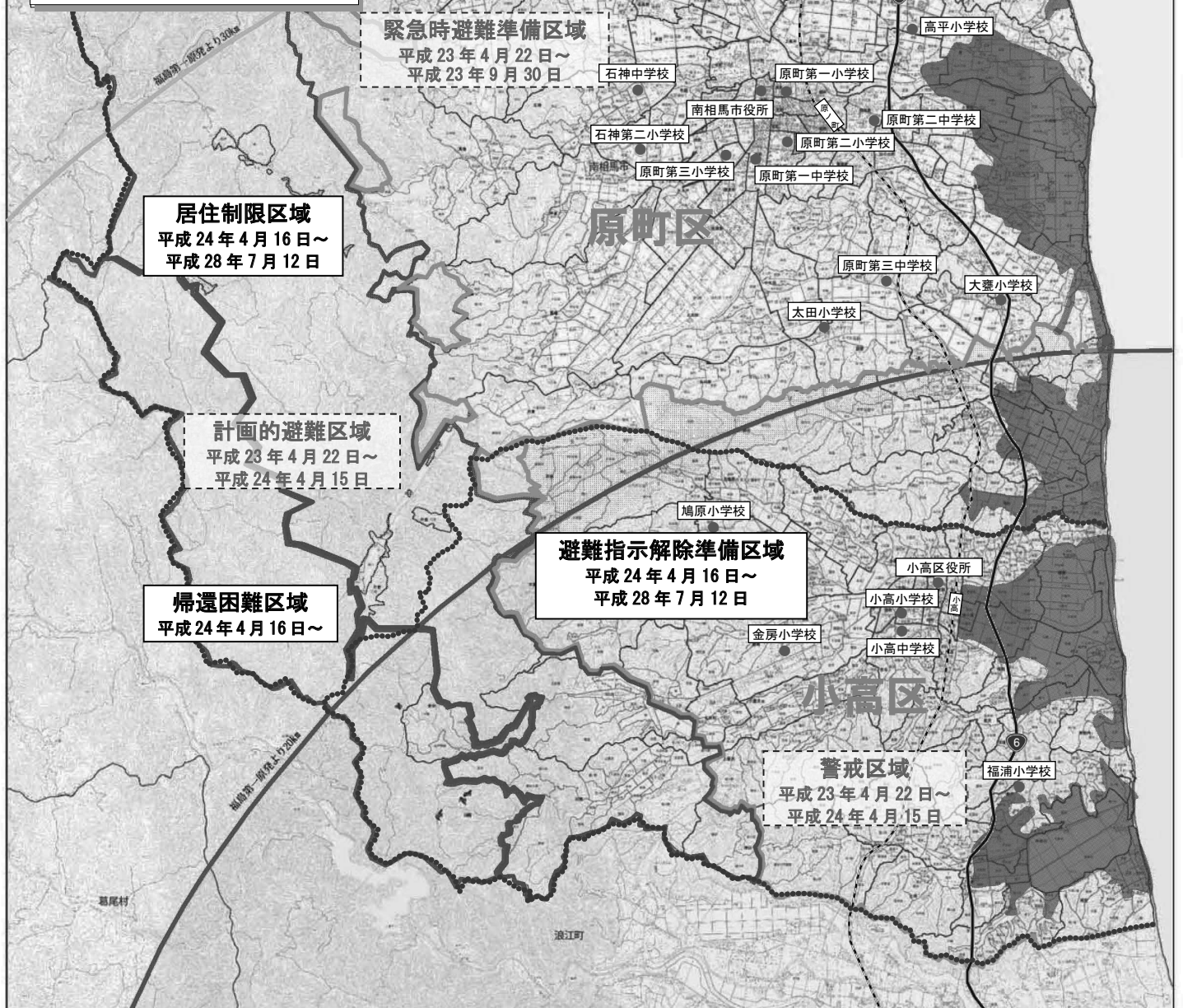
- ・ 死者 1,149 人
(うち関連死 513 人)
- ・ 行方不明者 0 人
- ・ 負傷者 59 人
(重傷 2 人、軽症 57 人)

住家被害 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

区	全世帯数	被害世帯数
小高区	3,771	2,236
鹿島区	3,460	1,051
原町区	16,667	2,029
合計	23,898	5,316

津波被害面積 (平成 23 年 4 月 8 日現在)

区	地区	面積
鹿島区	八沢	5.0 k m ²
	南海老～鳥崎	10.8 k m ²
	小 計	15.8 k m ²
原町区	金沢・北泉	1.6 k m ²
	泉～雫	9.1 k m ²
	小浜～小沢	3.8 k m ²
	小 計	14.5 k m ²
小高区	塚原～角部内	5.6 k m ²
	井田川～浦尻	4.9 k m ²
	小 計	10.5 k m ²
合 計		40.8 k m ²



Ⅱ 教育行政

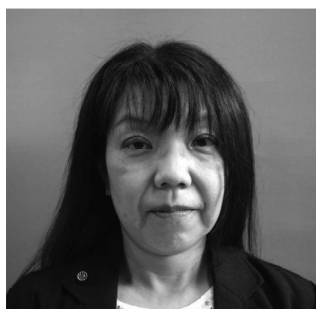
1 教育委員



教育長
大和田 博行



教育長職務代理者
大石 力彌



教育委員
高野 恵以子



教育委員
渡辺 金作



教育委員
濱須 弘仲

(令和元年7月1日現在)

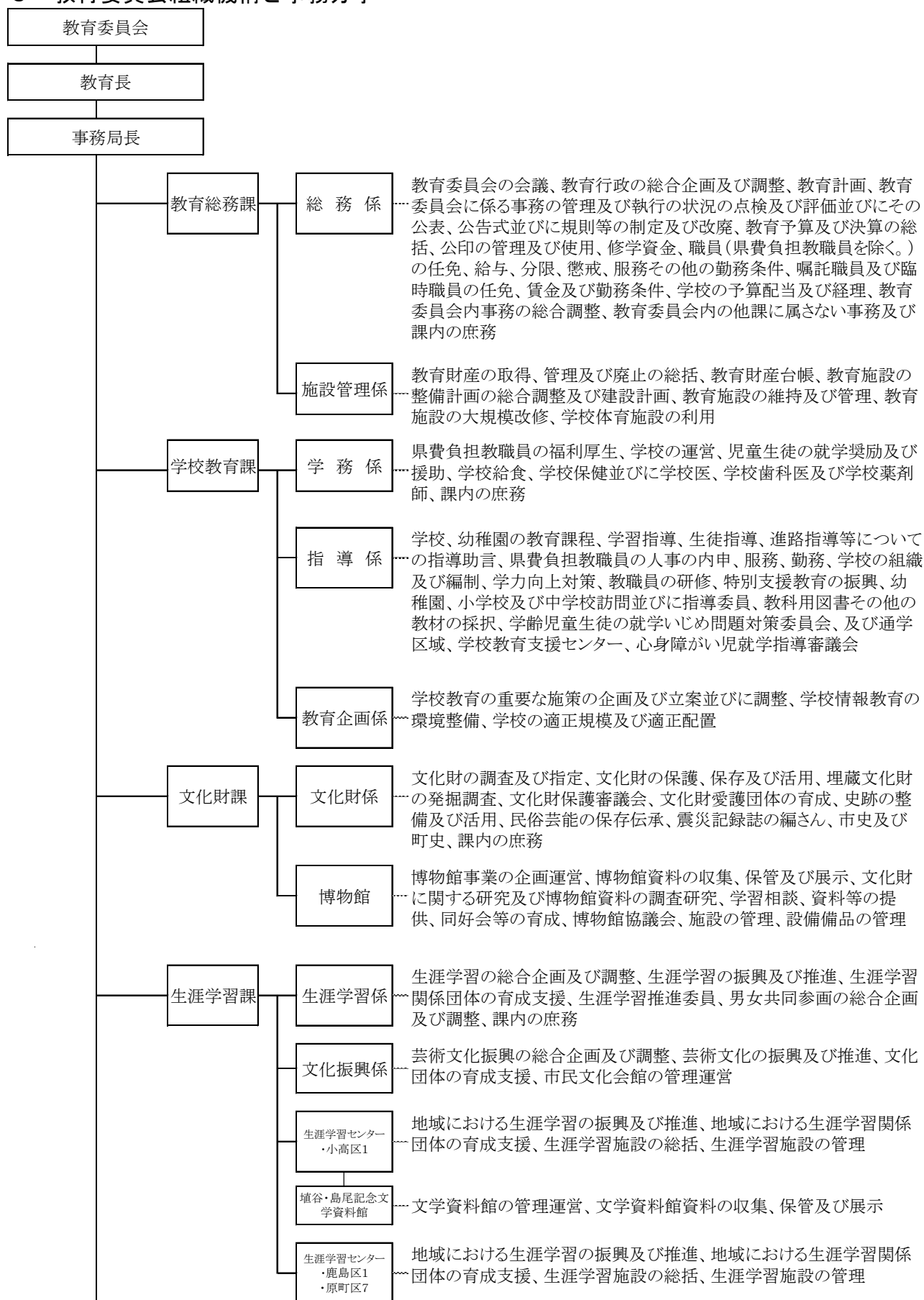
区 分	氏 名	就任年月日	任期年月日
教 育 長	大和田 博行	H30. 4. 1	R3. 3. 31
教育長職務代理者	大石 力彌	H29. 3. 29	R3. 3. 28
委 員	高野 恵以子	H30. 3. 29	R4. 3. 28
委 員	渡辺 金作	R 1. 6. 27	R5. 6. 26
委 員	濱須 弘仲	H28. 3. 29	R2. 3. 28

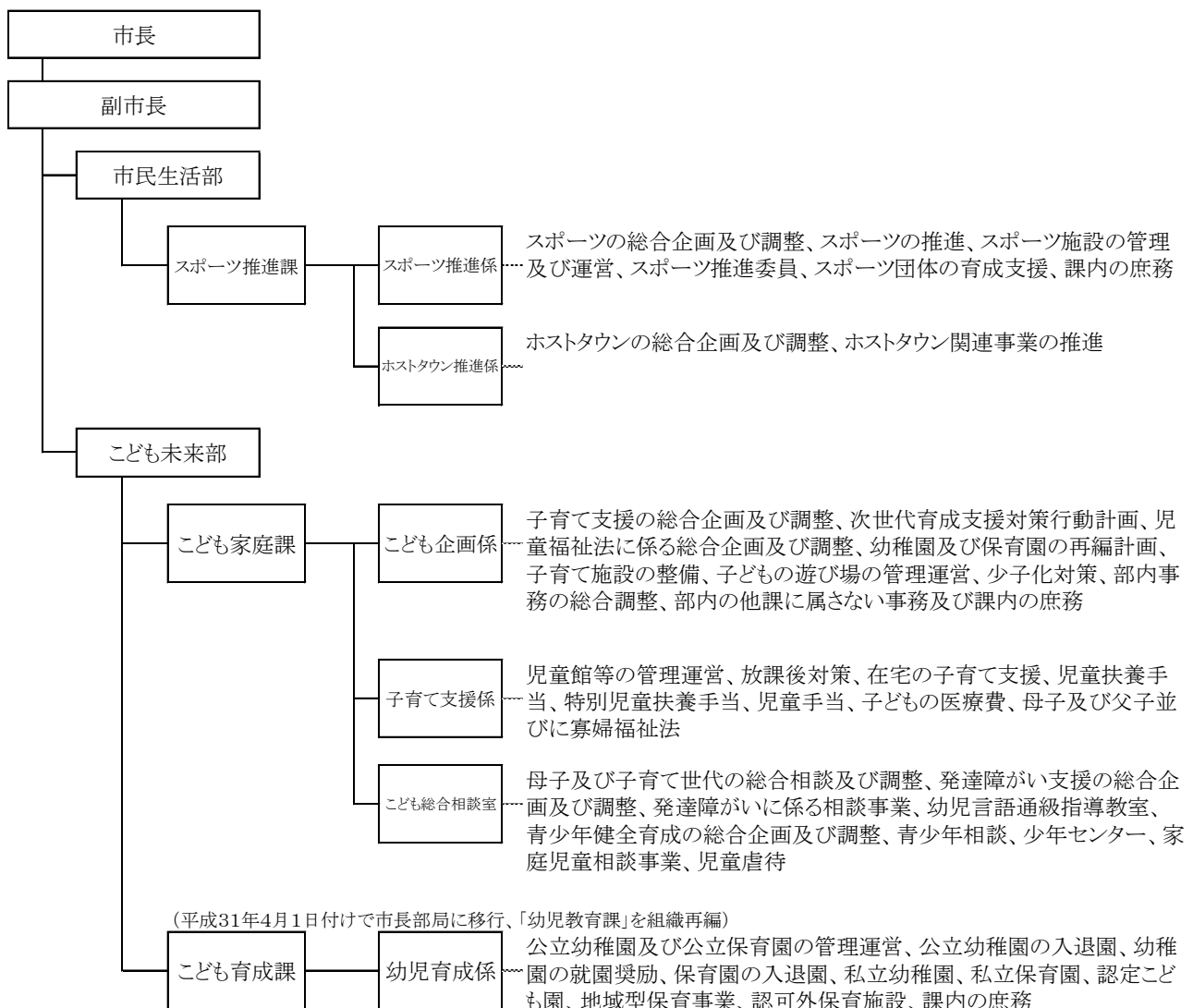
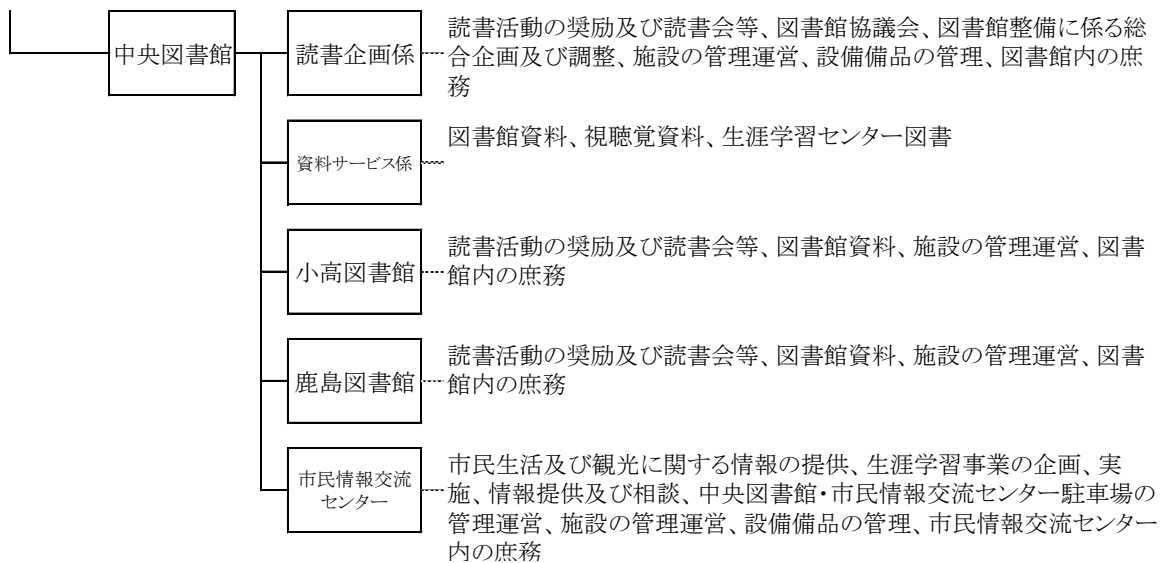
2 教育委員会の沿革

年 月 日	教 育 長	委 員 長	委 員 長 職務代理者	教 育 委 員
平成18. 1. 1	小高町・鹿島町・原町市の2町・1市が合併「南相馬市」となる			
平成18. 1. 1	青木 紀男（就任）	渡部 光明（就任）	荒川 登（就任）	渡部 光明（就任）
				荒川 登（就任）
				青木 紀男（就任）
				菊地 清人（就任）
				前田 英子（就任）
平成18. 3. 29	青木 紀男（再任）	渡部 光明（再任）	横田 芳朝（就任）	横田 芳朝（1年）
				菊地 清人（2年）
				渡部 光明（3年）
				青木 紀男（4年）
				鎌田 芳子（4年）
平成19. 3. 28				横田 芳朝（退任）
平成19. 3. 29		渡部 光明（再任）	鎌田 芳子（就任）	
平成19. 6. 27				水谷 隆（就任）
平成20. 3. 28				菊地 清人（退任）
平成20. 3. 29		渡部 光明（再任）	鎌田 芳子（再任）	大瀬 幸枝（就任）
平成21. 3. 28				渡部 光明（退任）
平成21. 3. 29		大石 力彌（就任）	鎌田 芳子（再任）	大石 力彌（就任）
平成22. 3. 28				鎌田 芳子（退任）
平成22. 3. 29	青木 紀男（再任）	大石 力彌（再任）	水谷 隆（就任）	吉田 奈保美（就任）
平成23. 3. 29		大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	
平成23. 6. 27			水谷 隆（再任）	水谷 隆（再任）
平成24. 3. 28				大瀬 幸枝（退任）
平成24. 3. 29		大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	宮本 晴一（就任）
平成25. 3. 29		大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	大石 力彌（再任）
平成26. 3. 28				吉田 奈保美（退任）
平成26. 3. 29	青木 紀男（就任）	大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	高野 恵以子（就任）
平成27. 3. 31	青木 紀男（退任）			

教育委員会制度改正により役職変更				
年 月 日	教 育 長	教 育 長 職務代理者	教 育 委 員	
平成27. 4. 1	阿部 貞康（就任）	大石 力彌（就任）		
平成27. 6. 26			水谷 隆 （退任）	
平成27. 6. 27			渡辺 金作（就任）	
平成28. 3. 28			宮本 晴一（退任）	
平成28. 3. 29			濱須 弘仲（就任）	
平成29. 3. 29		大石 力彌（再任）		
平成30. 3. 29			高野 恵以子（再任）	
平成30. 3. 31	阿部 貞康（退任）			
平成30. 4. 1	大和田 博行（就任）			
令和元. 6. 27			渡辺 金作（再任）	

3 教育委員会組織機構と事務分掌





教育機関等の所属

所属	機関名
事務局	原町第一小学校、原町第二小学校、原町第三小学校、高平小学校、大甕小学校、太田小学校、石神第一小学校、石神第二小学校、鹿島小学校、八沢小学校、上真野小学校、小高小学校、福浦小学校、金房小学校、鳩原小学校、原町第一中学校、原町第二中学校、原町第三中学校、石神中学校、鹿島中学校、小高中学校
学校教育課	南相馬市学校給食センター
こども家庭課 ※平成31年4月1日付けで 組織再編	東町児童センター、上町児童センター、橋本町児童センター、八沢児童クラブ、鹿島児童クラブ
こども育成課 ※平成31年4月1日付けで 組織再編	高平幼稚園、大甕幼稚園、太田幼稚園、石神第一幼稚園、石神第二幼稚園、鹿島幼稚園、八沢幼稚園、上真野幼稚園、小高幼稚園、福浦幼稚園、金房幼稚園、鳩原幼稚園、原町あずま保育園、原町なかまち保育園、原町さくら保育園、おだか保育園、かしま保育園、かみまの保育園
文化財課	南相馬市博物館、文化財整理室
南相馬市立中央図書館	南相馬市立中央図書館、南相馬市立小高図書館、南相馬市立鹿島図書館、南相馬市民情報交流センター
生涯学習課 ※平成31年4月1日付けで 教育委員会に編入	小高生涯学習センター「浮舟文化会館」、埴谷・島尾記念文学資料館、南相馬市就業改善センター、南相馬市小高コミュニティセンター、鹿島生涯学習センター、南相馬市鹿島農村環境改善センター、原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」、太田生涯学習センター、大甕生涯学習センター、高平生涯学習センター、石神生涯学習センター、ひがし生涯学習センター、ひばり生涯学習センター、南相馬市労働福祉会館、南相馬市民文化会館
スポーツ推進課	南相馬市スポーツセンター、雲雀ヶ原陸上競技場、夜の森公園テニスコート、南相馬市テニスコート、南相馬市弓道場、南相馬市野球場、南相馬市民プール、小川町体育館、南相馬市サッカー場、北新田第一運動場、北新田第二運動場、北新田野球場、南相馬市相撲場、栄町柔剣道場、南相馬市馬事公苑、南相馬屋内市民プール、小高体育センター、小高東部運動場、小高中部運動場、小高西部運動場、小高片草運動場、千倉体育館、前川原体育館、千倉グラウンド、前川原グラウンド、千倉テニスコート、みちのく鹿島球場、鹿島B&G海洋センター、鹿島体育館、南相馬市パークゴルフ場

4 南相馬市復興総合計画後期基本計画（教育委員会部分抜粋）

政策の柱 1 教育・子育て

基本施策

1 学校教育

- ① 豊かな心と体の育成
 - ◎ 郷土を愛し豊かな心を育む教育「至誠学」を推進
 - ◎ 不登校・いじめ未然防止へ積極的に対応
 - ◎ 運動の習慣化や正しい食生活を身につけ、健康な体を育む教育を推進
- ② 教育水準の向上
 - ◎ 教育指導体制を充実
 - ◎ 地域性を生かした魅力ある教育環境づくりを推進
 - ◎ 小高区の文教ゾーンを生かした魅力ある教育環境を整備
 - ◎ 学校図書館の充実と調べ学習を推進
 - ◎ 地域の状況に応じた市内小中学校の適正化を推進
- ③ 学校環境の整備
 - ◎ 学校・地域・保護者が一体となった学校づくりを推進
 - ◎ 地域と連携した登下校時の安全確保や安全な通学手段を確保
 - ◎ 学校施設の環境整備・改善に取り組む
 - ◎ 安全・安心な学校給食を安定的に供給できる体制を整備

2 子育て

- ④ 結婚・妊娠・出産への支援
 - ◎ 母子保健事業及び子育て世代包括支援センター事業の充実
 - ◎ 妊産婦や子育て家庭の経済的負担等の軽減
 - ◎ 男女の出会いの場づくりに取り組む
- ⑤ 保育・幼児教育の充実
 - ◎ 利用者の立場に立った保育サービスの充実
 - ◎ 保護者の経済的負担の軽減
 - ◎ 園児の可能性や特性を引き出す幼児教育を推進
 - ◎ 保育士・幼稚園教諭の人材確保に取り組む
 - ◎ 私立・公立保育園（所）・幼稚園のあり方を検討
- ⑥ 子育て環境の充実
 - ◎ 多様化する子育て家庭のニーズに対応
 - ◎ 子どもや子育て家庭への保険・福祉が一体となった総合的な支援
 - ◎ 子育てに関する相談・支援体制や情報発信の充実
 - ◎ 児童虐待防止対策の充実
 - ◎ 震災遺児・孤児等の経済的負担の軽減
 - ◎ 子どもがのびのびと遊ぶことができる施設を整備
 - ◎ 子育て支援団体の活性化や遊び環境の充実
 - ◎ 進学を推進するための支援
 - ◎ 児童発達支援 ◎小中学校への思春期保健事業
 - ◎ 子どもの発達段階に応えた読書活動を支援

3 生涯学習・スポーツ

- ⑦ 生涯学習の充実
 - ◎ 市民が生涯にわたって、学ぶことができる環境を整備
 - ◎ 子育て世代や青壮年層が参加しやすい生涯学習機会の充実
 - ◎ 震災資料等の歴史・民俗資料を適切に収集・保存し、学校教育や生涯学習への活用
 - ◎ 博物館・図書館の魅力ある企画等の充実
 - ◎ 読書活動の推進と図書館資料の充実
 - ◎ 男女双方の視点から施策を実施するため、あらゆる分野への女性の参画拡大
- ⑧ 芸術文化の充実
 - ◎ 身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりを推進
 - ◎ 芸術文化活動が行いやすく、参加しやすい環境を整備
 - ◎ 芸術文化活動団体の組織力強化に取り組む
- ⑨ スポーツの振興
 - ◎ スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充
 - ◎ 各種スポーツ団体の強化と指導者の育成に取り組む
 - ◎ 安心してスポーツ施設を利用できるよう施設の整備や改修に取り組む
 - ◎ 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン国との相互交流を推進

5 令和元年度南相馬市学校教育努力目標

【基本目標】

「確かな学力」の定着を図るとともに、「豊かな心」、「健やかな体」を培うなど、「知・徳・体」をバランスよく育成する教育活動を推進する。

【具体目標】

- 1 確かな学力の育成
- 2 道德教育、生徒指導の充実
- 3 体育と健康に関する指導の充実
- 4 特別支援教育の推進
- 5 開かれた学校づくりの推進
- 6 図書館教育の充実

1 確かな学力の育成

(1) 確かな学力を育成する学校教育の充実

- ① 温かい人間関係を基盤に、児童生徒が共に高め合い、主体的に学習に取り組もうとする態度の育成に努める。
- ② 少人数指導、複数の教師による指導等、個に応じたきめ細やかな指導の一層の充実、指導内容の明確化等、授業の改善に努める。
- ③ 市教育委員会作成「授業改善プラン」等で示した「全小・中学校で取り組みたい9つの課題」及び「南相馬の授業スタイル」にもとづき、同一步調で授業改善・授業展開の工夫に努め、全国トップレベルの学力を目指す。
- ④ 児童生徒の学ぶ意欲を育成するとともに、望ましい学習習慣の確立を図る。
- ⑤ 移行期間中においても、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育成することを目指す新学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた指導の充実を図る。
- ⑥ ICT機器を効果的に活用した教育や中央図書館との連携・協力による教育の充実に努める。
- ⑦ 児童生徒や保護者のニーズに応える特別支援教育の充実に努める。
- ⑧ 自国や他国の文化に対する理解を深める活動の充実や、豊かな語学力・コミュニケーション能力育成のための外国語教育の充実を図り、グローバル化に対応した教育を推進する。

(2) 体験的・問題解決的な活動を取り入れた学習や主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善

- ① 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育て、知の総合化を目指した「総合的な学習の時間」の充実を図る。
- ② 市内外の各種施設、人材を活用した地域の歴史や伝統・文化、報徳仕法等、地域に根ざしたふるさと教育を推進し、郷土や地域社会の一員としての自覚や主体的態度の育成に努める。

- ③ 体験的な学習や問題解決的な学習にじっくり取り組むことができるよう、単位時間の弾力的な運用と学習活動・内容の工夫を行う。
- ④ 単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。

(3) 幼稚園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校の円滑な接続・連携

- ① 幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領の系統性を十分踏まえ、幼稚園、小・中学校を見通した学習内容や方法等を把握するとともに、学び方にかかわる指導等についての接続を図る。
- ② 学校種間での教員の授業交流、授業研究、情報交流等を進め、幼小連携、小中連携、中高連携を図る。

2 道徳教育、生徒指導の充実

(1) 道徳的実践力の育成を図る道徳教育

- ① 目指す児童生徒像及び学校における重点事項を明確にし、学校の教育活動全体を通して、年間を見通した計画的・発展的な指導を行う。
- ② 道徳教育推進教師を中心とした指導体制の下、全教師が授業に対して共通の関心や問題意識をもって授業に臨むことができるようにするとともに、校内研修の充実に努める。
- ③ 道徳教育の要としての特別の教科道徳における多様な指導方法や指導体制の工夫を図るとともに、他の教育活動との関連を一層深め、特に「生命尊重」「郷土愛」などの育成に努める。
- ④ 体験活動やボランティア活動などの豊かな体験を通じた道徳教育に努める。
- ⑤ ふくしま教育資料集や「わたしたちの道徳」「二宮金次郎・富田高慶からの贈りもの」（市発行）を道徳の授業をはじめとする学校の道徳教育や家庭での教育において活用するよう努める。
- ⑥ 評価にあたっては、年間35（34）時間の授業を通し、指導の記録（ノート、感想文等）の累積に努め、児童生徒が自らの成長を実感し、意欲の向上につながるようにする。

(2) 自己指導能力の育成を図る生徒指導の充実

- ① 明確な役割分担により、組織的かつ一貫した指導ができる指導体制を確立し、日常的に機能するようにする。
- ② 生徒指導の機能を積極的に発揮できるようにし、主体的な生活態度の育成に努める。
- ③ 児童生徒一人一人の思いや心情をとらえて個に応じた指導に努め、人間的な触れ合いのある温かい学級の雰囲気を醸成する。
- ④ 個々の教員がカウンセリングマインドをもって相談に応じ、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等を積極的に活用し、教職員間の連携も十分図りながら個に応じた指導を行う。

- ⑤ 学校いじめ防止基本方針を基に、いじめ防止等の対策のための組織を機能させ、「いじめはどの子どもにもどの学校でも起こりうるもの」との視点で、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。
- ⑥ 家庭や地域社会、関係機関との連携のもと、暴力行為の未然防止や児童虐待、不登校などの早期発見、早期対応、早期解決に努める。
- ⑦ 携帯電話(スマートフォン)の取扱いやインターネット上での誹謗中傷やいじめ、有害情報の問題を踏まえ、情報モラルの指導の充実を図るとともに、保護者への啓発に努める。

(3) 将来に夢や希望をもてる児童生徒を育むキャリア教育の充実

- ① 児童生徒一人一人の特性に応じた適切な指導や援助を行い、将来の生き方を考え行動する能力や態度を育成する生き方の指導(進路指導)の充実に努める。
- ② 将来に対する目的意識、職業観を育成する職場体験活動を支援するとともに、児童生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくキャリア教育を推進する。

3 体育と健康に関する指導の充実

(1) 体育・健康に関する指導の充実

- ① 体位・体力・運動能力のバランスのとれた発達を図る教科体育の充実に努め、積極的に運動に親しむ習慣や意欲を育てる。
- ② 教科体育の時間及び日常の体育的活動全般を活用した運動の促進を図る。
- ③ 地域の社会体育等の指導者や専門の講師を派遣し、児童生徒の運動身体能力、競技力の向上と運動への意欲や関心の向上に努める。特に、中学校においては、中央の講師やトップアスリート等から指導を受ける機会を設け、技能の向上を図る。

(2) 保健・安全指導と給食指導の充実

- ① 地震や津波等による被害状況を予測し、地域や関係機関との連携を図りながら、児童生徒の生命を確実に守るとともに防災意識の高揚を図る。
- ② 児童生徒の心の健康保持のため、保健室相談活動の充実や保護者、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携に努める。
- ③ 小児生活習慣病検診事業の実施や保護者に対する啓発活動を進め、小児生活習慣病の予防に努める。
- ④ 食育については、食育推進コーディネーターを中心とした指導体制を充実させるとともに、学校の実態に応じた食育教育全体計画に基づき、給食の時間はもとより、各教育活動における食に関する学習と相互に連携を図りながら、横断的・総合的な指導に努める。
- ⑤ 性教育の充実、薬物乱用防止教育の推進を通して、健康教育の充実に努める。

- ⑥ 施設・設備や危険箇所の点検・改善による学校事故防止、不審者の侵入事故に対する緊急時対応マニュアルの一層の活用・改善に努める。
- ⑦ 学区内の通学路や行動範囲に係る「安全マップ」を活用し、安全意識の高揚に努める。

(3) 放射線教育の充実

- ① 放射線に関する指導計画の自校化を図り、教育活動全体を通して児童生徒の発達段階に応じた系統的・継続的な指導を行い、被ばくの防止、放射線についての知識の習得及びそれら正しい知識に基づく合理的な判断力を身につけさせる放射線教育の充実に努める。
- ② 学級活動の時間において、指導内容を系統的に配置し、児童生徒が安全で安心な生活を送ることができるよう指導の充実に努めるとともに、授業の実践を累積し、指導の充実に努める。
- ③ 放射線の性質・影響、被ばくの予防等、放射線についての正しい理解を図るため、外部講師を招いた児童生徒を対象とした授業や、教職員を対象とした研修会等の充実に努める。

4 特別支援教育の推進

(1) 学校における特別支援教育の充実

- ① 特別支援教育コーディネーターを中心に校内の指導体制を整備し、一人一人のニーズに応じた指導の充実、個別の指導計画・教育支援計画の作成と指導の改善に努める。
- ② 共に学び、共に育つ交流及び共同学習の充実に努める。

(2) 支援体制整備の充実

- ① 地域における医療、福祉、保健、教育等の関係機関が連携した支援に努める。
- ② 相談支援ファイルの活用を図り、一貫した支援に努める。
- ③ 教職員や保護者に対して、特別支援教育についての理解・啓発を図る。

5 開かれた学校づくりの推進

(1) 学校評価の充実

- ① 保護者や地域住民等の意見を聴取し、学校の経営方針の説明を進めるとともに、学校評議員会やいじめ問題対策協議会等の一層の活用に努める。

(2) 学校の自己評価の公表と学校関係者評価の実施

- ① 教育活動や学校運営等の状況についての自己評価とその結果の公表を行うとともに、保護者、地域の人々による学校関係者評価の実施・公表に努める。

(3) 家庭や地域社会との連携及び協働

- ① 学校や地域の実態等に応じ、教育活動に必要な体制を家庭や地域の協力を得ながら整えるなど、家庭や地域社会との連携及び協働を深める。

6 図書館教育の充実

(1) 学校図書館の授業や読書での活用

- ① 図書館資料の買い替えと補充を計画的に実施し、蔵書の充実を図る。
- ② 調べ学習等授業での活用、朝の読書との連携、読み聞かせやブックトークの充実など、児童生徒が読書に親しむ環境づくりに努める。

(2) 中央図書館との連携・協力、学校司書・学校図書館支援員の配置（派遣）

- ① 中央図書館司書との連携を図り、学校図書館の運営やアドバイス、団体貸出等を通して、児童生徒が本と出会う機会を増やし、読書の楽しさや有意義さを実感できるよう努める。
- ② 学校司書または学校図書館支援員をすべての小・中学校に配置することにより、児童生徒の読書環境を整える。

Ⅲ 教育財政

1 令和元年度当初予算

(1) 一般会計

歳 入				歳 出			
科目		予算額 (千円)	構成比 (%)	科目		予算額 (千円)	構成比 (%)
1	市税	9,310,570	16.8%	1	議会費	247,613	0.4%
2	地方譲与税	373,001	0.7%	2	総務費	11,851,896	21.3%
3	利子割交付金	10,000	0.0%	3	民生費	12,855,301	23.1%
4	配当割交付金	22,000	0.0%	4	衛生費	3,381,860	6.1%
5	株式等譲渡所得割交付金	8,000	0.0%	5	労働費	111,894	0.2%
6	地方消費税交付金	1,133,000	2.0%	6	農林水産業費	8,746,750	15.8%
7	ゴルフ場利用税交付金	5,000	0.0%	7	商工費	2,313,776	4.2%
8	自動車取得税交付金	36,000	0.1%	8	土木費	4,934,239	8.9%
9	地方特例交付金	22,000	0.0%	9	消防費	1,139,268	2.1%
10	地方交付税	10,408,312	18.7%	10	教育費	4,805,002	8.7%
11	交通安全対策特別交付金	8,000	0.0%	11	災害復旧費	1,869,346	3.4%
12	分担金及び負担金	150,169	0.3%	12	公債費	3,176,031	5.7%
13	使用料及び手数料	498,809	0.9%	13	予備費	100,000	0.2%
14	国庫支出金	7,144,180	12.9%				
15	県支出金	10,993,677	19.8%				
16	財産収入	148,609	0.3%				
17	寄附金	24,805	0.0%				
18	繰入金	11,052,087	19.9%				
19	繰越金	600,000	1.1%				
20	諸収入	1,455,420	2.6%				
21	市債	2,129,337	3.8%				
	合 計	55,532,976	100.0		合 計	55,532,976	100.0

(2) 育英資金貸付特別会計

歳 入				歳 出			
科目		予算額 (千円)	構成比 (%)	科目		予算額 (千円)	構成比 (%)
1	貸付金回収金	36,770	90.1%	1	総務費	4,384	10.7%
2	使用料及び手数料	10	0.0%	2	貸付金	36,432	89.3%
3	財産収入	3	0.0%	3	基金積立金	3	0.0%
4	寄附金	1	0.0%				
5	繰越金	1	0.0%				
6	諸収入	2	0.0%				
7	繰入金	4,032	9.9%				
	合 計	40,819	100.0		合 計	40,819	100.0

2 令和元年度教育費等予算

【歳出内訳】（単位：千円）

教育費

科目	予算額	前年度	比較
教育総務費	546,857	429,627	117,230
小学校費	453,563	565,133	△111,570
中学校費	355,339	389,677	△34,338
幼稚園費	569,157	494,094	75,063
社会教育費	1,103,012	1,116,803	△13,791
保健体育費	945,629	789,340	156,289
東日本大震災教育対策費	538,030	267,048	270,982
原子力災害教育対策費	293,415	489,915	△196,500
合 計	4,805,002	4,541,637	263,365

民生費（児童福祉費抜粋）

科目	予算額	前年度	比較
児童福祉費	2,980,657	2,754,531	226,126

【財源内訳】（単位：千円）

教育費		民生費（児童福祉費抜粋）	
	国県支出金 730,927		国県支出金 1,623,391
特定財源	-----		-----
	地方債 234,900	特定財源	地方債 4,200
	-----		-----
	その他 775,291		その他 77,950
一般財源	3,063,884	一般財源	1,275,116
合計	4,805,002	合計	2,980,657

Ⅳ 学 校 教 育

1 学校一覧

(1) 小学校

学校名	所在地	電話	校長氏名	教頭氏名
原町第一小学校	原町区東町二丁目66	22-5166	伏見 康弘	増田 康弘
原町第二小学校	原町区橋本町一丁目101	22-4114	志賀 英司	鈴木 賢治
原町第三小学校	原町区上町一丁目13	22-4141	村田 権一	齋藤 安弘
高 平 小学校	原町区下北高平字古館22	22-3420	杉内 律子	日下雄一郎
大 甕 小学校	原町区大甕字鶴蒔8	22-3881	林 典行	町田 光雄
太 田 小学校	原町区益田字塩釜236	22-3822	高田 昌幸	阿部 敏之
石神第一小学校	原町区北長野字北原田288	22-2829	鈴木 克哉	石川 貴義
石神第二小学校	原町区大木戸字西原1	22-2724	木村 恵子	小林 真一
原 町 区				8 校
鹿 島 小学校	鹿島区鹿島字広町13	46-2240	鈴木 宣雄	太田 耕司
八 沢 小学校	鹿島区南屋形字北原32	46-2535	高橋 恵子	齋藤 祐一
上 真 野小学校	鹿島区浮田字一丁目81	47-2226	柿沼 孝明	横山 浩志
鹿 島 区				3 校
小 高 小学校	小高区関場一丁目77-1	44-2022	藤巻 国孝	高野伸一郎
福 浦 小学校	小高区蛭沢字藤沼50-1 (小高小学校校舎)	44-2218 (44-2022)	藤巻 国孝	佐藤 祐司
金 房 小学校	小高区飯崎字北原61-1 (小高小学校校舎)	44-2210 (44-2022)	藤巻 国孝	西 敦美
鳩 原 小学校	小高区南鳩原字西畑76-1 (小高小学校校舎)	44-2217 (44-2022)	藤巻 国孝	郡司 智美
小 高 区				4 校
合 計				1 5 校

(令和元年5月1日現在)

区分	学年別児童数・学級数								教職員数（本務者）							市職員	計
	1	2	3	4	5	6	特別支援 学級	計	校長	教頭	教諭	養護	講師	栄養	事務	給食	
児童	50	55	52	72	57	67	23	376									
学級	2	2	2	3	2	3	5	19	1	1	24	1	5	2	1	2	37
児童	31	27	18	26	30	38	10	180									
学級	2	1	1	1	1	2	2	10	1	1	10	1	2		1	2	18
児童	45	60	42	61	48	54	11	321									
学級	2	2	2	2	2	2	2	14	1	1	15	1	2		1	2	23
児童	15	15	15	18	13	28	3	107									
学級	1	1	1	1	1	1	1	7	1	1	8	1	1		1	2	15
児童	12	15	16	13	18	21	6	101									
学級	1	1	1	1	1	1	2	8	1	1	9	1	1		1	1	15
児童	8	11	6	5	11	8		49									
学級	1	1	1		1	1		5	1	1	6	1	1		1		11
児童	10	7	13	9	8	7	3	57									
学級	1	1	1	1	1		2	7	1	1	10	1			1		14
児童	47	40	42	42	51	45	4	271									
学級	2	2	2	2	2	2	2	14	1	1	14	1	5	1	1		24
児童	218	230	204	246	236	268	60	1,462									
学級	12	11	11	11	11	12	16	84	8	8	96	8	17	3	8	9	157
児童	39	50	63	48	67	58	16	341									
学級	2	2	2	2	3	2	3	16	1	1	18	1	4		1		26
児童	9	16	10	10	8	14	4	71									
学級	1	1	1	1	1	1	2	8	1	1	9	1			1		13
児童	7	11	16	18	16	19	1	88									
学級	1	1	1	1	1	1	1	7	1	1	8	1			1		12
児童	55	77	89	76	91	91	21	500									
学級	4	4	4	4	5	4	6	31	3	3	35	3	4	0	3	0	51
児童	3	4	5	7	13	9	1	42									
学級	1		1		1	1	1	5	1	1	5	1	1	1	1		11
児童	1	1		1	4	2		9									
学級	1			1	1			3		1	4	1	2				8
児童	1			1	1	1		4									
学級	1				1			2		1	4						5
児童		1	1	1	1			4									
学級		1		1				2		1	3	1					5
児童	5	6	6	10	19	12	1	59									
学級	3	1	1	2	3	1	1	12	1	4	16	3	3	1	1	0	131
児童	278	313	299	332	346	371	82	2,021									
学級	19	16	16	17	19	17	23	127	12	15	147	14	24	4	12	9	339

(2) 中学校

学校名	所在地	電話	校長氏名	教頭氏名
原町第一中学校	原町区南町三丁目23	22-4144	伊藤 浩樹	小林 喜徳
原町第二中学校	原町区桜井町一丁目152	22-4188	和田 節子	三浦 邦彦
原町第三中学校	原町区下太田字川内前12-2	22-3802	鈴木 太	宗像 克博
石 神 中学校	原町区石神字北畑47-1	22-3373	佐藤 恭司	渡部 昌邦
原 町 区				4 校
鹿 島 中学校	鹿島区寺内字落合28	46-2019	高橋 知宏	佐藤 純一
小 高 中学校	小高区吉名字中坪1	44-2023	堀川 泰宏	佐久間 潤
合 計				6 校

(令和元年 5 月 1 日現在)

区分	学年別生徒数・学級数					教職員数(本務者)							市職員	計
	1	2	3	特別支援 学級	計	校長	教頭	教諭	養護	講師	栄養	事務	給食	
児童	110	121	123	7	361	1	1	21	1	5	1	1		31
学級	4	4	4	2	14									
児童	67	74	81	6	228	1	1	17	1	6		1		27
学級	3	3	3	2	11									
児童	35	24	25		84	1	1	8	1	1		1		13
学級	2	1	1		4									
児童	52	67	71	12	202	1	1	17	1	1		1		22
学級	2	3	3	2	10									
児童	264	286	300	25	875	4	4	63	4	13	1	4	0	93
学級	11	11	11	6	39									
児童	79	108	84	7	278	1	1	19	1	1	1	1	0	25
学級	3	4	3	2	12									
児童	14	21	15	3	53	1	1	8	1	1		1	0	13
学級	1	1	1	2	5									
児童	357	415	399	35	1,206	6	6	90	6	15	2	6	0	131
学級	15	16	15	10	56									

2 児童・生徒数

(1) 校種別

(令和元年5月1日現在)

区 分	小 学 校	中 学 校
校 数	1 5	6

(2) 学年別児童生徒数

区 分	学 年	男	女	計
小 学 校	1 学年	132	153	285 (7)
	2 学年	148	176	324 (11)
	3 学年	150	164	314 (15)
	4 学年	169	181	350 (18)
	5 学年	209	156	365 (19)
	6 学年	193	190	383 (12)
	計	1,001	1,020	2,021 (82)
中 学 校	1 学年	189	179	368 (11)
	2 学年	231	197	428 (13)
	3 学年	194	216	410 (11)
	計	614	592	1,206 (35)

※ () の数字は特別支援学級の児童生徒数 (内数)

(3) 就学・転入学

令和元年度小中学校入学状況

区 分	入学該当者 総 数	入学者数	就学義務 猶予者数	就学義務 免除者数	特別支援学校等 入 学 者 数
小 学 校	286人	285人	—	—	1人
中 学 校	369人	368人	—	—	1人

平成30年度転入出・市内転校状況 (*転入出通知書送付件数)

区 分	小 学 校	中 学 校	計
転 入	38 件	13 件	51 件
転 出	20 件	8 件	28 件
市 内 転 校	20 件	2 件	22 件
計	78 件	23 件	101 件

(4) 中学校卒業生の進学就職状況

平成30年度

学校名	卒業生			進学者			就職者			その他			進学率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
原町一中	53	47	100	50	45	95	0	2	2	3	0	3	95.0
原町二中	39	35	74	39	35	74	0	0	0	0	0	0	100.0
原町三中	13	18	31	13	18	31	0	0	0	0	0	0	100.0
石 神 中	42	33	75	42	33	75	0	0	0	0	0	0	100.0
鹿 島 中	57	57	114	57	57	114	0	0	0	0	0	0	100.0
小 高 中	13	11	24	13	11	24	0	0	0	0	0	0	100.0
計	217	201	418	214	199	413	0	2	2	3	0	0	98.8

年 度 別

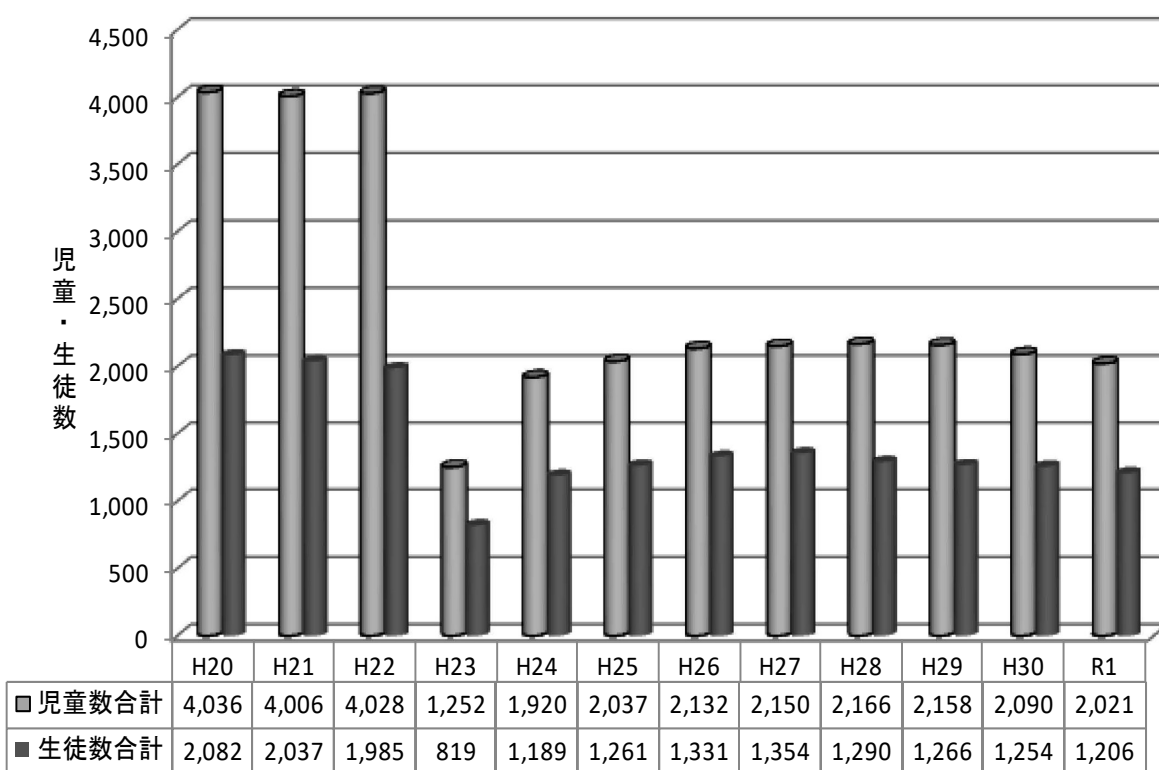
年度	卒業生			進学者			就職者			その他			進学率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
21	367	332	699	359	325	684	3	2	5	5	5	10	97.9
22	324	322	646	315	314	629	1	0	1	8	8	16	97.4
23	234	218	452	229	218	447	0	0	0	5	0	5	98.9
24	221	225	446	216	223	439	3	2	5	2	0	2	98.4
25	192	193	385	187	191	378	4	1	5	1	1	2	98.1
26	234	198	432	229	198	427	1	0	1	4	0	4	98.8
27	249	241	490	245	239	484	1	2	3	3	0	3	98.8
28	227	204	431	226	203	429	0	0	0	1	1	2	99.5
29	215	228	443	214	226	440	0	0	0	1	2	3	99.3
30	217	201	418	214	199	413	0	2	2	3	0	0	98.8

(5) 児童・生徒数の推移

(各年5月1日現在 単位：人)

年度 学校名	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
原町一小	602	618	598	158	304	358	389	399	411	400	394	376
原町二小	349	325	331	81	162	163	177	175	183	168	167	180
原町三小	528	523	538	167	220	252	278	282	323	330	330	321
高平小	200	190	193	54	112	112	112	113	120	121	112	107
大甕小	201	193	204	52	89	100	107	118	115	123	117	101
太田小	152	147	133	24	59	60	53	50	51	43	49	49
石神一小	183	189	187	70	83	88	83	73	69	63	57	57
石神二小	478	486	486	184	204	220	248	260	275	292	270	271
鹿島小	324	320	317	195	264	268	329	337	327	368	349	341
真野小	71	73	75	35	47	43						
八沢小	121	113	120	72	87	83	88	93	84	78	80	71
上真野小	144	140	141	98	111	111	113	116	116	110	96	88
小高小	404	399	392	25	95	97	81	70	51	47	50	42
福浦小	92	96	105	16	33	30	31	31	18	8	11	9
金房小	136	130	143	11	29	34	32	25	17	4	2	4
鳩原小	51	64	65	10	21	18	11	8	6	3	6	4
計	4,036	4,006	4,028	1,252	1,920	2,037	2,132	2,150	2,166	2,158	2,090	2,021
原町一中	517	505	506	197	308	316	331	329	313	342	349	361
原町二中	340	331	318	119	193	225	259	275	248	238	232	228
原町三中	162	170	163	60	93	93	100	104	93	82	79	84
石神中	326	324	319	162	197	233	228	252	238	252	224	202
鹿島中	305	299	297	240	297	303	310	293	309	286	310	278
小高中	432	408	382	41	101	91	103	101	89	66	60	53
計	2,082	2,037	1,985	819	1,189	1,261	1,331	1,354	1,290	1,266	1,254	1,206

児童・生徒数の推移



3 教育指導

(1) 令和元年度事業計画

事業名	事業目的	事業内容
学校訪問	○学校教育の充実・向上を図る。 ○各学校（園）の教育課程の実施状況を図るとともに学習指導のあり方について指導・助言を行う。 ○学校が抱えている学校運営上の諸問題及び教育環境、教材教具、施設設備の整備状況等の視察・聴取を行い、学校運営の質的向上に努める。 ○教職員との研究協議や懇談により、児童生徒の望ましい成長を図る上での学校生活や家庭生活における問題点を把握し、指導・助言を通して児童生徒の健全な育成を図る。 ○授業改善をねらいとした授業研究会を実施することにより、児童生徒の基礎的・基本的な内容の一層の定着と活用力の育成を図る。 ○全職員が自校の課題について共通理解を図り、共同歩調で授業実践・授業改善に取り組もうとする意識の一層の醸成を図る。	○指導訪問 原町一小 原町三小 八沢幼小 上真野小 原町三中 石神中 ○教育課程実施状況調査訪問 （全学級訪問・管理訪問） 原町二小 大甕小 石神一小 鹿島小 原町二中 鹿島中 ○活用力向上授業研究 高平小 太田小 石神二小 小高小 福浦小 金房小 鳩原小 原町一中 小高中
学校不適応対策事業	○ 不登校状態にある児童生徒に生活指導及び学習指導等を行い、生活リズムを改善するとともに自立心や社会性を養い、学校生活に復帰できるように支援する。	○適応指導教室 登室を通して児童生徒の不登校状態の改善に向けて助言や支援を行う。 やすらぎ広場（原町区） さくら教室（鹿島区） 紅梅教室（小高区） ○心のケア相談会 不登校や学校生活の悩みや心配事に対し、専門家（臨床心理士）による相談を行う。 年10回（第3木曜日）開催 ○来所相談・電話相談 学校・家庭生活などの悩みや心配事について助言を行う。 小中学生及び保護者対象 ○学校巡回相談 不登校状態にある児童生徒についての改善に向けて指導・助言を行う。 教育指導員による学校訪問
就学指導アドバイザー配置事業	○ 児童生徒の問題行動等に対応するため、特別支援教育に関して専門的な知識、経験、技能を有する者を委嘱し、児童生徒、教職員及び保護者に対し、指導・助言を行う。	○学校巡回相談 就学指導アドバイザーが、計画的に小・中学校を訪問し、就学指導等について指導・助言を行う。 年間70日 ○定期学校訪問 就学指導アドバイザーが、学校訪問し、特別支援教育について指導、助言を行う。 年間10校程度

南相馬市心身障がい児 就学指導審議会	教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる者の就学指導及び教育相談に関する事項について調査審議する。 ・ 就学時健康診断の結果、心身に障がいがあると認められた就学予定者 ・ 在籍している児童生徒のうち、特別支援学校又は特別支援学級で教育を受けることが必要であると認めた者 ・ 就学義務猶予又は免除を願い出た者及び現に措置を受けている者	○第1回審議会 9月4日(水) 在学児童生徒の諮問 ○第2回審議会 10月23日(水) 新入学児童の諮問 在学児童生徒の追加諮問 在学児童生徒についての審議 ○第3回審議会 12月4日(水) 新入学児童についての審議 追加在学児童生徒についての審議
学校教育指導委員研修	公立学校の学習指導の改善及び学校教育の振興に必要な諸問題の研究を推進する。	○公立学校に関する各種の研究調査に関すること。 ○市教育委員会の学校教育努力目標原案に関すること。 ○公立学校の教育活動についての指導助言に関すること。 ○その他の指導に関すること。 ○学校訪問研修 学校訪問等の指導実践を通して、公立学校の教育指導活動のあり方と各専門分野の研修を深め、教育実践に役立てる。(年間2校訪問)
学力向上推進プラン (先進地への視察研修)	先進地での研修や学習指導研究の先進校の視察を通して、教育課題への対応及び学力向上に向けた指導のあり方について研修を深め、資質の向上を図るとともに各学校の教育活動の充実に資する。	○秋田県由利本荘市での視察研修 ○各校の計画による視察研修
教育先進地との教員交流 研修事業	本市の教員が、教育先進地に勤務する教員との交流研修を通じて、多様な教育実践を体験することにより、教員としての実践力の向上を図るとともに、その交流の成果を本市の学力向上や特色ある学校づくりの推進に生かす。	○秋田県由利本荘市との交流研修 ○派遣(交換)教員 小学校1名 中学校1名
学校教育支援センター	教育に関する相談、学校適応指導、教育関係職員の研修及び教育に関する調査研究等の支援を行い、学校教育の充実と振興に資する。	○教育相談に関すること。 ○学校適応指導に関すること ○教育関係職員の研修に関すること ○教育に関する調査研究に関すること ○その他目的達成するために必要と思われる事業 ○場所 原町なかまち保育園 ○開設日 月～金曜日 8時30分から16時00分まで
学習塾と連携した学力強化推進事業	学習塾と連携して中学校3年生に学習塾講師を派遣して授業等を実施し、生徒の学力向上を図る。	○中学3年生の国語・数学・英語の学力向上を図るため、郡山市の学習塾から講師の派遣を受け、夏季集中講義を実施。 8月5日(月)～8月9日(金)5日間

公立学校適正化推進事業	市内小中学校の小規模化が進行しているなか、子どもたちが義務教育における集団生活を通して、社会性・協調性・集団性を培いながら切磋琢磨する教育環境を整備するため、市公立学校適正化計画に基づき、市内小中学校の適正化を図る。	○各地区における懇談会等の開催 ・地区懇談会 ・学校適正化検討協議会 ・学校統合準備協議会
中学生海外研修事業	中学生の海外研修を通して、「広い視野をもった生徒の育成」「学びの意欲のきっかけづくり」を図るとともに、英語を通じたコミュニケーション力を培い、学習意欲はもとより、思考力・判断力・表現力の向上を目指し、未来を担う人材を育成する。	○海外研修の実施 ・対 象 市内中学２年生 ・人 数 ２０名 ・実施日 ８月２日～８月６日 ・研修先 オーストラリア
学力向上教員配置事業	市内小中学生の学力調査等において、対応すべき科目及びその内容について把握し、個に応じた指導内容を含め、基礎学力や活用力の向上を図るため、必要となる学校へ市が独自に採用する教員を配置する。	○小学校への教員配置 ・科目 算数 ・採用人数 ３名 ○中学校への教員配置 ・科目 数学 ・採用人数 １名
ロボット活用スクールチャレンジ事業	学習指導要領改訂を見据え、人型ロボット「p e p p e r」を活用したプログラミング教育を推進し、子どもたちの学習意欲の向上と創造的・論理的思考力の向上を図る。	○プログラミング教育の実施 ・全小中学校への p e p p e r 配置 ○スクールチャレンジ市大会の開催 ・開催日時 １１月３０日

(2) 平成30年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
学校訪問	○ 学校教育の充実向上を図る。 ○ 学校が抱えている学校運営上の諸問題及び教育環境、教材教具、施設設備の整備状況等の視察、聴取を行い、学校運営の質的向上に努める。 ○ 教職員との研究協議や懇談により、児童生徒の望ましい成長を図る上での学校生活や家庭生活における問題点を把握し、指導・助言を通して児童生徒の健全な育成を図る。 ○ 各学校（園）の教育課程の実施状況を図る。	○ 指導訪問 高平幼小 太田小 石神二小 小高幼小 福浦小 金房小 鳩原小 原町二中 鹿島中 ○ 教育課程実施状況調査訪問 （全学級訪問・管理訪問） 原町一小 原町三小 八沢小 上真野小 原町一中 小高小 石神中 ○ 活用力向上授業研究 原町二小 大甕小 石神一小 鹿島小 原町三中 石神中
学校不適応対策事業	○ 不登校又は不登校傾向にある児童生徒に生活指導及び学習指導等を行い、生活リズムを改善するとともに自立心や社会性を養い、学校生活に復帰できるように支援する。	○ 適応指導教室 登室者13名（中学生13名） （学校復帰6名） （中学3年の進路 県立高校1名 通信制2名、就労1名） ○ 臨床心理士による心のケア相談会 年間 10回開催 相談件数 延べ36回（相談者数15人） ○ 来所相談・電話相談 来所相談 48人 電話相談 28人 訪問相談 26人
スクールカウンセラー（就学指導アドバイザー）配置事業	○ 児童生徒の問題行動等に対応するため、特別支援教育に関して専門的な知識、経験、技能を有する者を委嘱し、児童生徒、教職員及び保護者に対し、指導・助言を行う。	○ 学校巡回相談 就学指導アドバイザーが、41日間で小中学校延べ50校、保育園・幼稚園9園を訪問し、就学指導等について指導・助言を行った。 ○ 定期学校訪問 就学指導アドバイザーが、9校（小学校7校、中学校2校）を訪問し、特別支援教育について指導・助言を行った。
南相馬市心身障がい児就学指導審議会	教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる者の就学指導及び教育相談に関する事項について調査審議する。 ・ 就学時健康診断の結果、心身に障がいがあると認められた就学予定者 ・ 在籍している児童生徒のうち、特別支援学校又は特別支援学級で教育を受けることが必要であると認めた者 ・ 就学義務猶予又免除を願い出た者及び現に措置を受けている者	○ 9月5日（水）第1回審議会 在学児童生徒の諮問 ○ 10月24日（水）第2回審議会 新入学児童の諮問 在学児童生徒の追加諮問 在学児童生徒についての審議 ○ 12月5日（水）第3回審議会 新入学児童についての審議 追加在学児童生徒についての審議
学習指導改善検討委員会（学校教育指導委員研修）	基礎・基本の定着と活用力の向上を図るための実践的で効果のあがる学習指導改善の方策を構築し、市内小中学校で共通理解を図りながら授業実践を進めていく。	○ 5月2日（火） 第1回 学習指導改善検討委員会 委員会の目的・日程・内容等確認 ○ 教員交流研修事業報告会における研修 ○ 1月15日（火） 第2回 学習指導改善検討委員会 授業改善プランⅣの検討

学校教育支援センター	教育に関する相談、学校適応指導、教育関係職員の研修及び教育に関する調査研究等の支援を行い、学校教育の充実と振興に資する。	○就学指導担当者等研修会 2回 ○学習支援員、介助員等研修会 3回 ○特別支援コーディネーター研修会 1回 ○放射線教育研修会 1回 ○小学校外国語活動研修会 3回 ○養護教諭研修会 1回 ○生徒指導研修会 2回 ○南相馬市常勤講師研修会 4回 ○学校教育支援センター運営委員会 2回 ○体力向上・ダンス研修会 1回 ○教頭研修会 1回 ○小学校理科観察・実験講座 3回
学習塾と連携した学力強化推進事業	学習塾と連携して中学校3年生に学習塾講師を派遣して授業等を実施し、生徒の学力向上を図る。	○中学3年生の希望者を対象に夏季集中講義を実施。 8月6日(月)～8月10日(金)5日間
スーパーティーチャー招へい事業	高い指導力を有する教員（スーパーティーチャー）や有識者等教育関係者を、市内各小中学校へ招へいし、授業公開や授業カウンセリング、特別授業を開催して、教員の指導力向上や児童生徒のトップレベルの学力向上を目指す。	○市内全小中学校で、スーパーティーチャー授業公開及び教育関係者や有識者による特別授業を行う。 ○スーパーティーチャー授業公開 森本明（福大教授）佐藤佐敏（福大教授） 宗形潤子（福大准教授）河野哲也（立教大学） 植田和也（香川大学大学院） 大矢純（授業額研究所） ○教育関係者や有識者による特別授業 青島広志（音楽家） なすび（タレント・登山家） 平野早矢香（オリンピックメダリスト） 小林さやか（ウェディングプランナー）（ビリギャルのモデル）等による児童生徒向けの特別授業を実施。

(3) 南相馬市の特別支援教育の現状

特別支援学級に在籍する児童生徒数

(令和元年5月1日現在)

学校 学年	小 学 校							中 学 校				合 計
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	
児童生徒数	7	11	15	18	19	12	82	11	13	11	35	117

障がい別特別支援学級及び児童生徒数

(令和元年5月1日現在)

区分	設置校数	学級数	児童生徒数	設置校名(人数)
知的障がい学級	16	19	75	原一小(19)・原二小(7)・原三小(7) 高平小(3)・大甕小(3)・石一小(2) 石二小(3)・鹿島小(10)・八沢小(1) 上真野小(1)・小高小(1)・原一中(4) 原二中(3)・石神中(5)・鹿島中(4) 小高中(2)
自閉症・情緒 障がい学級	13	13	41	原一小(3)・原二小(3)・原三小(4) 大甕小(3)・石一小(1)・石二小(1) 鹿島小(6)・八沢小(3) 原一中(3)・原二中(3)・石神中(7) 鹿島中(3)・小高中(1)
肢体不自由学級	1	1	1	原一小(1)
計	—	33	117	

障がい別通級指導実施校及び児童生徒数

(令和元年5月1日現在)

区 分	実施校数	児童・生徒数			実施校名 (指導教員数)
		自校	市内他校	市外	
言語障がい	1	27	33	0	原町一小(3)
ADHD	2	9	7	0	石神二小(1)
		19	2	0	鹿島小(1)

4 就学奨励

(1) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助

経済的な理由で就学困難な児童生徒に対し就学援助の目的をもって学用品等を支給する。

(令和元年度当初予算)(単位：円、人)

区 分 名 称	小 学 校			中 学 校		
	1人年額	人 員	給付額	1人年額	人 員	給付額
通 学 用 品 費	2,230	330	735,900	2,230	200	446,000
学用品費(その他)	11,420	380	4,339,600	22,320	280	6,249,600
修 学 旅 行 費	—	—	—	56,370	100	5,637,000
新 入 学 学 用 品 費 (入学前支給を含む)	40,600	50	2,030,000	47,400	80	3,792,000
通 学 費	55,000	5	275,000	75,000	5	375,000
給 食 費	53,690	380	20,402,200	57,750	180	10,395,000
				55,440	100	5,544,000
医 療 費	—	—	—	—	—	—
校外活動費(宿泊なし)	1,550	380	589,000	2,240	280	627,200
校外活動費(宿泊あり)	3,570	150	535,500	—	—	—
計 (実人員)		380	28,907,200		280	33,065,800

(2) 特別支援教育就学奨励

特別支援学級への就学の特殊事情にかんがみ、その就学にかかる保護者の経済的負担を軽減する。

(令和元年度当初予算)(単位：円、人)

区 分 名 称	小 学 校			中 学 校		
	1人年額	人員	給付額	1人年額	人員	給付額
学 用 品 費	5,710	50	285,500	11,160	25	279,000
通 学 用 品 費	—	—	—	—	—	—
修 学 旅 行 費	—	—	—	28,335	5	141,675
新 入 学 学 用 品 費	10,235	25	255,875	11,775	10	117,750
通 学 費	40,000	4	160,000	—	—	—
給 食 費	27,140	75	2,035,500	28,875	20	577,500
				27,720	5	138,600
校外活動費(宿泊なし)	785	20	15,700	1,135	25	28,375
校外活動費(宿泊あり)	1,810	10	18,100	—	—	—
計 (実人員)		75	2,770,675		25	1,282,900

（３）遠距離通学費補助

通常の経路による通学距離が片道４km以上の１年生から６年生の児童の保護者に対し、路線バス定期乗車券購入金額の全額又は月額800円を10カ月間（長期休業期間を除く）補助し、保護者負担の軽減を図る。

（令和元年度当初予算）

区 分	1人年額（平均）	人 員	給 付 額
バ ス 利 用 者	50,000円	40人	2,000千円
そ の 他 の 者	8,000円	100人	800千円
計		140人	2,800千円

5 学校保健・安全

(1) 学校医等の設置状況

(平成31年4月1日現在)

区分	学 校 名	内 科 医	眼 科 医	耳 鼻 咽 喉 科 医
小 学 校	原町第一小学校	小 野 田 昌 敏	高 野 良 真	青 柳 優
	原町第二小学校	志 賀 嘉 津 郎	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	原町第三小学校	樋 口 利 行	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	高 平 小 学 校	小 泉 祐 功	高 野 良 真	青 柳 優
	大 甕 小 学 校	石 原 開	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	太 田 小 学 校	石 原 開	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	石神第一小学校	新 道 譲 二	高 野 良 真	若 盛 和 雄
	石神第二小学校	新 道 譲 二	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	鹿 島 小 学 校	菅 原 通 夫	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	八 沢 小 学 校	田 村 融 彦	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	上 真 野 小 学 校	田 村 融 彦	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	小 高 小 学 校	鈴 木 秀 幸	佐 柄 英 人	渡 辺 昭 夫
	福 浦 小 学 校	鈴 木 秀 幸	佐 柄 英 人	渡 辺 昭 夫
	金 房 小 学 校	鈴 木 秀 幸	佐 柄 英 人	渡 辺 昭 夫
	鳩 原 小 学 校	鈴 木 秀 幸	佐 柄 英 人	渡 辺 昭 夫
中 学 校	原町第一中学校	田 部 周 市	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	原町第二中学校	猪 又 と し 子	高 野 良 真	若 盛 和 雄
	原町第三中学校	志 賀 嘉 津 郎	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	石 神 中 学 校	奥 山 孝	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	鹿 島 中 学 校	渡 邊 善 二 郎	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	小 高 中 学 校	鈴 木 秀 幸	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄

区分	学 校 名	歯 科 医	薬 剤 師	養 護 教 諭
小 学 校	原町第一小学校	板 倉 良 暢	邨 松 智 子	渡 邊 順 子
	原町第二小学校	羽 生 賢 次	人 見 順	大 沼 綾 子
	原町第三小学校	森 岡 正 人	人 見 順	皆 原 由 美 子
	高 平 小 学 校	松 本 断	八 牧 将 彦	佐 藤 晴 美
	大 甕 小 学 校	熊 耳 隆 洋	渡 辺 盛 夫	小 熊 身 知
	太 田 小 学 校	河 田 修 一 郎	堀 内 由 子	賀 澤 千 鶴
	石神第一小学校	荒 川 二 朗	八 牧 将 彦	大 友 千 絵
	石神第二小学校	山 田 隆 信	桃 井 秀 世	石 川 步
	鹿 島 小 学 校	大 沼 俊 美	佐 藤 伸 二	長 谷 川 之 子
	八 沢 小 学 校	木 幡 孝	菊 池 徹	佐 藤 栞
	上 真 野 小 学 校	吉 田 豊	菊 池 智 之	橋 本 知 佳
	小 高 小 学 校	沖 田 雅 之	石 井 豊	秋 山 友 美
	福 浦 小 学 校	沖 田 雅 之	石 井 豊	紺 野 よ し え
	金 房 小 学 校	沖 田 雅 之	石 井 豊	—
	鳩 原 小 学 校	沖 田 雅 之	石 井 豊	武 藤 由 奏
中 学 校	原町第一中学校	加 藤 悟 郎	志 賀 邦 子	池 田 マ チ 子
	原町第二中学校	竹 林 実	屋 代 万 起 子	佐 藤 泰 子
	原町第三中学校	鈴 木 庸 介	屋 代 万 起 子	半 谷 幸 江
	石 神 中 学 校	草 野 保 之	桃 井 秀 世	宍 戸 優 菜
	鹿 島 中 学 校	相 良 一 也	菊 池 功	濱 名 潤 子
	小 高 中 学 校	小 林 礼 樹	石 井 豊	小 林 ひ ろ み

(2) 身長・体重の平均値 (平成30年度)

(小学校)

(単位：身長(cm)、体重(kg))

区 分		男 子		女 子	
		身長	体重	身長	体重
6 歳	全 国 平 均	116.5	21.4	115.7	21.0
	福 島 県 平 均	116.4	21.6	116.0	21.6
	南相馬市平均	117.3	22.3	115.7	21.2
7 歳	全 国 平 均	122.5	24.1	121.5	23.5
	福 島 県 平 均	122.8	24.6	121.4	23.9
	南相馬市平均	123.2	25.1	122.0	24.5
8 歳	全 国 平 均	128.2	27.2	127.3	26.4
	福 島 県 平 均	128.4	28.7	127.5	27.2
	南相馬市平均	127.9	28.1	127.2	27.5
9 歳	全 国 平 均	133.5	30.5	133.4	29.9
	福 島 県 平 均	133.4	31.6	133.7	30.5
	南相馬市平均	133.3	32.3	134.7	32.4
10 歳	全 国 平 均	139.0	34.2	140.1	34.0
	福 島 県 平 均	138.9	35.5	140.3	35.3
	南相馬市平均	139.3	35.6	141.1	36.7
11 歳	全 国 平 均	145.0	38.2	146.7	39.0
	福 島 県 平 均	145.5	39.7	147.0	40.5
	南相馬市平均	146.4	41.9	147.5	40.5

(中学校)

(単位：身長(cm)、体重(kg))

区 分		男 子		女 子	
		身長	体重	身長	体重
12 歳	全 国 平 均	152.8	44.0	151.8	43.6
	福 島 県 平 均	152.9	44.9	151.5	44.7
	南相馬市平均	154.0	45.7	151.9	45.8
13 歳	全 国 平 均	160.0	49.0	154.9	47.2
	福 島 県 平 均	160.5	50.6	154.7	48.4
	南相馬市平均	161.2	51.1	154.0	49.2
14 歳	全 国 平 均	165.3	53.9	156.5	50.0
	福 島 県 平 均	165.7	55.3	156.3	51.6
	南相馬市平均	165.1	55.9	155.7	51.5

(3) 小児生活習慣病健康診断結果

(平成30年度)

・小学4年生

実施人数

(単位：人)

男 子	女 子	合 計	身体測定	血圧測定	生化学検査
196	148	344	344	344	344

検査所見別集計

(単位：人、%)

性別	高度肥満		中等度肥満		軽度肥満		血圧高値		糖尿病		高コレステロール	
男 子	6	3.1	24	12.2	18	9.2	0	0	0	0	65	33.2
女 子	1	0.7	7	4.7	16	10.8	0	0	0	0	60	40.5
合 計	7	2.0	31	9.0	34	9.9	0	0	0	0	125	36.3

管理区分集計

(単位：人、%)

性別	要医学的管理		要経過観察		要生活指導		管理不要		正 常	
男 子	8	4.1	26	13.3	38	19.4	84	42.9	40	20.4
女 子	6	4.1	11	7.4	35	23.6	71	48.0	25	16.9
合 計	14	4.1	37	10.8	73	21.2	155	45.1	65	18.9

項目別平均値

性別	身 長 (cm)	体 重 (kg)	肥 満 度 (%)	血 圧 (mmHg)	総コレステロール (mg/dL)
男 子	135.1	33.8	7.2	102/57	173.5
女 子	137.0	33.8	4.7	103/58	176.3

・ 中学 1 年生

実施人数

(単位：人)

男 子	女 子	合 計	身体測定	血圧測定	生化学検査
2 2 6	1 8 3	4 0 9	4 0 9	4 0 9	4 0 9

検査所見別集計

(単位：人、％)

性別	高度肥満		中等度肥満		軽度肥満		血圧高値		糖尿病		高コレステロール	
男 子	8	3.5	9	4.0	11	4.9	0	0	0	0	43	19.0
女 子	3	1.6	9	4.9	13	7.1	0	0	0	0	46	25.1
合 計	11	2.7	18	4.4	24	5.9	0	0	0	0	89	21.8

管理区分集計

(単位：人、％)

性別	要医学的管理		要経過観察		要生活指導		管理不要		正 常	
男 子	8	3.5	9	4.0	25	11.1	115	50.9	69	30.5
女 子	5	2.7	11	6.0	30	16.4	83	45.4	54	29.5
合 計	13	3.2	20	4.9	55	13.4	198	48.4	123	30.1

項目別平均値

性別	身 長 (cm)	体 重 (kg)	肥 満 度 (%)	血 圧 (mmHg)	総コレステロール (mg/dL)
男 子	156.2	47.5	2.2	105／55	156.9
女 子	152.8	46.7	3.3	104／56	165.8

(4) 日本体育・学校健康センター

災害共済契約状況

(令和元年度)

学校別 項目	小 学 校	中 学 校	合 計
加 入 数	2, 0 2 1 人	1, 2 0 5 人	3, 2 2 6 人

加入対象学校と共済掛金

(令和元年度)

項 目 種 別	一般児童・生徒等	要保護児童生徒等
義務教育諸学校	9 3 5 円 (内保護者負担 4 6 0 円)	5 5 円 (内保護者負担 0 円)

6 学校給食

令和元年度の状況

小学校

区分 学校名	形態	回数	児童数	一人当たり 徴収金額 (年)	回数	無徴収月
原町第一小学校	完全給食	180	376	53,100	10	4・3
原町第二小学校	完全給食	180	180	53,100	10	4・3
原町第三小学校	完全給食	180	321	53,100	10	4・3
高平小学校	完全給食	180	107	53,100	10	4・3
大甕小学校	完全給食	180	100	53,100	10	4・3
太田小学校	完全給食	180	49	53,100	10	4・3
石神第一小学校	完全給食	180	57	53,100	10	4・3
石神第二小学校	完全給食	180	271	53,100	10	4・3
鹿島小学校	完全給食	180	341	53,100	10	4・3
八沢小学校	完全給食	180	71	53,100	10	4・3
上真野小学校	完全給食	180	88	53,100	10	4・3
小高小学校	完全給食	180	42	53,100	10	4・3
福浦小学校	完全給食	180	9	53,100	10	4・3
金房小学校	完全給食	180	4	53,100	10	4・3
鳩原小学校	完全給食	180	4	53,100	10	4・3

中学校

区分 学校名	形態	回数	生徒数	一人当たり 徴収金額 (年)	回数	無徴収月
原町第一中学校	完全給食	3年166 1.2年172	361	3年 54,780 1.2年 56,760	10	4・3
原町第二中学校	完全給食	3年166 1.2年172	228	3年 54,780 1.2年 56,760	10	4・3
原町第三中学校	完全給食	3年166 1.2年172	84	3年 54,780 1.2年 56,760	10	4・3
石神中学校	完全給食	3年166 1.2年172	202	3年 54,780 1.2年 56,760	10	4・3
鹿島中学校	完全給食	3年166 1.2年172	278	3年 54,780 1.2年 56,760	10	4・3
小高中学校	完全給食	3年166 1.2年172	54	3年 54,780 1.2年 56,760	10	4・3

7 学校施設一覧

小学校

学 校 名	校地面積 (㎡)	市有地 (㎡)	借用地 (㎡)	校舎・屋体・プール等				
				校舎等 (㎡)	屋 体 (㎡)	計 (㎡)	水泳プール	給食室 (㎡)
原 一 小	22,307	22,307		6,116	1,272	7,388	25m×13m 6コース※	123
原 二 小	25,280	25,280		5,003	1,190	6,193	25m×13m 6コース	157
原 三 小	25,331	892	24,439	4,709	1,263	5,972	25m×10.7m 6コース	90
高 平 小	13,268	13,268		2,983	978	3,961	25m×11m 6コース	101
大 甕 小	19,153	19,153		2,804	1,158	3,962	25m×13m 6コース	101
太 田 小	15,730	15,730		2,593	981	3,574	25m×13m 6コース	129
石 一 小	19,115	19,115		2,899	1,125	4,024	25m×10.7m 6コース	113
石 二 小	18,965	18,965		4,343	1,100	5,443	25m×13m 6コース	113
鹿 島 小	20,718	20,718		3,806	1,258	5,064	25m×13m 6コース	—
八 沢 小	11,754	11,754		1,877	974	2,851	25m×13m 6コース	—
上 真 野 小	12,042	12,042		2,372	1,027	3,399	25m×13m 6コース	—
小 高 小	26,233	26,233		5,296	1,373	6,669	25m×17m 8コース	168
福 浦 小	18,782	18,782		2,972	547	3,519	25m×11m 6コース	100
金 房 小	19,526	19,526		2,184	579	2,763	25m×9m 5コース	100
鳩 原 小	15,118	15,118		1,596	576	2,172	25m×7m 4コース	67
計	283,322	258,883	24,439	51,553	15,401	66,954		1,362

(小数点以下、四捨五入)

※原町第一小学校プールは改築中 令和元年5月31日完了予定

(平成31年4月1日現在)

教 室 等 保 有 状 況																				
普通教室	特 別 教 室											管 理 室 等								
	理 科	生 活	音 楽	図 工 (技術)	美 術	家 庭	視 聴 覚	図 書	特別活動	コン ピ ユ ー タ 教室	教育相談	校長室	職員室	事務室	保健室	放送室	用務員室	資料室	会議室	倉 庫
26	2	2	2	1	0	1	0	1	3	1	1	1	2	1	1	1	0	2	1	0
17	2	2	2	1	0	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	0	0
18	1	1	1	1	0	1	0	2	2	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0
10	1	1	1	1	0	1	0	2	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0
9	1	1	1	1	0	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0
8	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0
9	1	1	1	1	0	1	0	1	2	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1
22	1	0	1	1	0	1	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0
17	1	1	1	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	0	1
8	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	2
8	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1
16	1	1	1	1	0	1	0	1	2	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1
8	1	2	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	1	2
6	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	2
6	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	2
188	17	14	17	15	0	17	1	20	16	15	8	15	16	7	15	15	1	19	7	12

中学校

学 校 名	校地面積 (㎡)	市有地 (㎡)	借用地 (㎡)	校舎・屋体・プール等				
				校舎等 (㎡)	屋 体 (㎡)	計 (㎡)	水泳プール	給食室 (㎡)
原 一 中	31,815	31,815		6,326	1,777	8,103	25m×15m 7 コース	107
原 二 中	30,474	30,474		6,217	1,708	7,925	25m×12.9m 6 コース	192
原 三 中	34,606	34,606		3,676	1,708	5,384	25m×13m 6 コース	127
石 神 中	29,729	29,729		4,101	1,762	5,863	25m×15m 7 コース	116
鹿 島 中	51,812	51,812		5,261	1,405	6,666	50m×17m 8 コース	—
小 高 中	38,954	38,028		6,045	1,350	7,395	50m×17.5m 7 コース	158
計	217,390	216,464		31,626	9,710	41,336		700

(小数点以下、四捨五入)

(平成31年4月1日現在)

教室等保有状況																				
普通教室	特別教室											管理室等								
	理科	音楽	図工(技術)	美術	家庭	外国語	図書	特別活動	コンピュータ室	教育相談	進路資料指導	校長室	職員室	事務室	保健室	放送室	用務員室	資料室	会議室	倉庫
22	2	2	2	1	2	0	2	1	1	3	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1
17	2	2	2	1	2	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	2	1	5
9	1	1	1	1	2	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	2
13	2	1	2	1	2	0	1	1	1	1	0	1	1	1	2	1	0	1	1	0
18	2	2	2	2	2	0	1	1	1	2	0	1	1	1	1	1	0	2	2	1
18	2	2	1	1	2	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	2	1	1
97	11	10	10	7	12	0	7	6	6	9	0	6	6	6	7	6	0	8	7	10

8 学校施設関連事業計画・実施状況

(1) 令和元年度事業計画

事業名	事業目的	事業内容
小中学校埋設保管除去 土壌等撤去事業	小中学校に埋設保管している表土改善 事業等で発生した除去土壌を撤去し、仮置 き場へ搬出する。	○高平小、大甕小、石一小、石二小、 鹿島小、原三中、石神中
小学校施設営繕事業	小学校の教育環境の改善と安全性を確 保するため、教育施設の維持修繕を行う。	○石二小屋内運動場屋根防水改修工事 ○高平小プール槽塗装改修工事 ○上真野小プール屋上等防水改修工事 ○小学校気中開閉器取替工事 ○小学校受変電設備更新工事 ○原二小給食用小荷物専用昇降機改修工事 ○鹿島小エレベーター改修工事 ○鹿島小地下タンク撤去工事 ○石二小屋内運動場照明設備更新工事 ○鹿島小屋内運動場照明設備更新工事 ○上真野小外構工事 ○上真野小学校駐車場整備工事
中学校施設営繕事業	中学校の教育環境の改善と安全性を確 保するため、教育施設の維持修繕を行う。	○鹿島中非常通報装置設置工事 ○原二中校舎外壁防水改修工事 ○鹿島中屋内運動場屋根防水改修工事 ○鹿島中地下タンク撤去工事 ○鹿島中放送設備更新工事 ○原二中屋内運動場照明設備更新工事
石一小・高平小校舎外壁等 改修事業	安全で快適な教育環境を整備するため、 著しく老朽化した校舎の外壁及び内部改 修工事を行う。	○実施設計業務委託
小中学校トイレ洋式化事 業	耐震改修事業以外の小中学校施設につ いては、近年著しく老朽化が進んでいるこ とから、トイレ洋式化やそれに伴う床面改 修を実施し、児童生徒に健やかな学習環境 を提供する。	○実施設計業務委託：原三小北庁舎 ○トイレ改修工事：原一中
石神第二小学校プール改 築事業	児童に安心・安全な施設環境を提供する ため、老朽化が著しい石神第二小学校プー ルの改築を行う。	○プール改築工事

(2) 平成30年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
小中学校埋設保管除去土壌等撤去事業	小中学校に埋設保管している表土改善事業等で発生した除去土壌を撤去し、仮置き場へ搬出した。	○八沢小、太田小
小学校施設営繕事業	小学校の教育環境の改善と安全性を確保するため、教育施設の維持修繕を行った。	○原一小給食室屋根等防水改修工事 ○原二小校舎防水改修工事 ○太田小プール改修工事 ○石一小プール塗装改修工事 ○大甕小プール配管改修工事 ○小学校気中開閉器取替工事 ○小学校受変電設備更新工事 ○鹿島小・八沢小非常通報装置設置工事 ○鹿島小防火扉改修工事 ○八沢小プールベンチ等改修工事 ○原一小擁壁改築設計業務委託 ○高平小学校南側フェンス改修工事（繰越） ※令和元年6月30日完成 ○上真野小フェンス改修工事（繰越） ※令和元年7月31日完成
原町第一小学校プール改築事業	児童に安心・安全な施設環境を提供するため、老朽化が著しい原町第一小学校プールの改築を行った。	○プール改築工事（繰越） ※令和元年5月31日完成
中学校施設営繕事業	中学校の教育環境の改善と安全性を確保するため、教育施設の維持修繕を行った。	○原一中校舎及び体育館防水改修工事 ○原一中グラウンド等整備工事 ○原三小校舎防水等改修工事 ○原一中給食用小荷物専用昇降機改修工事 ○鹿島中給食用小荷物専用昇降機改修工事 ○鹿島中プール塗装改修工事 ○小高中体育館窓格子設置工事 ○中学校受変電設備更新工事 ○石神中・原二中擁壁安全性調査業務委託 ○原二中ブロック塀解体及びフェンス設置工事
鹿島中学校バリアフリー化事業	平成31年度に車いすを使用する生徒が就学する予定であったことから、エレベーター及び多目的トイレを設置するとともに、施設内のバリアフリー化を図った。	○昇降機設置及びバリアフリー改修工事
小中学校トイレ洋式化事業	耐震改修事業以外の小中学校施設については、近年著しく老朽化が進んでいることから、トイレ洋式化やそれに伴う床面改修を実施し、児童生徒に健やかな学習環境を提供した。	○実施設計業務委託：原一中 ○トイレ改修工事：原二小、原三中
小高区学校施設環境回復事業	平成29年度より再開した小高区学校施設において、学校環境の回復を図るための整備・改善等を実施した。	○小高中駐車場整備工事

9 高等学校・専修学校

県立高等学校

学 校 名	所 在 地	電 話	校 長 氏 名
原 町 高 等 学 校	南相馬市原町区西町三丁目380	23-6196	山崎 雅弘
相 馬 農 業 高 等 学 校	南相馬市原町区三島町一丁目65	23-5175	中野 幹夫
小高産業技術高等学校	南相馬市小高区吉名字玉ノ木平78	44-3141	鈴木 稔

県立専修学校

学 校 名	所 在 地	電 話	校 長 氏 名
福島県立テクノアカデミー浜	南相馬市原町区萱浜巣掛場45-112	26-1555	添田 光典

(令和元年 5 月 1 日現在)

学 科	学級数	生徒数	教職員数
普 通 科	12	458	49
生産環境科・環境緑地科・食品科学科	9	261	52
機械科・電気科・産業革新科・流通ビジネス科	18	510	84

県立専修学校

学 科		学級数	生徒数	教職員数
短期大学校	計測制御工学科	2	21	20（常勤）
能力 開発 校	機 械 技 術 科	2	19	
	自 動 車 整 備 科	2	36	
	建 築 科	2	14	

V 幼 児 教 育

1 幼稚園・保育園一覧

(1) 幼稚園

市立幼稚園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
高 平 幼 稚 園	原町区下北高平字古館 278	24-0687	齋 藤 由美子
大 甕 幼 稚 園	原町区大甕字十日迫 26	22-7583	菊 地 紀 子
太田幼稚園（休園中）	原町区益田字塩釜 61	22-3662	猪 狩 忠 信
石神第一幼稚園（休園中）	原町区北長野字北原田 288	24-0709	猪 狩 忠 信
石神第二幼稚園（休園中）	原町区大木戸字西原 1	24-0710	猪 狩 忠 信
原町区 小計			
鹿 島 幼 稚 園	鹿島区鹿島字北千倉 24-2	46-4655	但 野 桂 子
八 沢 幼 稚 園	鹿島区南屋形字北原 32	46-4672	山 田 ますみ
上真野幼稚園（休園中）	鹿島区山下字中ノ内 273-1	47-2147	猪 狩 忠 信
鹿島区 小計			
小 高 幼 稚 園	小高区関場一丁目 1	44-2215	長 森 由歌里
福浦幼稚園（休園中）	小高区蛭沢字藤沼 50	44-6209	猪 狩 忠 信
金房幼稚園（休園中）	小高区飯崎字北原 61	44-6037	猪 狩 忠 信
鳩原幼稚園（休園中）	小高区南鳩原字西畑 76	44-6416	猪 狩 忠 信
小高区 小計			
合 計			

私立幼稚園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
さ ゆ り 幼 稚 園	原町区橋本町一丁目15	23-3439	鎌 田 文 代
青 葉 幼 稚 園	原町区二見町三丁目68-4	23-3306	安 川 利 子
原町みなみ幼稚園	原町区国見町一丁目50	23-3650	中 澤 翔 平
小高教会幼稚園（休園中）	小高区本町一丁目47	44-2668	—
合 計			

(令和元年5月1日現在)

定員	組数	教職員		3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
		専任	他				
105	4	7	4	29	25	27	81
140	4	7	3	25	20	26	71
105	0	0	0	0	0	0	0
140	0	0	0	0	0	0	0
210	0	0	0	0	0	0	0
700	8	14	7	54	45	53	152
160	5	8	4	25	29	38	92
80	2	4	2	7	7	8	22
60	0	0	0	0	0	0	0
300	7	12	6	32	36	46	114
105	2	4	0	2	9	2	13
90	0	0	0	0	0	0	0
90	0	0	0	0	0	0	0
45	0	0	0		0	0	0
330	2	4	0	2	9	2	13
1, 330	17	30	13	88	90	101	279

定員	組数	教職員		満 3 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
		専任	他					
100	5	8	1	2	23	29	32	86
380	8	17	0	1	51	56	51	159
260	5	18	0	1	31	32	32	96
70	0	0	0	0	0	0	0	0
810	18	41	1	4	105	117	115	341

(2) 保育園

市立保育園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
原町あずま保育園	原町区東町三丁目 7-4	22-2344	木 幡 香 世
原町なかまち保育園（休園中）	原町区仲町一丁目 177	23-6532	猪 狩 忠 信
原町さくらい保育園	原町区桜井町一丁目 153	22-1985	渡 部 喜世美
原 町 区			小 計
か し ま 保 育 園	鹿島区西町三丁目 90	46-1717	鈴 木 甲 子
かみまの保育園	鹿島区浮田字一丁目 67	47-2307	川 久 保 薫 子
鹿 島 区			小 計
お だ か 保 育 園（休園中）	小高区吉名字岩屋堂 62	44-2425	猪 狩 忠 信
小 高 区			小 計
			合 計

私立保育園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
北 町 保 育 所	原町区北町 373-124	22-8432	近 藤 啓 一
よ つ ば 保 育 園	原町区西町二丁目 34-1	24-6478	近 藤 真紀子
よつば乳児保育園西町園	原町区西町二丁目 32-1	24-4285	近 藤 智 之
			合 計

(令和元年5月1日現在)

定員	教職員		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児 以上	園児計
	専任	その他							
115	27	6	13	23	24	24	21	17	122
100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	15	3		18	24	21	21	12	96
315	42	9	13	41	48	45	42	29	218
108	28	5	15	24	25	24	23	21	132
60	10	3		6	12	14	8	10	50
168	38	8	15	30	37	38	31	31	182
180	0	0	0	0	0	0	0	0	0
180	0	0	0	0	0	0	0	0	0
663	80	17	28	71	85	83	73	60	400

定員	教職員		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児 以上	園児計
	専任	その他							
60	15	3	9	13	12	13	12	9	68
150	24	5	15	19	6	56	52	43	191
50	13	3	0	17	37				54
260	52	11	24	49	55	69	64	52	313

(3) 認定こども園

私立認定こども園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
原町聖愛こども園	原町区二見町一丁目 80-1	22-5090	遠 藤 美保子

※平成28年4月1日認可（旧原町聖愛保育園）

(4) 小規模保育事業所

私立小規模保育事業所

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
なかよし園（休園中）	原町区二見町三丁目 67-3	23-3306	安 川 利 子
原町にこにこ保育園	原町区錦町一丁目 125	26-6836	小 林 総一郎

※原町にこにこ保育園、平成29年4月1日認可

(令和元年5月1日現在)

定員	教職員		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児 以上	園児計
	専任	その他							
90	21	3	10	17	18	20	20	20	105

(令和元年5月1日現在)

定員	教職員		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児 以上	園児計
	専任	その他							
6	0	0		0	0				0
10	7	1	2	4	4				10

※公立・私立とも原発避難者特例法により、浪江町、双葉町、富岡町、川俣町、大熊町、飯舘村、葛尾村からの児童の受け入れ有り。

2 園児数

(1) 園種別

(令和元年5月1日現在)

区 分	市立幼稚園	市立保育園
園 数	12	6

※うち市立幼稚園7園、市立保育園2園は休園中

(2) 学年別等園児数

市立幼稚園 (令和元年5月1日現在 単位：人)

学 年	園 児 数
3歳児	88
4歳児	90
5歳児	101
計	279

市立保育園 (令和元年5月1日現在 単位：人)

学 年	園 児 数
0歳児	28
1歳児	71
2歳児	85
3歳児	83
4歳児	73
5歳児以上	60
計	400

(3) 園児数の推移

市立幼稚園

(各年5月1日現在 単位：人)

年度 園名	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
高 平 幼	62	0	33	51	57	60	58	57	72	81
大 甕 幼	74	0	41	44	42	47	45	59	63	71
太 田 幼	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石 一 幼	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石 二 幼	154	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿 島 幼	80	93	98	109	108	88	85	90	93	92
真 野 幼	22	0	0	0						
八 沢 幼	45	46	38	32	28	36	26	31	23	22
上 真 野 幼	39	44	28	25	23	20	21	8	0	0
小 高 幼	48	0	0	0	0	0	0	3	15	13
福 浦 幼	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金 房 幼	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳩 原 幼	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	773	183	238	261	258	251	235	248	266	279

※平成23年度は、震災の影響により、5月1日時点では全幼稚園が休園しており、鹿島幼稚園・上真野幼稚園が6月1日、八沢幼稚園が9月1日に再開した。(平成23年度は、各園の再開時園児数を記載)

※真野幼稚園が平成26年3月31日で廃園となった。

※小高幼稚園が平成29年4月1日に再開した。

私立幼稚園

(各年5月1日現在 単位：人)

年度 園名	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
さ ゆ り 幼	69	13	18	24	29	40	65	89	82	86
青 葉 幼	205	22	62	100	111	127	130	137	152	159
原町みなみ幼	164	27	48	72	84	94	95	98	100	96
小 高 教 会 幼	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	465	62	128	196	224	261	290	324	334	341

※平成23年度は、震災の影響により5月1日時点では全幼稚園が休園しており、青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園が10月11日、さゆり幼稚園が11月1日に再開した。(平成23年度は、各園の再開時園児数を記載)

市立保育園

(各年5月1日現在 単位：人)

園名 \ 年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
原町あずま保育園	145	0	0	0	0	66	75	82	100	122
原町なかまち保育園 (休園中)	119	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原町さくらい保育園	122	0	0	0	0	0	16	42	69	96
おだか保育園 (休園中)	207	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かしま保育園	135	115	125	132	126	137	135	127	114	132
かみまの保育園	34	20	31	33	29	46	46	39	46	50
合 計	762	135	156	165	155	249	272	290	329	400

私立保育園・認定こども園・小規模保育事業所

(各年5月1日現在 単位：人)

園名 \ 年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
原町聖愛こども園	107	35	64	64	76	89	93	89	93	105
北町保育所	74	18	51	57	60	59	53	59	63	68
よつば保育園	187	55	95	136	143	167	174	189	189	191
よつば乳児保育園西町園		15	27	40	44	50	51	70	62	54
なかよし園							6	6	0	0
原町にこにこ保育園								3	10	10
合 計	368	123	237	297	323	365	377	416	417	428

※「よつば保育園」は平成18年度に認可された。

※平成23年度は、震災の影響により、5月1日時点では全保育園が休園となっており、5月6日にかしま保育園、かみまの保育園が再開した。(平成23年度は、各園の再開時園児数を記載)

※私立保育園は、平成23年5月6日から避難区域外の鹿島区において臨時保育園を開設。その後、平成23年9月30日で緊急時避難準備区域の解除により、平成23年10月11日から原町区の自園で通常再開した。

※「よつば乳児保育園西町園」は平成23年4月1日に認可されたが、震災の影響により平成24年1月からの開所となった。

※原町あずま保育園は、平成27年4月1日に再開、原町さくらい保育園は、平成28年4月23日に再開した。

※原町聖愛保育園は、平成28年4月1日から原町聖愛こども園に移行した。

※なかよし園は、平成28年4月1日認可・設置された。

※原町にこにこ保育園は、平成29年4月1日に認可・設置された。

3 保健・安全

(1) 医師等の設置状況

公立幼稚園

(令和元年5月1日現在)

園 名	内科医	眼科医	歯科医
高 平 幼 稚 園	小 泉 祐 功	高 野 良 真	松 本 断
大 甕 幼 稚 園	石 原 開	小 林 貴 樹	熊 耳 隆 洋
鹿 島 幼 稚 園	菅 原 通 夫	佐 柄 英 人	大 沼 俊 美
八 沢 幼 稚 園	田 村 融 彦	佐 柄 英 人	木 幡 孝
小 高 幼 稚 園	鈴 木 秀 幸	佐 柄 英 人	沖 田 雅 之

公立保育園

園 名	内科嘱託医	眼科嘱託医	歯科嘱託医
原町あずま保育園	鈴 木 秀 幸	佐 柄 英 人	熊 耳 隆 洋
原町さくらい保育園	鈴 木 秀 幸	佐 柄 英 人	佐 藤 進
か し ま 保 育 園	鹿 島 厚 生病院	佐 柄 英 人	相 良 一 也
か み ま の 保 育 園	鹿 島 厚 生病院	佐 柄 英 人	相 良 一 也

(2) 日本体育・学校健康センター

災害共済契約状況

学校別 項目	幼 稚 園 (市立分)	保 育 園 (市立分)
加 入 数	2 7 9 人	4 0 0 人

加入対象幼稚園・保育園と共済掛金

項 目 種 別	一般児童	要保護児童
幼 稚 園	2 8 5 円 (内保護者負担 2 0 0 円)	—
保 育 園	3 6 5 円 (内保護者負担 2 1 0 円)	5 5 円 (内保護者負担 0 円)

4 幼稚園給食

区分 園名	形態	回数 (回)	児童数 (人)	年間一人当たり 徴収金額 (円)	回数 (回)	無徴収月
高 平 幼 稚 園	完全給食	1 6 2	8 1	4 5, 3 6 0	1 0	4・3
大 甕 幼 稚 園	完全給食	1 6 2	7 1	4 5, 3 6 0	1 0	4・3
鹿 島 幼 稚 園	完全給食	1 6 2	9 2	4 5, 3 6 0	1 0	4・3
八 沢 幼 稚 園	完全給食	1 6 2	2 2	4 5, 3 6 0	1 0	4・3
小 高 幼 稚 園	完全給食	1 6 2	1 3	4 5, 3 6 0	1 0	4・3

5 幼稚園・保育園施設一覧

幼稚園

園名	園地面積 (㎡)	園				
		面積 (㎡)	内			
			保育室 (㎡)		遊戯室 (㎡)	
高 平 幼 稚 園	2,179	517	4	210	1	118
大 甕 幼 稚 園	5,422	515	4	212	1	108
太 田 幼 稚 園	3,618	452	3	198	1	125
石 一 幼 稚 園	3,936	522	4	212	1	132
石 二 幼 稚 園	4,782	775	6	319	1	180
鹿 島 幼 稚 園	2,681	648	5	259	1	195
八 沢 幼 稚 園	2,991	403	3	163	1	120
上 真 野 幼 稚 園	1,783	286	2	91	1	110
小 高 幼 稚 園	2,290	376	2	144	1	99
福 浦 幼 稚 園	1,180	574	4	214	1	124
金 房 幼 稚 園	2,853	418	3	150	1	117
鳩 原 幼 稚 園	1,988	315	3	117	1	78
計	35,703	5,801	43	2,289	12	1,506

(小数点以下、四捨五入)

保育園

園名	園地面積 (㎡)	園				
		面積 (㎡)	内			
			保育室(㎡)		遊戯室(㎡)	
原町あずま保育園	3,424.43	826.17	7	317.84	1	121.5
原町なかまち保育園	3,138.2	611.13	5	252.97	1	149.05
原町さくらい保育園	3,157.43	656.12	6	335.4	1	109.22
お だ か 保 育 園	5,511.1	994.86	8	451.98	1	196.03
か し ま 保 育 園	6,007.16	1,407.44	6	360.66	1	268.59
かみまの保育園	1,757.38	336.96	2	89.43	1	99.37

(令和元年 5 月 1 日現在)

舎				
訳				
職員室 (㎡)		保健室 (㎡)		資料室その他 (㎡)
1	24	1	9	156
1	28	1	10	157
1	24	1	14	91
1	23	1	14	141
1	43	1	17	216
1	34	1	12	148
1	32	1	10	78
1	30	1	11	44
1	27	—	—	106
1	37	1	8	191
1	19	—	—	132
1	29	—	—	91
12	350	9	105	1, 551

舎							
訳							
事務室(㎡)		医務室(㎡)		調理室(㎡)		便所(㎡)	その他(㎡)
1	32. 4	1	14. 58	1	37. 44	24. 3	278. 11
1	29. 7	1	6. 62	1	39. 74	32. 28	100. 77
1	22. 68	1	4. 91	1	44. 1	16. 2	123. 61
1	37. 85	1	12. 15	1	56. 3	70. 23	170. 32
1	32. 19	1	4. 92	1	33. 41	83. 6	624. 07
1	19. 87	1	12. 42	1	19. 54	14. 33	82

6 放課後児童クラブ・児童教室

(1) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ運営事業）

<事業目的>

小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に、児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。

<事業内容>

①対象児童 南相馬市に在住または在学している小学校児童
定員を超えた応募があった場合は、1年生から3年生までの低年齢の児童を優先する。

②活動日時 月曜日～金曜日の下校時～18時
土曜日及び春・夏・冬休みの期間は7時30分～18時
(日曜日、祝祭日、年末年始は休み)

③費 用 スポーツ保険料 年800円

(2) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）実施状況 (令和元年5月1日現在)

	クラブ名	所在地	電話	設置年月	施設面積 (㎡)
1	東町児童クラブ1	原町区東町二丁目8-2 (東町児童センター)	22-3202	H9.4	192.54
2	東町児童クラブ2 H22.4 東町児童クラブから分割	原町区東町二丁目8-2 (東町児童センター)	22-3202	H9.4	115.52
3	原町第一児童クラブ	原町区東町二丁目6-6 (原町第一小学校)	22-5300	H17.11	60.00
4	橋本町児童クラブ	原町区橋本町一丁目8-3-4 (橋本町児童センター)	24-0436	H9.4	308.61
5	上町児童クラブ1	原町区上町二丁目3-3 (上町児童センター)	24-0253	H9.4	167.43
6	上町児童クラブ2 H27.4 上町児童クラブから分割	原町区上町二丁目3-3 (上町児童センター)	24-0253	H9.4	150.15
7	原町第三児童クラブ H30.9 上町児童クラブから分割	原町区上町一丁目1-3 (原町第三小学校)	26-6069	H9.4	60.00
8	大甕児童クラブ	原町区大甕字鶴蒔8 (大甕小学校)	23-1706	H13.1	160.00
9	太田児童クラブ	原町区益田字塩釜2-3-6 (太田小学校)	23-4114	H13.1	120.00
10	石神第一児童クラブ	原町区北長野字北原田2-8-8 (石神第一小学校)	22-2870	H13.9	124.00
11	石神第二児童クラブ	原町区大木戸字西原1 (石神第二小学校)	22-2761	H13.9	90.00
12	鹿島児童クラブ1	鹿島区鹿島字広町1-3	46-4477	H12.9 H28.7(新築移転)	159.66
13	鹿島児童クラブ2	鹿島区鹿島字広町1-3	46-4477	H12.9 H28.7(新築移転)	159.66
14	八沢児童クラブ	鹿島区南屋形字北原8-1	26-4122	H23.5 H26.9(新築移転)	107.03
15	上真野児童クラブ	鹿島区浮田字一丁目8-1 (上真野小学校)	26-4567	H23.5	65.07
16	小高合同児童クラブ(臨時)	小高区関場一丁目7-7-1 (小高小学校)	44-4118	H25.4	190.00
17	小高児童クラブ1(休止中)	小高区関場一丁目7-7-1 (小高小学校)	44-4118	H13.6	190.00
18	小高児童クラブ2(休止中) H22.4 小高児童クラブから分割	小高区関場一丁目7-7-1 (小高小学校)	44-4118	H13.6	190.00
19	福浦児童クラブ(休止中)	小高区蛸沢字藤沼5-0-1 (福浦幼稚園)	44-6209	H13.6	53.60
20	金房児童クラブ(休止中)	小高区飯崎字北原6-1-1 (金房小学校)	44-2566	H13.6	79.18
21	鳩原児童クラブ(休止中)	小高区南鳩原字西畑7-6-1 (鳩原幼稚園)	44-6416	H13.6	77.76

《児童クラブ登録児童数》

(令和元年 5 月 1 日現在)

	クラブ名	定員 (人)	児童数等								指導員数
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	
1	東町児童クラブ 1	40	男	6	0	0	13	0	0	19	2
			女	13	0	0	13	0	0	26	
			計	19	0	0	26	0	0	45	
			(障)	1			1			2	
2	東町児童クラブ 2	25	男	0	12	0	0	0	0	12	2
			女	0	15	0	0	1	0	16	
			計	0	27	0	0	1	0	28	
			(障)		1					1	
3	原町第一児童クラブ	35	男	0	0	9	0	0	0	9	2
			女	0	0	18	0	0	0	18	
			計	0	0	27	0	0	0	27	
			(障)			2					
4	橋本町児童クラブ	55	男	7	8	1	7	5	0	28	3
			女	8	8	4	4	4	1	29	
			計	15	16	5	11	9	1	57	
			(障)	1	2		2	2		7	
5	上町児童クラブ 1	40	男	7	0	0	0	0	0	7	2
			女	10	0	0	0	0	0	10	
			計	17	0	0	0	0	0	17	
			(障)	1						1	
6	上町児童クラブ 2	40	男	0	16	0	0	0	0	16	2
			女	0	18	0	0	0	0	18	
			計	0	34	0	0	0	0	34	
			(障)								
7	原町第三児童クラブ	35	男	0	0	12	9	0	0	21	2
			女	0	0	8	9	0	0	17	
			計	0	0	20	18	0	0	38	
			(障)			4				4	
8	大甕児童クラブ	40	男	3	4	6	2	2	8	25	3
			女	5	5	4	4	4	4	26	
			計	8	9	10	6	6	12	51	
			(障)		1	1				2	
9	太田児童クラブ	40	男	2	2	0	1	2	0	7	2
			女	2	4	3	2	2	6	19	
			計	4	6	3	3	4	6	26	
			(障)								
10	石神第一児童クラブ	40	男	2	2	2	2	0	3	11	2
			女	2	3	2	4	2	1	14	
			計	4	5	4	6	2	4	25	
			(障)						1	1	
11	石神第二児童クラブ	40	男	9	3	7	6	1	1	27	2
			女	2	4	5	2	4	3	20	
			計	11	7	12	8	5	4	47	
			(障)	1				1		2	

12	鹿島児童クラブ 1	40	男	8	0	6	0	0	0	14	3
			女	11	0	14	0	0	0	25	
			計	19	0	20	0	0	0	39	
			(障)	1		3				4	
13	鹿島児童クラブ 2	40	男	0	14	0	7	0	0	21	3
			女	0	12	0	5	0	0	17	
			計	0	26	0	12	0	0	38	
			(障)		1		4			5	
14	八沢児童クラブ	30	男	1	3	3	2	0	0	9	2
			女	2	5	4	0	2	0	13	
			計	3	8	7	2	2	0	22	
			(障)			2				2	
15	上真野児童クラブ	40	男	3	5	3	3	4	2	20	2
			女	0	3	7	5	2	4	21	
			計	3	8	10	8	6	6	41	
			(障)	1						1	
16	小高合同児童クラブ (臨時)	40	男	1	4	0	1	4	3	13	2
			女	0	0	5	3	3	2	13	
			計	1	4	5	4	7	5	26	
			(障)	1				1		2	
17	小高児童クラブ 1 (休 止 中)	40	男	0	0	0	0	0	0	0	0
			女	0	0	0	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	0	0	0	
			(障)							0	
18	小高児童クラブ 2 (休 止 中)	40	男	0	0	0	0	0	0	0	0
			女	0	0	0	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	0	0	0	
			(障)							0	
19	福浦児童クラブ (休 止 中)	30	男	0	0	0	0	0	0	0	0
			女	0	0	0	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	0	0	0	
			(障)							0	
20	金房児童クラブ (休 止 中)	40	男	0	0	0	0	0	0	0	0
			女	0	0	0	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	0	0	0	
			(障)							0	
21	鳩原児童クラブ (休 止 中)	20	男	0	0	0	0	0	0	0	0
			女	0	0	0	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	0	0	0	
			(障)							0	
	計 (※)	620	男	49	73	49	53	18	17	259	36
			女	55	77	74	51	24	21	302	
			計	104	150	123	104	42	38	561	
			(障)	7	5	8	7	4	1	36	

(※) 休止中は含まないものとする。

(※) 障がい者数は学校の特別支援学級と一致しない（本人の申告による）。

(3) 児童の安全管理状況

児童クラブ共済保険内容

保険会社名	保険料	保険給付内容
(財) スポーツ安全協会	A 1 型 登録児童 1 名あたり 保険料 8 0 0 円	傷害保険 死亡 2, 0 0 0 万円 後遺障害 3, 0 0 0 万円 賠償責任 身体・財物 合算 1 事故につき 5 億円 身体賠償 1 事故につき 1 億円

児童クラブ共済保険加入状況

区名	小高区	鹿島区	原町区
人数	2 6 人	1 4 0 人	3 9 5 人

(4) 放課後子ども教室推進事業

<事業目的>

子どもの心豊かなで健全な育成と居場所づくりを支援し、帰還を促進するため、小高区 4 小学校の児童を対象に、小学校の施設を利用し地域の方々の参加と協力を得て、勉強や文化活動、地域住民との交流活動等のプログラムを実施する。

<事業内容>

① 対象児童 小高区 4 小学校の児童

② 活動日時 第 1 ・ 第 3 ・ 第 5 金曜日

③ 費 用 スポーツ保険料 8 0 0 円

④ 実施内容 放課後、屋内運動場での自由遊びやスポーツ、文化活動や各種体験活動等を行う。

（５）児童厚生施設運営費補助金事業

<事業目的>

社会福祉協議会、特定非営利活動法人トイボックスを実施主体とする仲町児童センター・高平児童館・錦町児童クラブ管理運営の円滑化を図る。

<事業内容>

小学校児童を対象として児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として運営される経費から国県交付金を控除した金額を補助する。

(令和元年 5 月 1 日現在)

施 設 名	所 在 地	電 話	施設面積 (㎡)	児 童 数							職員数		
					1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計	館 長	他
仲町児童センター	原町区仲町一丁目 165	22-1803	413.34	男	8	6	2	2	1	0	19	1	3
				女	7	5	6	5	3	0	26		
				計	15	11	8	7	4	0	45		
				障					2		2		
高平児童館	原町区下北高平字古館 36-5	24-3557	188.00	男	2	2	3	1	5	3	16	1	2
				女	2	3	2	2	1	4	14		
				計	4	5	5	3	6	7	30		
				障	1	1	1	1		1	5		
錦町児童クラブ	原町区錦町一丁目 125	26-6836	195.72	男	1	1	1	1	1	0	5	1	3
				女	1	1	1	3	0	0	6		
				計	2	2	2	4	1	0	11		
				障	1						1		

（６）被災児童の心のケア支援事業

<事業目的>

子どもたちが健やかに成長できるよう、各小中学校にスクールカウンセラー等を定期的に派遣し、被災児童生徒の心のケアに資する専門的な支援を行っている。放課後においても、当該児童生徒の心のケアに対する更なる支援の充実を図るため、放課後児童クラブへの支援体制を整備する。

<事業内容>

（１）放課後児童クラブ

ア 実施日 毎月 1 回程度（14 か所の放課後児童クラブを月 1 回以上定期訪問。特に課題のある児童クラブに対しては、別途プログラムを組み重点訪問を実施。）

イ 内容

- ①課後児童クラブ支援員への支援、アドバイス
- ②要支援児童への対応

（２）支援施設における要支援児童への対応

ア 実施日 毎週月曜日～金曜日

イ 内容

- ①スクーリング 小集団での社会生活技能訓練の実施、学習支援
- ②個別支援 個別相談・メンタルケアの実施

7 事業計画・実施状況

(1) 令和元年度事業計画

事業名	事業目的	事業内容
保育所等給食検査体制整備事業補助金	保育所等が安心・安全な給食を提供するための食材事前・事後検査を実施する。	○私立保育園及び私立認定こども園が実施する給食食材の事前検査に係る経費を助成。 ○公立保育園 給食食材の事前・事後検査を実施。
保育士・幼稚園教諭宿舍借り上げ支援事業補助金	保育士や幼稚園教諭の人材確保及び離職防止を図るため、事業者が保育士等の宿舍を借上げる費用の全部又は一部を支援する。	○事業者が借上げた宿舍の家賃補助（1か所月額7万円上限）
保育体制強化事業補助金	保育士の離職防止と働きやすい職場環境を整備するため、事業者が子育て経験者など地域の多様な人材を保育支援者として配置する費用の一部を補助する。	○保育支援者の配置に要する費用を助成。 （1園月額9万円上限） ・保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒・清掃 ・給食の配膳・後片付け ・寝具の用意・後片付け ・その他、保育士の負担軽減に資する業務
元気あふれる幼児育成推進事業	子どもの可能性や特性を引き出すような情操教育と体力増進を中心とした幼児教育の充実を図るため、幼児育成プログラムや指導者向けの研修等を実施する。	○保育士・幼稚園教諭等の資質と指導力を高める取り組み ・各種研修会の参加 ○幼児教育プログラム実施 ・各園がプログラム内容に沿った事業を実施する。
小高区認定子ども園整備事業	小高区住民の帰還を促進するとともに、小高区内の幼稚園・保育園の魅力を高め、子供たちが通いたくなるような環境を確保するため、幼稚園と保育園の機能を合わせ持つ認定こども園を整備する。	・建築主体工事 ・外構工事

(2) 平成30年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
保育所等給食検査体制整備事業補助金	保育所等が安心・安全な給食を提供するための食材検査を実施する。	○私立保育園等が実施する食材検査に係る経費を助成した。 検査測定器配置施設 ・原町聖愛こども園 ・北町保育所 ・よつば保育園 (よつば乳児保育園西町園含) ○公立保育園で給食食材の事前検査を実施した。 検査測定器配置施設 ・かしま保育園 (かみまの保育園検査含) ・原町あずま保育園 (原町さくら保育園検査含)
保育士・幼稚園教諭宿舍借り上げ支援事業補助金	保育士や幼稚園教諭の人材確保及び離職防止を図るため、事業者が保育士等の宿舍を借上げる費用の全部又は一部を支援する。	○事業者が借上げた宿舍の家賃補助（1か所月額7万円上限） ・よつば保育園 1件 ・よつば乳児保育園西町園 1件
保育体制強化事業補助金	保育士の離職防止と働きやすい職場環境を整備するため、事業者が子育て経験者など地域の多様な人材を保育支援者として配置する費用の一部を補助する。	○保育支援者の配置に要する費用を助成。 (1園月額9万円上限) ・北町保育所 1件
元気あふれる幼児育成推進事業	子どもの可能性や特性を引き出すような情操教育と体力増進を中心とした幼児教育の充実を図るため、幼児育成プログラムや指導者向けの研修等を実施する。	○保育士・幼稚園教諭等の資質と指導力を高める取り組み ・各種研修会の参加 ○幼児教育プログラム内容検討
小高区認定子ども園整備事業	小高区住民の帰還を促進するとともに、小高区内の幼稚園・保育園の魅力を高め、子供たちが通いたくなるような環境を確保するため、幼稚園と保育園の機能を合わせ持つ認定こども園を整備する。	・用地取得 ・造成工事 ・建築主体工事

VI 生涯学習

1 生涯学習関係

(1) 事業計画

令和元年度事業計画

事業名	事業目的	事業内容
女性団体活動 支援補助金	女性の資質や能力を向上させるとともに、生涯学習の視点に立った学習の機会を提供し会員相互の交流や女性団体の自主事業の活性化を促すため、補助金を交付する。	◇補助対象 1 団体 ・事業主体 原町区婦人団体連合会 ・補助金額 90千円 ・補助率 定額
生涯学習講演会 開催事業補助金 (鹿島生涯学習センター)	地域の中で、人としての優しさや豊かさ、幸せに生きることの大切さを考える機会を提供するため、市民が広く参加できる講演会を開催する実行委員会に対し、補助金を交付する。	◇補助対象 1 団体 ・事業主体 生涯学習講演会実行委員会 ・補助金額 1,000千円 ・補助率 定額 ・期 日 令和2年2月中旬 ・会 場 鹿島生涯学習センター（さくらホール） ・講 師 未定
報徳精神がいきづく まちづくり事業	報徳仕法のいきづく本市において、その教えを時代を超えて継承し、現代的視点で見つめ直して心豊かなまちづくり・ひとづくりを進めるため、報徳仕法に関する学習機会を提供する。	◇報徳のまちづくり講演会の開催 ・期 日 令和元年10月29日（火） ・会 場 原町生涯学習センター ・講 師 オーハシヨースケ氏（身体表現教育者） ・対象者 一般市民 ◇第25回全国報徳サミット筑西市大会参加 ・期日 令和元年11月8日（金）～9日（土） ・会場 茨城県筑西市明野公民館 ◇同報徳サミット筑西市大会市民バスツアー ・期日 令和元年11月8日（金）～9日（土） ・会場 茨城県筑西市明野公民館 ・定員20人（ほか職員引率2人） ◇学校教育との連携による郷土学習「ふるさと教育」の推進 ・副読本「報徳仕法-南相馬市版（改訂版）」の配布 市内全小学校新4年生児童・転入教諭 ・小中学校教育課程による「ふるさと教育」授業の実施 ◇「報徳精神」の普及啓発 ・市職員啓発活動 新採用職員への副読本ダイジェスト版配布 報徳の教え「名札入れカード」全職員配布 ・清掃活動の実施 職員自らが率先垂範して、市役所本庁舎（玄関脇）の二宮尊徳像の清掃活動 「一人ひとりの報徳実践DAY」の実施 ◇各生涯学習センターにおける報徳仕法に関する学級・講座等の開催 【報徳講座】 ・石神生涯学習センター 年4回 ・ひがし生涯学習センター 年3回 【高齢者学級・女性学級等による実施】 ・小高、鹿島、原町、太田、大甕、高平、ひばり ・各センター 年1～2回 ◇報徳仕法ゆかりの市内めぐりリーフレット ・部数 2,000部 ・配布先 市内公共施設 ◇報徳仕法（ため池・用水路）啓発用看板設置 ・市内4か所 ◇二宮家・富田家住宅看板修繕 ・石神生涯学習センター 1基

高等学校 開放講座事業	趣味や知識を深め技術の習得を図るため、市内高等学校の専門的な教育機能を市民に開放し、各種講座を実施する。	◇相馬農業高等学校開放講座 ・開催時期 6～12月 ・回数 年3回 ・定員 20～30人 ◇小高産業技術高等学校開放講座 【商業系】 ・開催時期 8～9月 ・回数 年2回 ・定員 16～20人 【工業系】 ・開催時期 11～12月 ・回数 年2回 ・定員 8組16人／回
成人式事業	成人に達した青年の自覚を促すとともに、新成人を祝い励ますために、成人式を開催する。	◇令和2年南相馬市成人式 ・期 日 令和2年1月12日（日） ・会 場 南相馬市民文化会館（ゆめはっと） ・対象者 510人 （令和元年7月1日現在市内住民登録者） 平成11年4月2日～ 平成12年4月1日までに生まれた方
生涯学習情報誌 発行事業	「であい・ふれあい・学びあい」のある生涯学習のまちづくりの普及啓発のため、生涯学習・社会教育施設等の利用促進を図るため、情報誌を発行する。	◇「であい・ふれあい・学びあい 情報誌」 ・発行部数 21,000部 ※残部調査により随時発行 ・配布先 生涯学習センター及び 観光案内の公共施設等
家庭教育支援 総合推進事業	子供の基本的な生活習慣や生活能力等を身につける家庭教育について学ぶ機会の提供や地域環境づくりを推進するため、学校・社会・家庭との連携協力を図り、家庭教育に関する学習機会の提供や支援を行う。	◇子育て学習講座 5団体 ・企業、NPO 団体、子育てサークル等 ◇家庭教育講座 13件 ・幼稚園・保育園 ◇就学児童子育て講座 ・市内小学校 12校 （小高区は4小学校で1校とみる） ◇大学公開講座 年1回
中学生職場体験等 支援事業	生徒自らが体験することで働くことの意義や目的を理解し社会人としての自立促進を図るため、市内中学校が授業の一環として実施する職場体験・福祉体験活動等を支援する	◇中学生職場体験・福祉体験活動の支援 ・担当者説明会 期 日 令和元年5月27日（月） ・職場体験活動取材 実施校 6中学校 実施期間 令和元年 9月 5日（木） ～20日（金） ・令和2年度 事業所受入意向調査 調査期間 令和2年1月～2月 ◇職場体験活動情報誌 「体験！Working！」の発行（年1回） ・発行日 令和元年12月15日 ・発行部数 8,000部 ・配布先 市内中学校、受入事業所 公共施設等

生涯学習講座事業	自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、生涯学習事業及び社会教育事業を推進するとともに、市民ボランティア及び行政職員等による出前講座を実施する。	◇各生涯学習センターにおける学級・講座等の開催 ・小高（２学級・４講座） ・鹿島（３学級・７講座） ・原町（３学級・１講座） ・太田（３学級・２講座） ・大甕（２学級・４講座） ・高平（２学級・２講座） ・石神（２学級・４講座） ・ひがし（２学級・４講座） ・ひばり（２学級・２講座） 合 計 ２１学級・３０講座 ◇生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・対象者 市内に在住・在勤・在学の団体等 ・実施回数 約 ２５０回 ・市民ボランティア ２００回 ・行政、公共団体等 ５０回 ・メニュー表 ２，９００部発行 - 発行日 令和元年 ７月 - 配布先 講師及び受講団体、関係機関・団体等 ・出前講座の継続にかかる意向調査予定 - 調査対象 市民ボランティア講師 - NPO・各種団体等 - 調査期間 令和２年 ２月
子ども自然体験学習事業 (原町生涯学習センター)	子どもに社会性や知識を身に付けてもらうため、自然の大切さや地域の文化芸術を学ぶ機会を提供する。	◇親子による自然科学体験 ・目 的 親子のふれあいを通して子どもに社会性や知識を身に付ける ・対 象 小学生から中学生までの児童・生徒とその家族 ・回 数 年５回 ・定 員 ３０～５０人／回 ◇災害協定締結都市等からの招待事業 ・目 的 招待都市との交流により地域の自然や文化、防災の知識を身に付ける ・招待先 ４団体 - 北海道名寄市 １０人 - 東京都青梅市 ２０人 - 長崎県長崎市 １５人（さだ企画） - 長野県信濃町 ３０人（イオン１％クラブ） ・対 象 小学４～中学２年生の児童・生徒 ・実施期間 令和元年 ７月～９月
学習活動団体育成支援事業	自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、市民の多様化する学習意欲に対応する機会として各種教室を開催する。	◇生涯学習センターによる各種教室の開催 ・小高（２教室） ・原町（３教室） ・太田（３教室） ・大甕（３教室） ・高平（１教室） ・石神（２教室） ・ひがし（１教室） ・ひばり（２教室） 計 １７教室

こども交流 支援事業補助金 (原町生涯学習センター)	全国各地において、子ども同士や地域住民との交流の拡大を図るため、南相馬こどものつばさが実施する事業に対し、補助金を交付する。	◇補助団体 1 団体 ・事業主体 NPO 法人南相馬こどものつばさ ・補助金額 1, 836 千円 ・補助率 定額 ・事業内容 招待交流事業実施に伴う必要経費の一部補助
紅梅の里・ 親と子の絆づくり 体験事業 (小高生涯学習センター)	小高区の住民同士の絆を深めるとともに、小高区への帰還や生活再建等を促進するため、交流事業を実施する。	◇小高復興まち歩き事業 ・期日 令和元年6月15日(土) ・対象 市民 ・会場 小高神社・同慶寺ほか(小高区内) ・内容 小高区の文化財や史跡巡りを実施 (小高区の再発見と帰還した区民との絆づくり) ◇親子体験事業 ・期日 令和元年9月7日(土) ・対象 小高区の小中学生の親子 ・会場 小高交流センター ・内容 親子でカレーライスを作る ◇移動水族館交流事業 ・期日 令和元年10月20日(日) ・対象 小高区の小中学生の親子 ・会場 小高区大町1丁目地内(文化祭会場) ・内容 移動水族館 海洋動物体験コーナーの設置 ◇キャンドルライト交流事業 ・期日 令和元年11月23日(土) ・対象 小高区小学生の親子 ・会場 小高生涯学習センター ・内容 LED のキャンドルライトで絵文字の制作を実施

令和元年度社会教育施設等の修繕事業

事業名	事業目的	事業内容
生涯学習センター 施設営繕事業	施設利用者の安全性を確保し、円滑な施設運営を行うため、施設の維持管理に必要な修繕等を行う。	生涯学習センターの修繕計画に基づいて実施 ＊令和元年度から5年間 ◇電源キュービクル受電設備修繕工事 ・対象施設 ひばり生涯学習センター ◇外壁塗装及び屋上防水工事 ・対象施設 石神生涯学習センター ◇トイレ洋便器改修工事 ・対象施設 ひがし・大甕生涯学習センター
生涯学習センター 埋設保管除去土壌等 撤去作業	生涯学習センターに埋設保管している、表土改善事業等で発生した除去土壌を撤去し、仮置場へ搬出する。	生涯学習センター埋設除去土壌の撤去 仮置場への除去土壌搬出 ◇事業箇所(5か所) ・原町生涯学習センター ・大甕生涯学習センター ・ひがし生涯学習センター ・ひばり生涯学習センター ・鹿島生涯学習センター

(2) 事業実施状況

平成30年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
女性団体活動支援補助金	女性の資質や能力を向上させるとともに、生涯学習の視点に立った学習の機会を提供し会員相互の交流や女性団体の自主事業の活性化を促すため、補助金を交付する。	◇補助対象 2団体 ・事業主体 小高区連合婦人会 補助金額 90千円 補助率 定額 ・事業主体 原町区婦人団体連合会 補助金額 90千円 補助率 定額
生涯学習講演会開催事業補助金 (鹿島生涯学習センター)	ふるさとの復興と未来を拓く人材の育成に向け、挑戦することの大切さを考える機会を提供するため、市民が広く参加できる講演会を開催する実行委員会に対し、補助金を交付する。	◇補助対象 1団体 ・事業主体 生涯学習講演会実行委員会 ・補助金額 678千円 ・補助率 定額 ・期 日 平成31年2月17日(日) ・会 場 鹿島生涯学習センター (さくらホール) ・講 師 柔道パルセロナ五輪金メダリスト 古賀塾塾長 古賀 稔彦氏 ・演 題 「夢の実現～挑戦することの大切さ～」 ・チケット 500円 ・聴講者 305人
報徳精神がいきづくまちづくり事業	報徳仕法のいきづく本市において、その教えを時代を超えて継承し、現代的視点で見つめ直して心豊かなまちづくり・ひとづくりを進めるため、報徳仕法に関する学習機会を提供する。	◇報徳のまちづくり講演会 ・期 日 8月29日(水) ・会 場 原町生涯学習センター ・講 師 草山 明久 氏 (小田原市 報徳二宮神社宮司) ・演 題 報徳仕法から学ぶまちづくり ～南相馬の未来を担う人づくり～ ・参加者 206人 ・対象者 一般市民 ◇第24回全国報徳サミット小田原市大会参加 ・期 日 10月12日(金)～13日(土) ・会 場 小田原市民会館ほか ・参加者 教育長、随員職員 2人 ◇同報徳サミット小田原市大会市民バスツアー ・期 日 10月12日(金)～13日(土) ・会 場 小田原市民会館ほか ・参加者 17人(ほか職員引率2人) ◇学校教育との連携による郷土学習 「ふるさと教育」の推進 ・副読本「報徳仕法-南相馬市版(改訂版)」の配布(4月)539部 市内全小学校新4年生児童・転入教諭 ・小中学校教育課程による「ふるさと教育」授業の実施 ◇「報徳精神」の普及啓発 ・市職員啓発活動 新採用職員への副読本ダイジェスト版配布 100人

		・清掃活動の実施 職員自らが率先垂範して、市役所本庁舎（玄関脇）の二宮尊徳像の清掃活動 「一人ひとりの報徳実践DAY」の実施 ◇各生涯学習センターにおける報徳仕法に関する学級・講座等の開催 【報徳講座】 （2センター 124人） 石神 4講座／57人 ひがし 4講座／67人 【高齢者学級・女性学級等による実施】 （7センター 142人） 小高 1学級／12人 鹿島 1学級／13人 原町 1学級／34人 太田 1学級／28人 大甕 1学級／18人 高平 1講座／15人 ひばり 1学級・1講座／22人 ◇報徳仕法ゆかりの市内めぐりリーフレット ・印刷部数 2,000部 ・配布先 市内公共施設 ◇報徳仕法（ため池・用水路）の啓発看板設置 ・市内3か所 鹿島区 七千石用水路 横峯ため池 新横峯ため池
高等学校 開放講座事業	趣味や知識を深め技術の習得を図るため、市内高等学校の専門的な教育機能を市民に開放し、各種講座を実施する。	◇相馬農業高等学校開放講座 参加者78人 【第1回】 期 日 9月29日（土） 会 場 相馬農業高等学校製パン室 参加者 34人（内親子参加：4組8人） 内 容 楽しく美味しいパンを作ろう！ 材料費 1,000円 【第2回】 期 日 11月10日（土） 会 場 ひばりが原農場 参加者 15人 内 容 ペットボトルプランターを作ろう！ 材料費 500円 【第3回】 期 日 12月15日（土） 会 場 相馬農業高等学校機械室 参加者 29人（内親子参加：3組6人） 内 容 ミニ門松を作ろう 材料費 1,000円

		◇小高産業技術高等学校開放講座 参加者 46 人 【商業系】 ○第 1 回 期 日 9 月 15 日（土） 会 場 小高産業技術高等学校 P C 室 I 参加者 8 人（親子参加：4 組 8 人） 内 容 親子で学ぶプログラミング教室 ○第 2 回 期 日 9 月 22 日（土） 会 場 小高産業技術高等学校 P C 室 I 参加者 8 人（親子参加：3 組 7 人） 内 容 親子でつくるドット絵作成講座 ○第 3 回 期 日 9 月 29 日（土） 会 場 小高産業技術高等学校 P C 室 I 参加者 12 人 内 容 画像編集基本講座はじめのいっぽ 【工業系 「親子おもしろ科学実験」 】 ○第 1 回 期 日 12 月 1 日（土） 会 場 小高産業技術高等学校工業測定室 参加者 10 人（親子参加：4 組 10 人） 内 容 液体窒素実験、スライム体験外 材料費 500 円 ○第 2 回 期 日 12 月 15 日（土） 会 場 小高産業技術高等学校工業測定室 参加者 8 人（親子参加：3 組 8 人） 内 容 鏡をつくろう、スライム体験 材料費 500 円
成人式事業	成人に達した青年の自覚を促すとともに、新成人を祝い励ますために、成人式を開催する。	◇平成 31 年南相馬市成人式 ・期 日 平成 31 年 1 月 13 日（日） ・式典開始 13 時 00 分 ・会 場 南相馬市民文化会館（ゆめはっと） ・対象者 510 人（市内住民登録者） 平成 10 年 4 月 2 日～ 平成 11 年 4 月 1 日までに生まれた方 ・参加者 354 人（参加率 69.4%） ・成人式運営委員会による企画・出演等 運営委員 7 人 司 会 2 人 成人の誓い 1 人 二十歳の主張 3 人 運営委員会だより作成 3 人（2 人兼務） ・スライドショー 「私たちの喜憶」 ・記念写真撮影

生涯学習情報誌 発行事業	「であい・ふれあい・学びあい」のある生涯学習のまちづくりの普及啓発と生涯学習の振興を図る。	◇2019年度版 「であい・ふれあい・学びあい情報誌」の発行準備 ・発行回数 年1回 ・発行日 平成31年4月1日 ・発行部数 21,000部 ・配布先 市内行政区全戸配布 (令和元年5月1日) 関係機関、公共施設等
家庭教育支援 総合推進事業	子供の基本的な生活習慣や生活能力等を身につける家庭教育について学ぶ機会の提供や地域環境づくりを推進するため、学校・社会・家庭との連携協力を図り、家庭教育に関する学習機会の提供や支援を行う。	◇子育て学習講座 実績 3団体／3件 86人 ・hahaco ・ひよこサークル ・原町子育て支援センター ◇家庭教育講座 実績 6件 734人 ・青葉幼稚園 ・北町保育園 ・かしま保育園 ・鹿島幼稚園 ・小高幼稚園 ・原町さくら保育園 ◇就学時健診子育て講座 実績 市内小学校で6回 15校 283人 ◇大学公開講座 ①家族で楽しむリトミック 期 日：10月28日(日) 会 場：鹿島農村環境改善センター大会議室 講 師：堺 秋彦 氏(桜の聖母短期大学) 対 象：未就学児(3～6歳)とその保護者 参加者：親子11組28人 ②子どもの情報モラルとSNSトラブル対策 期 日：12月15日(土) 会 場：鹿島農村環境改善センター大会議室 講 師：加藤 竜哉 氏(桜の聖母短期大学) 対 象：一般市民 参加者：86人 ※小中学校PTA連絡協議会との共催
中学生職場体験等 支援事業	生徒自らが体験することで働くことの意義や目的を理解し社会人としての自立促進を図るため、市内中学校が授業の一環として実施する職場体験・福祉体験活動等を支援する。	◇中学生職場体験・福祉体験活動の支援 ・担当者説明会 期 日 5月29日(火) ・職場体験活動取材 実施校 6中学校 実施日 9月11日(火)～21日(金) 生徒数 803人(実数) 受入れ 225事業所(延べ) ・平成31年度 事業所受入意向調査 調査件数 524事業所 調査期間 平成31年1月8日(火) ～2月1日(金) ◇職場体験活動情報誌 「体験!Working!」の発行(年1回) ・発行日 12月15日 ・発行部数 8,000部 ・配布先 市内中学校(全校生徒、教職員)

		市内小学校（教職員） 行政区隣組回覧、公共施設、事業所等
生涯学習講座事業	自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、生涯学習事業及び社会教育事業を推進するとともに、市民ボランティア及び行政職員等による出前講座を実施する。 ※平成30年度から、生涯学習まちづくり出前講座を統合	◇各生涯学習センターにおける学級・講座等の開催 ・小高（2学級・3講座） ・鹿島（3学級・7講座） ・原町（3学級・1講座） ・太田（2学級・1講座） ・大甕（2学級・3講座） ・高平（2学級・2講座） ・石神（2学級・4講座） ・ひがし（2学級・4講座） ・ひばり（2学級・2講座） 合 計 20学級・27講座 ◇生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・対象者 市内に在住・在勤・在学の団体等 ・実施回数 243回 ・市民ボランティア 116回 ・行政、公共団体等 127回 ・メニュー表 3, 300部発行 - 発行日 平成30年7月 - 配布先 講師及び受講団体、関係機関・団体等 ・出前講座の継続にかかる意向調査予定 - 調査対象 市民ボランティア講師 NPO・各種団体等 - 調査期限 平成31年2月25日（月）
子ども自然体験学習事業 (原町生涯学習センター)	子どもに社会性や知識を身に付けてもらうため、自然の大切さや地域の文化芸術を学ぶ機会を提供する。	◇親子による自然科学体験 ・対 象 市内の児童・生徒とその家族 ・回 数 年5回 ・参加者 99人 【第1回】開講式 期 日 8月4日（土） 会 場 相馬太田神社周辺 内 容 市内生物系体験観察 参加者 11人 【第2回】 期 日 10月21日（日） 会 場 原町生涯学習センター 内 容 地球の自転と公転を学ぶ 参加者 15人 【第3回】 期 日 11月11日（日） 会 場 泉官衛遺跡周辺 内 容 市内自然文化系体験 参加者 10人 【第4回】 期 日 12月22日（土） 会 場 角田宇宙センター、福島こむこむ 内 容 宇宙と科学ロケットの仕組みを学ぶ 参加者 30人

		【第5回】閉講式 期 日 平成31年2月24日（日） 会 場 宮城県刈田郡七ヶ宿スキー場 内 容 宮城県七ヶ宿スキー場にて、雪との 触れ合い体験 参加者 33人 ◇災害協定締結都市等からの招待事業へ参加 ・対 象 小学4～中学2年生の児童・生徒 ・団 体 4団体 <table> <tr> <th></th><th>人数</th><th>期間</th></tr> <tr> <td>北海道名寄市</td><td>10人</td><td>7.31～8.2</td></tr> <tr> <td>東京都青梅市</td><td>20人</td><td>8.21～8.23</td></tr> <tr> <td>長崎県長崎市</td><td>14人</td><td>8.4～8.11</td></tr> <tr> <td>長野県信濃町</td><td>30人</td><td>8.10～8.12</td></tr> <tr> <td>計</td><td>74人</td><td></td></tr> </table>		人数	期間	北海道名寄市	10人	7.31～8.2	東京都青梅市	20人	8.21～8.23	長崎県長崎市	14人	8.4～8.11	長野県信濃町	30人	8.10～8.12	計	74人	
	人数	期間																		
北海道名寄市	10人	7.31～8.2																		
東京都青梅市	20人	8.21～8.23																		
長崎県長崎市	14人	8.4～8.11																		
長野県信濃町	30人	8.10～8.12																		
計	74人																			
学 習 活 動 団 体 育 成 支 援 事 業	自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、市民の多様化する学習意欲に対応する機会として各種教室を開催し、将来自立した活動ができるよう各種団体への組織化等の支援を行った。	◇生涯学習センターによる各種教室の開催 ・小高（2教室） 337人 ・鹿島（1教室） 65人 ・原町（2教室） 383人 ・太田（3教室） 409人 ・大甕（1教室） 27人 ・高平（2教室） 264人 ・石神（4教室） 421人 ・ひがし（1教室） 289人 ・ひばり（2教室） 233人 計 18教室 2,428人																		
こ ども 交 流 支 援 事 業 補 助 金 (原町生涯学習センター)	全国各地において、子ども同士や地域住民との交流の拡大を図るため、南相馬こどものつばさが実施する事業に対し、補助金を交付する。	◇補助対象 1団体 ・事業主体 NPO法人南相馬こどものつばさ ・補助金額 1,836千円 ・補助率 定額 ・事業内容 招待交流事業実施に伴う必要経費の一部を補助 ・実 績 平成31年3月31日現在 ・招待先 20ヶ所 ・参加者 347人 ・参加料 原則、無料 (招待先により一部負担あり)																		

七タコンサート 事業補助金 (小高生涯学習センター)	小高区復興のため、市民が広く参加できるコンサート事業を主催する団体に対し、補助金を交付し、心の豊かさを感じられる機会を提供する。	◇補助対象 1 団体 ・事業主体 小高区連合婦人会 ・補助金額 1, 000 千円 ・補助率 定額 ・期 日 平成30年7月25日(水) ・会 場 小高生涯学習センター 「浮舟文化会館」 ・内 容 七タコンサート 「中欧オペラコンサート」 ・入場料 2, 000 円 ・入場者 350 人
紅梅の里・ 親と子の絆づくり 体験事業 (小高生涯学習センター)	小高区の住民同士の絆を深めるとともに、小高区への帰還や生活再建等を促進するため、交流事業を実施する。	◇小高復興まち歩き事業 ・期 日 平成30年6月24日(日) ・対 象 市民 ・会 場 大悲山(小高区内) ・内 容 小高区の文化財や史跡巡りを実施 (小高区の再発見と帰還した区民との絆づくり) ・参加者 124 人 ◇親子ふれあい交流事業 ・期 日 平成30年10月21日(日) ・対 象 小高区の小中学生の親子 ・会 場 小高区大町1丁目地内(文化祭会場) ・内 容 移動水族館 海洋動物体験コーナー の設置 ・入場者 972 人 ◇親子ふれあい交流事業 ・期 日 平成30年11月10日(土) ・対 象 小高区小学生の親子 ・会 場 小高生涯学習センター ・内 容 LED のキャンドルライトで絵文字の 制作を実施及び、餅つき ・参加者 111 人
その他の事業	市内で活動するの生涯学習団体の支援をするため、登録制度を設けて、使用料の減免をする。	○生涯学習施設等登録団体の支援 (H31.3.31) ・登録団体数 296 団体 小高区 18 団体 鹿島区 24 団体 原町区 254 団体

平成30年度社会教育施設等の修繕事業

事業名	事業目的	事業内容
生涯学習センター 施設営繕事業	施設利用者の安全性を確保するとともに円滑な施設運営を行うため、施設の維持管理に必要な修繕等を行う。	生涯学習センターの修繕計画に基づいて実施 *平成30年度から5年間 ◇電源キュービクル受電設備修繕工事 ・対象施設 原町生涯学習センター ◇エントランスホール・事務室冷暖房設備 交換工事 ・対象施設 ひばり生涯学習センター ◇研修室冷暖房設備交換工事 ・対象施設 太田生涯学習センター ◇外壁塗装及び屋上防水工事 ・対象施設 高平生涯学習センター

2 生涯学習センター関係

(1) 令和元年度事業計画

◆生涯学習講座事業

生涯学習センターが実施する各種学級・講座をとおり、自ら学ぶ楽しさを実感してもらうとともに知識の習得及びスキルの向上を図ることができるよう、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。

①小高生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	アロマを使ったハンドマッサージ、茶道教室 他	8
高齢者学級 (うきふね学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	報徳仕法、盆栽苔玉作り 他	4
バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めことを目的とする。	茶道教室、そば打ち 他	5
絵手紙講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	絵手紙	5
パン作り講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	パン作り	3
スポーツ吹き矢体験講座	市民が主体的に学習する場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	スポーツ吹き矢	5
計			30

②鹿島生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	防災について考えよう、料理教室、軽運動 他	6
ひこばえ学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	交通安全教室、語り部の民話 他	5
成人学級	成人を対象に一般的な教養及び歴史の専門知識に関する学習を目的に開催する。	鹿島区の歴史	3
3 B 体操講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	ゴムベルト・ベルダー・ボールを使った運動	5
手作りアート講座(中級)	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	絵手紙 ほか	5
チャレンジ料理講座	西洋風的な料理に挑戦し、知識教養を高める。	洋菓子、西洋料理	2
パン作り講座 (前期)	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	テーブルロールパン ほか	3
パン作り講座 (後期)	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	テーブルロールパン ほか	3
トールペイント講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	トールペイント	3
郷土を生かした健康料理講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	郷土料理	3
計			38

③原町生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
成人大学 (生涯学習共通事業)	政治、経済、文学、歴史等について大学教授等を招いて豊かな教養を身につける。	講話、移動研修 他	10
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	寄せ植え教室、リース作り、移動研修 他	10
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	園芸教室、移動研修、健康体操 他	10
バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	そば打ち体験、トールペイント教室 他	5
計			35

④太田生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	一閑張り教室、移動研修、簡単料理教室 他	6
いきいき学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	いきいき体操教室	12
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	ハーバリウム教室、移動研修 他	3
人生・生きがい講座	人生について多方面から学習できる環境を整え、受講生自らの生きがいを見出してもらうことを目的とする。	講話、体操 他	4
アートデザイン講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	ポーセリンアートを学ぶ トールペイントを学ぶ	4
計			29

⑤大甕生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	ヨガ教室、ハーバリウム、編み物 他	5
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	ノルディックウォーキング、藍染、移動研修 他	4
クッキング講座	新たな工夫で食の安全を確保すべく参加者相互の向上とコミュニケーションをはかる事を目的とする。	みそ作り、キムチ作り、洋食を学ぶ 他	8
うまい生き方講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	般若心経から人生を学ぶ、後見人制度・相続の話 他	6
おおみかハツラツ講座	高齢化社会に対応した健康づくりとともに、生きがいや心の豊かさを見だし生活に活かすことを目的とする。	健康で快適な生活を維持する方法を身につける	12
初級「吊るし飾り」講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	オリジナルの吊るし雛制作	12
計			47

⑥高平生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	創作講座	4
いきいき学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	布ぞうりづくり 他	4
子育て講座	子供の健やかな成長を願い、遊びながら楽しい子育てをする方法を学習すると共に子育て中の親同士の情報交流の場をもつ。	こども救命学習、野菜の収穫、ミニ運動会 他	12
高平成 人 講座	健康・政治・経済・歴史・生活に関する情報など幅広くこれからの生活に役立つ知識を身につけられるようにする。	健康講話、報徳講座 他	4
計			24

⑦石神生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	みそ作り、クラフト教室 他	4
石神長寿学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	生け花教室、干支人形作り、健康教室 他	7
ふる里味塾	将来に残すべき伝統、そして新たな工夫で食の安全を確保すべく参加者相互の向上とコミュニケーションをはかる。	デザート作り、キムチの素作り 他	5
石神バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	スタンドフラワー作り、健康体操 他	4
石神歴史散策講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	陸前浜街道を巡る、古代遺跡の見学会 他	4
癒しの時間の演出講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	カップケーキ石鹸作り、ポーセリン体験 他	4
計			28

⑧ひがし生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	スポーツ教室、健康料理づくり、教養講座 他	6
しらゆり学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	防犯教室、園芸教室、教養講座、移動研修、他	8
男の料理講座	料理に親しみ、食を通して明るい生活を築く。	夏野菜料理、肉料理、山菜料理 他	6
おまがね講座	食をとおして、地域コミュニティの基礎づくりをめざす。	旬の保存食	8
ボディチェンジ講座	健康的な肉体を求め、脱メタボをめざす。	健康体操	5
ゆる育講座	子育て中の母親が安心して子育てできるよう、情報交換の場を設けることを目的とする。	親子遊び、民話 他	5
計			38

⑨ひばり生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
ひばり女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	健康体操教室、料理教室、市内史跡巡り 他	5
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	介護予防の体験体操、犯罪被害、健康講話 他	6
人生100年時代の学び直し講座	次世代型社会を皆で考え、実現していく講座。世界的な潮流、社会の変容を理解し、毎日の仕事、生活に生かしていく事を目的とする。	ネット社会・AI、移動講座（ドローン・ロボット開発） 他	5
ひばりバラエティ講座	様々なモノ作りを通して、個々の感性を磨くための体験型学習を目的とする。	ティッシュケースのデコレーションアレンジ、マグカップ・皿の制作 他	4
計			20

◆学習活動団体育成支援事業

自らの趣味と教養を高めるため、参加者自らが教室の運営に携わり、運営が軌道にのった段階でサークルに移行できるよう活動を支援する。

①小高生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
習字教室	習字	月2回（4月～3月）	24
フラワーアレンジメント	フラワーアレンジメント	月1回（4月～3月）	10
計			34

②原町生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
書道教室	書道	月2回（4月～3月）	24
オカリナ教室	オカリナの演奏	月2回（第2・4月曜日）	24
童謡・唱歌を歌おう教室	童謡・唱歌を歌う	月1回（第4水曜日）	10
計			58

③太田生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
こころの健康体操教室	自立神経のバランスを整える	月2回（第2・4水曜日）	24
書道教室	書道	月2回（第2・3水曜日）	24
生け花教室	生け花	月2回（第1・3月曜日）	24
計			72

④大甕生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
切り絵教室	切り絵を基礎から学ぶ	月1回（第1金曜日／6月～11月）	6
生け花教室	生け花	月1回（第3水曜日／6月～12月）	4
工芸教室	基礎を学び独自の作品を作る（巣箱、鉢カバー、陶芸）	7・8・9月	3
計			13

⑤高平生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
クラフトバンド教室 (初級コース)	初心者を対象とした季節の飾り物 小物、バックづくり ほか	月2回(第1・3水曜日)	23
計			23

⑥石神生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
石 神 ギ タ ー 教 室	ギターでフォークソングを楽しく引きな がら歌を歌う	月2回(第1・3月曜日)	24
ビーズアクセサリ教室	ビーズの基礎を学び色々なアクセサリ 作りを楽しむ	月2回(第2・4月曜日)	20
計			44

⑦ひがし生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
初 心 者 陶 芸 教 室	陶芸を基礎から学ぶ	月2回(第2・4木曜日)	20
計			20

⑧ひばり生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
新 作 郷 土 料 理 教 室	地元食材・素材を生かした試作品(加工品) を作る	月1回(第2水曜日)	10
ギターふれあい教室	音楽をととして地域住民のふれあいの輪 を広げ、地域活性化を目指す	月2回(第1・3水曜日)	24
計			34

◆その他の事業（大会、展示会等）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
地区文化祭		1	1	1	1	1	1	1	1	8
パークゴルフ大会				2	4		3			9
地区運動会等 (地域住民全員参加型スポーツ大会)				1			1			2
ふれあいオリンピック (住民参加型種目別スポーツ大会)						1				1
世代間交流事業				1	1	1				3
夏まつり								1		1
山野草展								3		3
冬まつり								1		1
芸能発表大会		1								1
交流会・作品展				1	1			1		3
計	0	2	1	6	7	3	5	7	1	32

◆社会教育団体の育成等

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
少年団体		8		1		4				13
青年団体										－
若妻団体										－
婦人団体	1		1	2	1	1		2		8
高齢者団体		1		1		1	1	1		5
文化団体		1								1
体育団体		1		1				3		5
計	1	11	1	5	1	6	1	6	－	32

◆その他の社会教育関係団体（事務局設置）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
市青少年育成市民会議			○	○	○	○	○			5
防犯協会			○	○	○	○	○			5
地区行政区長会			○	○	○	○	○			5
計	－	－	3	3	3	3	3	－	－	15

(2) 平成30年度事業実施状況

◆生涯学習講座事業

生涯学習センターが実施する各種学級・講座をとおり、自ら学ぶ楽しさを実感してもらうとともに知識の習得及びスキルの向上を図ることができるよう、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。

①小高生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	華道教室、木工作品作り、 絵手紙教室 他	10
高齢者学級 (うきふね学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	小高区復興施設見学、 認知症予防について 他	6
バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めことを目的とする。	寄せ植え教室、陶芸教室 他	7
パン作り講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	パン作り	3
スポーツ吹き矢体験講座	市民が主体的に学習する場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	スポーツ吹き矢	6
計			32

②鹿島生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	ヨガ教室、老後のお金、 報徳仕法を学ぼう 他	6
ひこばえ学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	交通安全「疑似体験装置」、 認知症と転倒予防 他	5
成人学級	成人を対象に一般的な教養及び歴史の専門知識に関する学習を目的に開催する。	鹿島区の歴史、史跡めぐり	3
3B体操講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	ゴムベルト・ベルダー・ボールを使った基礎運動 他	5
手作りアート講座(中級)	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	うちわの絵手紙、短冊の絵手紙、年賀状を描く 他	5
親子洋菓子講座	専門家の指導の協力のもと、親と子が協力しながら学習できる講座を開催する。	アーモンドチュールとかぼちゃのムース 他	2
パン作り講座 (前期)	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	クッキーパン 他	3
パン作り講座 (後期)	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	ベーコンオニオンブレッド 他	3
トールペイント講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	ウエルカムボード作成	3
郷土を生かした健康料理講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	柿と春菊の白和え、ほっき飯、べんけい和え 他	3
計			38

③原町生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
成人大学 (生涯学習共通事業)	政治、経済、文学、歴史等について大学教授等を招いて豊かな教養を身につける。	漢方薬の話、方言学入門、東北大学移動研修 他	10
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	健康講話、報徳仕法ってなだろう、移動研修 他	11
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	自主防災講座、藍染教室、民謡教室、料理教室 他	9
バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	飾り巻き寿司教室、春の簡単お菓子教室 他	5
計			35

④太田生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	ポーセリンアート教室、報徳講座、健康体操 他	5
いきいき学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	いきいき体操教室 報徳講座、藍染教室 他	15
人生・生きがい講座	人生について多方面から学習できる環境を整え、受講生自らの生きがいを見出してもらうことを目的とする。	成人のための健康教室、認知症にならないための脳トレ教室 他	4
計			24

⑤大甕生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	藍染 (のれん作成)、麴甘酒の作り方、キムチ作り 他	7
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	パークゴルフ教室、盆栽 (コケ玉作り)、しめ縄作り 他	6
フラワーデザイン講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	フラワーアレンジメントを学ぶ	6
おおみかハツラツ講座	高齢化社会に対応した健康づくりとともに、生きがいや心の豊かさを見いだし生活に活かすことを目的とする。	健康で快適な生活を維持する方法を身につける	10
初級「吊るし飾り」講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	オリジナルの吊るし雛制作	12
計			41

⑥高平生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	秋を感じるリース作り、キルトバスケット作り 他	4
いきいき学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	クラフトバック作り、ポーセリンアート教室 他	4
子育て講座	子供の健やかな成長を願い、遊びながら楽しい子育てをする方法を学習すると共に子育て中の親同士の情報交流の場をもつ。	遊びながら楽しく育てる方法の指導、親子体操、 他	12
高平成 人 講座	健康・政治・経済・歴史・生活に関する情報など幅広くこれからの生活に役立つ知識を身につけられるようにする。	すぐわかる認知症、報徳講座、史跡巡り 他	4
計			24

⑦石神生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
石神女性学級 (女性学級)	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	みそ作り、デコクレイクラフト(粘土細工)	3
石神長寿学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	押絵づくり、干支人形作り、生け花教室 他	5
ふる里味塾講座	将来に残すべき伝統、そして新たな工夫で食の安全を確保すべく参加者相互の向上とコミュニケーションをはかる。	和菓子(かしわ餅とおはぎ)作り、夏野菜料理づくり 他	5
石神バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	ロボット講座(プログラミング体験)、スタンドフラワー体験 他	3
石神歴史散策講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	古代行方郡の成立、写真と旧地図でたどる原町昔 他	4
癒しの時間の演出講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	アボカドオイルの石鹸づくり、オータムコスメ作り 他	4
計			24

⑧ひがし生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	ウッドボールに挑戦、落語鑑賞、茶道を学ぶ 他	7
しらゆり学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	交通安全教室、漬物床作り、小高の移動研修 他	8
男の料理講座	男性も料理を習得し、楽しい食生活を送れるようにする。	「和食を学ぶ」旬の素材を生かした料理、秋刀魚の南蛮漬け 他	4
おまがね講座	食をとおして、地域コミュニティの基礎づくりをめざす。	ピーナッツみそ作り、かりかり梅作り 他	8
ボディチェンジ講座	健康的な肉体を求め、脱メタボをめざす。	力を抜いてストレッチをしてみよう	5
ゆる育講座	子育て中の母親が安心して子育てできるよう、情報交換の場を設けることを目的とする。	キャラ弁作り、寒い日の親子遊び 他	5
計			37

⑨ひばり生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
ひばり女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	夏のスタミナ料理作り、移動講座(報徳仕法) 他	5
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	漢字講座、アロハ・ウクレレコンサート 他	6
相馬野馬追 文化伝承講座	相馬の武家文化を学ぶことで、相馬野馬追、そして報徳仕法をより深く理解し、地域住民、また地域の活性化につなげていくことを目的とする。	報徳仕法と相馬野馬追、乗馬体験、武士メシ再現 他	6
ひばりバラエティ講座	様々なモノ作りを通して、個々の感性を磨くための体験型学習を目的とする。	ハーバリウム作り、羊毛フェルトを使ったアクセサリ作り 他	4
計			21

◆学習活動団体育成支援事業

自らの趣味と教養を高めるため、参加者自らが教室の運営に携わり、運営が軌道にのった段階でサークルに移行できるよう活動を支援する。

①小高生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
習 字 教 室	習字	月 2 回 (4 月～3 月)	24
フラワーアレンジメント教室	フラワーアレンジメント	月 1 回 (4 月～3 月)	10
計			34

②鹿島生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
健 康 和 太 鼓 教 室	基礎となる叩き方から学び、演奏ができるように目指す	月 2 回 (第 1・3 火曜日／5 月～12 月)	11
計			11

③原町生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
書 道 教 室	書道	月 2 回 (第 2・4 月曜日)	24
オ カ リ ナ 教 室	オカリナの演奏	月 2 回 (第 2・4 月曜日)	22
計			46

④太田生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
こころの健康体操教室	自立神経のバランスを整える	月 2 回 (第 2・4 水曜日)	24
書 道 教 室	書道	月 2 回 (第 2・3 水曜日)	22
生 け 花 教 室	生け花	月 2 回 (第 1・3 月曜日)	22
計			68

⑤大甕生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
切 り 絵 教 室	切り絵を基礎から学ぶ	月 1 回 (第 1 金曜日／6 月～9 月)	4
計			4

⑥高平生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
書 道 教 室	書道を基礎から学ぶ	月 2 回 (第 2・4 金曜日)	24
ふ る さ と 歴 史 教 室	地域の歴史・文化について学ぶ	年 4 回 (6 月～2 月)	4
計			28

⑦石神生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
英 会 話 教 室	日常的な英会話を学ぶ	月 2 回（第 2・4 火曜日）	22
石 神 和 紙 人 形 教 室	和紙人形作りの基礎を学び、独自の作品を作る	月 1 回（第 4 金曜日）	10
石 神 ギ タ ー 教 室	フォークソングを引きながら歌う （初心者から中級者）	月 2 回（第 1・3 月曜日）	20
ビ ー ズ ア ー ト 教 室	ビーズアクセサリ作品づくりを楽しむ	月 2 回（第 2・4 月曜日／6 月～3 月）	20
計			72

⑧ひがし生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
陶 芸 教 室	陶芸を基礎から学ぶ	月 2 回（第 2・4 木曜日）	23
計			23

⑨ひばり生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
ひ ば り 寸 劇 教 室	「寸劇」をとおして、地域住民自ら課題に挑戦	月 2 回（第 1・3 月曜日）	25
ギ タ ー ふ れ あ い 教 室	音楽をとおして地域住民のふれあいの輪を広げ、地域活性化を目指す	月 2 回（第 1・3 水曜日）	21
計			46

◆その他の事業（大会、展示会等）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
地区文化祭		1	1	1	1	1	1	1	1	8
パークゴルフ大会				2	2		3			7
地区運動会等 (地域住民全員参加型スポーツ大会)				1						1
ふれあいオリンピック (住民参加型種目別スポーツ大会)						1				1
世代間交流事業				1	1	1				3
夏まつり								1		1
山野草展								3		3
冬まつり								1		1
短歌大会・芸能発表大会		2								2
交流会・作品展				1				1		2
復興支援コンサート			1							1
計	-	3	2	6	4	3	4	7	1	30

◆社会教育団体の育成

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
少年団体		8		1		4				13
青年団体										-
若妻団体										-
婦人団体	1		1	2	1	1		2		8
高齢者団体		1		1		1	1	1		5
文化団体		1								1
体育団体		1		1	1			3		6
計	1	11	1	5	2	6	1	6	-	33

◆その他の社会教育団体の育成等（事務局設置）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
市青少年育成市民会議			○	○	○	○	○			5
防犯協会			○	○	○	○	○			5
地区区長会			○	○	○	○	○			5
計	-	-	3	3	3	3	3	-	-	15

(3) 平成30年度生涯学習施設の利用状況

小高区

区 分	生涯学習センター	就業改善センター	コミュニティセンター	計
利 用 件 数	779	2	3	784
利 用 人 数	20,645	133	54	20,832

鹿島区

区 分	生涯学習センター	農村環境改善センター	計
利 用 件 数	627	765	1,392
利 用 人 数	16,214	16,712	32,926

原町区

区 分	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
利 用 件 数	564	363	312	513	649	552	909	3,862
利 用 人 数	33,346	6,958	6,220	13,517	18,850	16,201	30,621	125,713

区 分	原町生涯学習センター トレーニング室	労働福祉会館
利 用 件 数	-	536
利 用 人 数	29,845	12,315

※小高区の生涯学習施設の内、小高生涯学習センター「浮舟文化会館」は、平成25年12月16日に再開。
 ※南相馬市就業改善センター、小高コミュニティセンターについては、平成28年3月31日まで閉鎖。

3 南相馬市生涯学習施設一覧

小高区

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
小高生涯学習センター 「浮舟文化会館」	小高区本町二丁目 89-1 TEL 44-3049	R C 造 2 F 建物 2,463.77 m ² (1F 1,954.33 m ²) (2F 509.44 m ²)	ホール 298 席 第 1 研修室 (91.59 m ²) 第 2 研修室 (91.59 m ²) 第 3 研修室 (15.91 m ²) 第 1 和室 [楽屋] (10 帖) 第 2 和室 [茶室] (20 帖) 創作室 (64.229 m ²) 小高図書館 (161 m ²) 埴谷・島尾記念文学資料館 (98.54 m ²) 資料収蔵庫 (119.584 m ²) 事務室 (89.04 m ²)
南相馬市就業改善センター	小高区飯崎字北原 125-1 TEL 44-3049 (小高生涯学習センター)	R C 造 2 F 建物 544.32 m ² (1F 317.52 m ²) (2F 226.80 m ²)	事務室 (22.68 m ²) 健康相談室 (22.68 m ²) 娯楽室 (22.50 m ²) 他産業就業研修室 (57.33 m ²) 生活改善実習室 (56.70 m ²) 農業経営研修室 (136.08 m ²) 就業改善相談室 (45.36 m ²)
小高コミュニティセンター	小高区蛭沢字藤沼 50-1 TEL 44-3049 (小高生涯学習センター)	R 造 1 F 建物 276.62 m ²	多目的室 (81.90 m ²) 調理室 (23.94 m ²) 会議室 (36.00 m ²) 図書資料室 (21.00 m ²)

鹿島区

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
鹿島生涯学習センター	鹿島区寺内字迎田 22-1 TEL 46-5116	R C 造一部 4 F 建物 2,008.49 m ²	ホール 504 席 研修室 [控室] (15 m ²) 研修室 [リハーサル室] (50 m ²) 和室 (8 帖) 鹿島図書館 (120 m ²) I T 室 (18 席) 相談室 (23.12 m ²) 事務室 (51.87 m ²)
鹿島農村環境改善センター	鹿島区寺内字迎田 22 TEL 46-1040	R C 造 1 F 建物 998 m ²	大会議室 (360 m ²) 農事研修室 (80 m ²) 農産加工実習室 (68 m ²) 営農相談室 (24 m ²) 生活改善室 (64 m ²) 小会議室 (48 m ²) 事務室 (15 m ²)

原町区

施 設 名	所 在 地	建物構造	施 設 の 概 要
原 町 生 涯 学 習 セ ン タ ー 「サンライフ南相馬」	原町区小川町 322-1 Tel 2 4 - 5 3 2 2	R C 造一部 2 F 1,889.47 m ²	集会室 400 席（補助椅子 103 席含む） 会議室（66.5 m ² ） 研修室（66.5 m ² ） 和室（18 帖） 講習室 1（54.0 m ² ） 講習室 2（24.6 m ² ） 料理実習室（54.0 m ² ） 事務室
太 田 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区益田字塩釜 26 Tel 2 2 - 3 8 2 1	R C 造 1 F 621.21 m ²	和室研修室（87 m ² ） 大会議室（153 m ² ） 研修室（88 m ² ） 料理実習室（44 m ² ） 図書談話コーナー（76 m ² ） 資料室、事務室
大 甕 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区大甕字十日迫 26 Tel 2 2 - 3 8 1 0	R C 造 1 F 598.44 m ²	会議室〔和室〕（42 帖） 大会議室（149 m ² ） 会議室兼研修室（96 m ² ） 料理実習室（45 m ² ） 資料室（18 m ² ） 図書談話コーナー（22 m ² ） 事務室
高 平 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区下高平寺前 155-1 Tel 2 2 - 2 3 0 2	R C 造 1 F 621.50 m ²	大会議室（152 m ² ） 研修室〔和室〕（40 帖） 研修室〔洋室〕（88 m ² ） 料理実習室（48 m ² ） 図書談話コーナー（88 m ² ） 事務室
石 神 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区石神字坂下 29 Tel 2 2 - 3 4 2 1	R C 造 1 F 617.28 m ² （建築年 S 5 4 年）	大会議室（182 m ² ） 研修室〔和室〕（48 帖） 研修室〔洋室〕（72 m ² ） 料理実習室（49 m ² ） 図書談話コーナー（31 m ² ） 事務室（54 m ² ）
ひ が し 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区高見町二丁目 30-1 Tel 2 4 - 1 4 9 0	R C 造 1 F 492.90 m ²	和室会議室（102.85 m ² ） 研修室〔洋室〕（96.5 m ² ） 料理実習室（43.5 m ² ） 陶芸室（119.25 m ² ） 図書談話コーナー（44.1 m ² ） 事務室
ひ ば り 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区本陣前三丁目 60-2 Tel 2 5 - 3 5 7 7	鉄骨造 1 F 860.00 m ²	エントランスホール（78 m ² ） メディアホール（60 m ² ） 学習室〔和室〕（99 m ² ） ボランティア室（36 m ² ） 学習室（72 m ² ） 多目的ホール（204 m ² ） 調理室（36 m ² ） 創作室（69.30 m ² ） 事務室
南 相 馬 市 労 働 福 祉 会 館	原町区北町 537 Tel 2 4 - 5 3 2 2 （原町生涯学習センター）	鉄骨造 2 F 458.28 m ²	会議室 1（104.6 m ² ） 会議室 2（81.2 m ² ） 和室 1（10 帖） 和室 2（10 帖）

4 図書館関係

(1) 施設概要

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
中央図書館	原町区旭町二丁目7-1 TEL 23-7789	R C 一部 鉄骨造4 F 3,778.31 m ²	1階一般開架室 (1,227 m ²) 事務室 (108 m ²) 1階児童開架室 (297 m ²) 2階一般開架室 (740 m ²) 1～3階書庫 (477 m ²) 研修室 (77.6 m ²) 閲覧席 620 席 蔵書収容能力 597,000 点
小高図書館 (小高生涯学習センター 「浮舟文化会館」内)	小高区本町二丁目 89-1 TEL 66-1011	R C 造	開架室 (161 m ²) 閲覧席 24 席 蔵書収容能力 38,000 点
鹿島図書館 (鹿島生涯学習センター内)	鹿島区寺内字迎田 22-1 TEL 46-5116	R C 造	開架室 (120 m ²) 閲覧席 22 席 蔵書収容能力 19,000 点
市民情報 交流センター	原町区旭町二丁目7-1 TEL 23-7796	R C 一部 鉄骨造4 F 1,619.28 m ²	マルチメディアホール (180 m ²) 大会議室 (88 m ²) 交流広場 (173 m ²) 中会議室 (54 m ²) 生涯学習広場 (66 m ²) 小会議室 (31 m ²) 事務室 (27.5 m ²) 総合案内 (62 m ²) クラフトルーム (78.6 m ²)

(2) 開館日及び開館時間

(平成31年4月1日現在)

施設名	開館時間		休館日
中央図書館	火・水・木・金曜日	9時30分～20時00分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
	土・日・祝日	9時30分～17時00分	
小高図書館	全日	10時00分～17時00分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
鹿島図書館	全日	10時00分～17時00分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
市民情報 交流センター	火・水・木・金曜日	8時30分～20時00分	毎週月曜日 年末年始
	土・日・祝日	8時30分～17時00分	

(3) 所蔵資料の現況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

資料区分	中央図書館	小高図書館	鹿島図書館	移動図書館	計
一般図書	215,365 点	18,759 点	9,171 点	1,176 点	244,471 点
児童図書	56,609 点	5,259 点	6,193 点	2,071 点	70,132 点
郷土資料	2,636 点	133 点	103 点	1 点	2,873 点
参考資料	516 点	0 点	9 点	0 点	525 点
洋書	1,076 点	0 点	0 点	0 点	1,076 点
紙芝居	1,706 点	216 点	122 点	58 点	2,102 点
CD・DVD等	13,483 点	23 点	24 点	175 点	13,705 点
雑 誌	22,021 点	483 点	595 点	171 点	23,270 点
おもちゃ	340 点	2 点	0 点	0 点	342 点
絵 画	235 点	10 点	0 点	11 点	256 点
地図資料	531 点	12 点	11 点	0 点	554 点
デイジー	92 点	0 点	0 点	0 点	92 点
その他	81 点	0 点	0 点	0 点	81 点
計	314,691 点	24,897 点	16,228 点	3,663 点	359,479 点

「その他」は主に、館内で利用者に貸出している、再生機や眼鏡等の物品

(4) 平成30年度図書館利用実績

- ・登録件数 26,704 件 (団体登録を含む)
- ・入館者数・貸出利用人数・貸出点数

	中央図書館	小高図書館	鹿島図書館	移動図書館	計
入館者数	220,545 人	10,722 人	11,721 人	10,395 人	253,383 人
貸出利用人数	82,874 人	1,968 人	3,822 人	3,669 人	92,333 人
貸出点数	357,629 点	5,798 点	14,817 点	21,360 点	399,604 点

(5) 平成30年度図書館利用促進事業

【1】定例事業

事業名	実施日・場所	内容	回数	対象	参加者数
ライブラリースター	毎月第2土曜日 マルチメディアホール	大型スクリーンで映画を楽しむとともに図書館利用促進のため映画会を開催	12 回	一般	501 人
子ども映画会	偶数月第1日曜日 中央図書館	子どもたちの利用促進のため映画会を開催	6 回	児童 一般	83 人
おはなし会 (市民団体主催)	毎月第3土曜日 中央図書館	「絵本と童話の会」の協力により、読み聞かせや手あそびなどを実施	9 回	3歳～ 小学生 保護者	132 人
おはなし会 (図書館主催)	毎月第4土曜日 中央図書館	図書館職員により、読み聞かせや手あそびなどを実施	27 回	3歳～ 小学生 保護者	297 人
おはなしのへや (市民団体主催)	毎月第2木曜日 中央図書館	「絵本と童話の会」の協力により、読み聞かせや手あそびなどを実施	11 回	乳幼児 保護者	220 人
ブックスタート	毎月1回 原町保健センター 隔月1回 鹿島保健センター	絵本をきっかけに、親子のふれあいと赤ちゃんの心と言葉の発達を手助けする事業として実施	18 回	10か月児 検診受診者 保護者	706 人
なかよし広場	毎月1回 原町保健センター 鹿島保健センター	乳幼児を対象とした相談会の中で、絵本の紹介や読み聞かせ等を実施	5 回	乳幼児 保護者	419 人

【2】こども読書週間事業（4月20日～5月12日）

事業名	実施日・場所	内容	対象	参加者数
日本語と英語のおはなし会	4月28日 おはなしの蔵	英語や日本語の読み聞かせを通し、物語の楽しさを味わうおはなし会を開催した。	児童	72人
図書館バッグ教室	5月12日 クラフト ルーム	図書館の利用促進のため、図書館で利用するバッグを作成することで、図書館に親しむ機会を提供した。	児童	24人
おすすめ本展示	4月20日～ 5月12日 子ども図書館	図書館に親しむ機会の提供及び図書館の利用促進のため、図書館司書おすすめの図書を展示した。	児童	—

【3】夏休み特別企画事業（7月1日～8月31日）

事業名	実施日・場所	内容	対象	参加者数
小学生司書講座 ～図書館司書一日体験～	7月22日 研修室ほか	市内の小学生に、絵本の読み聞かせや貸出・返却などの司書の仕事を体験してもらい、学校図書館や市立図書館の利用促進を図った。	児童 4～6年生	19人
さくらカレッジ2018 「小学生のための 読書感想文教室」	8月4日 大会議室	桜の聖母短期大学生涯学習センターから成田章江氏を講師として招き、読書感想文の書き方やコツを学ぶ講座を開講した。	児童	36人
夏休み子ども映画会	8月18日 8月19日 おはなしの蔵	『シンデレラ』（18日）、 『ピーター・パン』（19日）を上映した。	児童	87人
絵本専門士 ピコの会による おはなし会	8月5日 おはなしの蔵	絵本専門士ピコの会による、音楽と絵本を組み合わせた読み聞かせイベントを開催した。	児童	24人
移動図書館車が 中央図書館にやってくる！	8月4日 8月5日 けやきの広場	移動図書館車をけやきの広場に展開し、貸出や車内飾りつけ用の塗り絵を塗ってもらう会を開催した。	児童	79人
わくわく実験教室 やってみよう！ 不思議な化学実験 デンプンのりで手品？	8月7日 8月8日 クラフト ルーム	桐蔭横浜大学の齋藤教授を講師に迎え、化学反応で色が変わるデンプンのりの実験を行った。	児童	77人
読書通帳	7月21日～ 8月26日 子ども図書館	20冊記入できる通帳を250部作成し、20冊分記入した児童におめでとうシールと景品を贈呈した。	児童	183冊配布
毎日おはなし会	7月21日～ 8月26日 子ども図書館	夏休み期間中、毎日11時と14時に おはなし会を開催した。	児童	615人

事業名	実施日・場所	内容	対象	参加者数
夏休みシャツくじ	7月21日～ 8月24日 子ども図書館	子ども図書館に おすすめ本が書かれたくじ箱を設置した。	児童	1028 個作成
「自由研究&読書感想文に役立つ本集めました！」	7月8日～ 8月31日 子ども図書館	自由研究や自由工作、読書感想文の課題図書など、宿題に役立つ資料を集めて展示した。	児童	—
原高生が作る本棚	7月20日～ 8月24日 ティーンズコーナー	原町高校図書委員がそれぞれおすすめの本をピックアップし、ティーンズコーナーの一角に企画棚を設置した。	一般	—
御朱印帳づくり教室	8月22日 クラフトルーム	さぽーとセンターぴあ職員を講師に迎え、伝統的な和綴りの製本を学んで御朱印帳をつくる講座を開催した。	一般	20 人
企画展示 「相馬野馬追」	7月1～31日 企画棚	相馬野馬追の資料を、列帳や交通規制情報などと併せて展示した。	一般	—
司書のおすすめ夏の 一冊 2018	7月20日～ 8月26日 企画棚	職員が選んだおすすめ本に紹介ポップを貼付して貸出を行った。	一般	—
トーンチャイム演奏 グループ メリーベル ミニコンサート	7月5日 けやきの広場	トーンチャイムサークルメリーベルを迎え、トーンチャイムコンサートを開催した。	一般	40 人
恐怖のシネマ館	7月27日～ 8月26日 研修室	夏休み中、研修室でホラー映画等怖い映画の上映と怖い本の展示をした。	一般	311 人
大人のための夏の夜 語り	8月22日 おはなしの蔵	図書館職員とボランティアによる、語りを中心としたおはなしの会を開催した。	一般	36 人
ナイトシアター	8月1日8日 8月15日 マルチメディアホール	一般向けのライブラリーシアターを、平日の夜に開催した。	一般	24 人
秋まき野菜をつくろう！ ～図書館で学ぶ家庭 菜園～	7月26日 大会議室	農文協から講師を迎え、家庭菜園向けの野菜作り講習会を開催した。「秋まき野菜のつくりかた」（ダイコン等）「作業が2倍速く労力半分の草刈り法」	一般	28 人
絵本作りの裏の裏 Part2	8月5日 大会議室	すずき出版編集長 波賀稔氏による絵本についての講習会をとしょかんTOMOの会との共催で開催した。	一般	11 人
平和のおはなし会	8月10日 おはなしの蔵	戦争と平和に関するおはなし会をちゅうりっぷ文庫との共催で開催した。	児童	18 人
文学散歩 源氏物語の 世界	8月25日 大会議室	明治大学名誉教授 日向一雅氏を講師として迎え、源氏物語に関する講座を開催した。	一般	40 人

【４】読書週間事業（10月14日～11月4日）

事業名	実施日・場所	内容	対象	参加者数
きみもエリック・カール？！レオ・レオニになっちゃおう！！	10月27日 クラフトルーム	絵本作家の小原風子氏を講師に招き、スタンプ、色々な種類の紙を使用して、親子で世界に一つだけの絵本づくりを体験する講座を開催した。	一般 児童	36人
ぬいぐるみおとまり会	10月27日～ 10月30日 おはなしの蔵	子どもたちのぬいぐるみを預かり、ぬいぐるみが図書館で過ごす様子を撮影した写真と、おすすめ本の紹介文を渡すイベントを開催した。	児童	20人
大人のための朗読会	10月14日 マルチメディアホール	元民放テレビアナウンサーによる朗読集団「原國雄とその仲間たち」による朗読会を開催した。	一般	42人
市民一箱古本市	10月20日～ 10月21日 交流広場ほか	市民参加型の本のリサイクル市を開催した。	一般	延べ 200人
第13回南相馬市立図書館連続講演会	11月4日 マルチメディアホール	映画プロデューサー富山省吾氏を講師に迎え、「映画と小説の関係～原作小説を映画化する時に起きる色々な事～」と題した講演会を開催した。	一般	23人
デザインから本を楽しむ～文字の形を中心に～	10月21日 クラフトルーム	書道家、元編集者など多彩な経験を持つ古賀久恵氏を講師に迎え、本の装丁、文字デザインなど、読む以外の本の楽しみ方を伝える講座を開催した。	一般	16人
パパと一緒におはなし会！～読み聞かせのコツ教えます！！	10月20日 おはなしの蔵	男性司書による父親を中心とした男性に向けた絵本講座を開催した。	一般 児童	18人

【５】冬休み企画事業（12月15日～1月13日）

事業名	実施日・場所	内容	対象	参加者数
としょかん絵馬	1月4日～ 1月13日 子ども図書館	子どもカウンターで特製の絵馬を配布し、記入済みの絵馬を子ども図書館内の図書館神社に展示した。	児童	125個作成
としょかんお守り	1月4～13日 子ども図書館	特製のお守りをくじ引き形式でプレゼントした。	児童	216個配布
読書通帳	12月15日～ 1月13日 子ども図書館	20冊記入できる通帳を120部作成し、20冊記帳した児童におめでとうシールと景品をプレゼントした。	児童	115冊配布
図書館福袋	1月4日～ 一般フロア	図書館職員がテーマ別にした本3冊を入れた福袋をつくり、貸出した。	一般	70組作成

【6】その他企画事業

事業名	実施日・場所	内容	対象	参加者数
絵本ヨガ教室	6月24日 マルチメディアホール	ヨガインストラクター長谷部真奈見氏と絵本専門士近藤麻智子氏とヨガインストラクターYUI氏を講師に迎え、絵本の読み聞かせとヨガを組み合わせたイベントを開催した。	児童	25組 51人
ライブラリーコンサート	6月2日 雑誌コーナー	ラールゴ会を出演者として迎え、ピアノ伴奏つき合唱、独唱のコンサートを開催した。	一般 児童	71人
ライブラリーコンサート	12月16日 雑誌コーナー	ピアニストの安保美希氏を演奏者として迎え、地元在住の作家柳美里さんの作品『ねこのうち』と北欧をテーマにしたピアノの演奏会を開催した。	一般 児童	102人
ハーバリウム教室	①5月26日 ②9月22日 クラフトルーム	福島市フラワーデザイン教室「ようせいのしっぽ」の浅野真知子氏を講師に迎え、ハーバリウムを作るワークショップを開催した。	一般	①20人 ②52人
ふしぎなのぞき箱を作ろう！	9月8日 大会議室	女子美術大学教授ヤマザキミノリ氏を講師に迎え、立方体型万華鏡を作るワークショップを開催した。	一般 児童	42人
吉増剛造workshop「それぞれのそこからの声」	11月18日 クラフトルーム	詩人の吉増剛造氏を講師に迎え、言葉に関するワークショップを開催した。	一般 児童	14人
世界の子どもたちの今～アフガニスタン編～	12月22日 クラフトルーム	シャンティ国際ボランティア会の市川斉氏を講師に迎え、アフガニスタンに関する国の基本情報、文化、支援に行った時の現地の様子を知り、絵本を現地語で届ける運動を体験する講座を開催した。	一般	14人
Coffee Break～プロが教えるコーヒーの入れ方講座～	2月20日 クラフトルーム	Odaka Micro Stand Bar～オムスビ～店長 森山貴士氏を講師に迎え、コーヒーに関する知識の講義とテイスティング、コーヒーの入れ方を体験するグループワークで構成される講座を開催した。	一般	24人

(6) 企画展示

区 分	内 容
通年企画	・東日本大震災常設展 ・映画化、ドラマ化、原作本特集 ・大人の嗜みコーナー ・視覚・聴覚障がい資料コーナー ・いま、輝ける自分コーナー ・コメディカルコーナー ・原発事故常設展 ・いま、地域再生を考える常設展 ・これで憲法がわかる常設展 ・一人暮らし応援コーナー ・闘病記文庫コーナー ・冠婚葬祭コーナー
タイムリー企画	・はじめてみませんか？ 新しい自分（4月～5月） ・もっと知りたい！ 南相馬（4月～5月） ・ロボットのまち南相馬（4月～5月） ・決定！2018年本屋大賞（4月～5月） ・カレル・チャペック（6月～7月） ・神話をたのしむ（6月～7月） ・東洋文庫（6月～7月） ・野馬追展示（7月） ・芥川賞直木賞（7月～） ・100回目の、夏。（高校野球特集）（7月～8月） ・太宰治 没後70年（8月～9月） ・大人の自由研究（8月～9月） ・知る 遊ぶ 読む「山」（8月～9月） ・源氏物語の世界（8月～10月） ・LGBTを知ろう（10月～11月） ・青春プレイバック！ 懐かしマンガに再会（10月～11月） ・文学賞受賞作（10月～11月） ・まだ誰にも読まれていない本（12月～1月） ・広告デザインの世界（12月～1月） ・新着 CD/DVD（12月～） ・本で振り返る「平成」（12月～1月） ・「新聞」を通して -時代・情報を伝える-（2月～3月） ・拝啓、商品開発のゲンバからお知らせします（2月～3月）

(7) 学校図書館支援事業

①事業目的

小中学校の学校図書館における自由な読書活動の推進や主体的な学習活動を支援するために、担当教諭等と連携して学校図書館の整備や利用促進を図った。

②学校図書館支援員数

8人

③派遣校及び派遣日

【小学校】

学校名	派遣日
原町第三小学校	月・火・水
高平小学校	月・火・水
大甕小学校	木・金
太田小学校	木・金
石神第一小学校	木・金
石神第二小学校	月・火・水
鹿島小学校	月・火・水
八沢小学校	木・金
上真野小学校	月・火・水

【中学校】

学校名	派遣日
原町第一中学校	月・火・水
原町第二中学校	月・火・水
原町第三中学校	木・金
石神中学校	木・金
鹿島中学校	月・火・水
小高中学校	木・金

④業務内容

- ・図書館資料の受入、装備、貸出
- ・レファレンスサービス
- ・資料選書の補助
- ・図書委員活動の支援
- ・図書館情報等の広報活動
- ・予約、リクエスト
- ・利用案内の作成、掲示
- ・貸出統計、利用統計
- ・単元に基づく学習支援 など
- ・学校図書館支援事業報告書作成

(8) 移動図書館管理運営事業

移動図書館車を運行して、市民が身近なところで等しく図書館を利用できるアウトリーチサービスを実施した。

【1】運行場所 災害公営住宅、幼稚園・保育園、図書館まで距離のある地域の拠点施設等

【2】運行日 週4日（火曜日～金曜日）

【3】巡回日程

No.	区分	名称	巡回予定	区分別
1	幼稚園・保育園・こども園	大甕幼稚園(原町)	第1・第3金曜日 13:30 ～ 14:30	15か所
2		八沢幼稚園(鹿島)	第2木曜日 13:00 ～ 14:00	
3		青葉幼稚園(原町)	第2火曜日 13:00 ～ 13:30	
4		原町みなみ幼稚園(原町)	第2火曜日 10:00 ～ 10:30	
5		さゆり幼稚園(原町)	第3木曜日 14:00 ～ 15:00	
6		あずま保育園(原町)	第3木曜日 9:30 ～ 10:30	
7		よつば保育園(原町)	第4火曜日 10:00 ～ 11:00	
8		原町聖愛こども園(原町)	第2金曜日 10:00 ～ 11:00	
9		原町子育て支援センター(原町)	第3木曜日 10:30 ～ 11:30	
10		鹿島幼稚園(鹿島)	第4木曜日 13:00 ～ 14:00	
11		小高幼稚園(小高)	第2木曜日 10:00 ～ 11:00	
12		かみまの保育園(鹿島)	第1水曜日 10:30 ～ 11:30	
13		さくらい保育園(原町)	第3水曜日 10:00 ～ 11:00	
14		かしま保育園(鹿島)	第1木曜日 10:30 ～ 11:30	
15		高平幼稚園(原町)	第4木曜日 10:00 ～ 11:00	
16	災害公営住宅	西川原第一災害公営住宅(鹿島)	第2・第4金曜日 14:15 ～ 15:00	6か所
17		西川原第二災害公営住宅(鹿島)	第2・第4金曜日 15:15 ～ 16:00	
18		西町災害公営住宅(鹿島)	第2・第4金曜日 13:00 ～ 13:45	
19		萱浜災害公営住宅(原町)	第2・第4火曜日 14:30 ～ 15:15	
20		上町災害公営住宅(小高)	第2・第4水曜日 13:30 ～ 14:15	
21		東町災害公営住宅(小高)	第2・第4水曜日 14:45 ～ 15:30	
22	集会所や公共施設	高松ホーム(原町)	第1木曜日 14:30 ～ 15:30	10か所
23		太田生涯学習センター(原町)	第1・第3金曜日 10:00 ～ 11:00	
24		大甕生涯学習センター(原町)	第1・第3金曜日 14:30 ～ 15:30	
25		石神生涯学習センター(原町)	第1・第3火曜日 10:00 ～ 11:00	
26		高平生涯学習センター(原町)	第1・第3水曜日 14:30 ～ 15:30	
27		かしま交流センター(鹿島)	第1・第3火曜日 13:30 ～ 14:15	
28		角川原研修センター(鹿島)	第1・第3火曜日 14:45 ～ 15:30	
29		小高区サロン(小高)	第2・第4水曜日 10:30 ～ 11:30	
30		鹿島区福祉サービスセンター	第4水曜日 10:00 ～ 11:00	
31		みんなの遊び場(鹿島)	第4木曜日 14:00 ～ 15:00	

(9) 平成30年度市民情報交流センター利用実績

- ・マルチメディアホール、大会議室、中会議室、小会議室、クラフトルーム利用件数)
- ・申請件数、利用人数(施設別)

区 分	マルチメディアホール	大会議室	中会議室	小会議室	クラフトルーム	計
申請件数	83 件	188 件	229 件	262 件	98 件	860 件
利用人数	13,411 人					13,411 人

(10) 平成30年度市民情報交流センター事業内容

脱出ゲーム 「とあるシアターからの脱出」	・日 時 平成30年7月1日(日) 午前9時～午後5時 ・会 場 南相馬市民情報交流センター ・内 容 ダンジョン型脱出ゲーム ・主 催 ミステリーサークル「ていらみす」 南相馬市民情報交流センター ・参加者 53名
脱出ゲーム 「とあるシアターからの脱出2」	・日 時 平成31年3月23日(土)～24(日) 午前9時～午後5時 ・会 場 南相馬市民情報交流センター ・内 容 ダンジョン型脱出ゲーム ・主 催 ミステリーサークル「ていらみす」、 南相馬市民情報交流センター ・参加者 115名

(11) 平成30年度埴谷・島尾記念文学資料館事業内容

【1】収蔵資料点数

① 埴谷雄高関係資料		② 島尾敏雄関係資料		③ 小高の人物関係資料		④ その他	
種 類	点 数	種 類	点 数	種 類	点 数	種 類	点 数
書 籍	1,269 点	書 籍	798 点	鈴木安蔵	79 点	俳句関係	413 点
原 稿	15 点	原 稿	5 点	半谷清壽	15 点	その他	593 点
書	4 点	書	9 点	大曲駒村	7 点		
書 簡	57 点	衣 類	10 点	半谷絹村	4 点		
写 真	10,000 点	手紙・はがき	147 点	豊田君仙子	100 点		
蔵 書	7,803 点	その他	12 点	天野秀延	11 点		
ビデオ	204 点			平田良衛	8 点		
レコード	157 点						
※未整理資料	1,000 点						
計	20,509 点	合計	981 点	合計	224 点	合計	1,006 点

※未整理資料とは、新聞切り抜き等の資料

【2】入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入館者	109	193	203	259	241	306	385	154	220	60	108	76	2,314

【3】企画展示

(1) 島尾敏雄の根っこ展

〔概要〕 島尾敏雄は横浜に生まれているが、両親のふるさとしてある小高には幼少期からよく通い、「いなか」と呼んで親しんだ。小高を舞台とした代表的な短編作品「いなかぶり」を紹介するとともに、震災によって、津波で流失した島尾作品の風景と、復興に伴い失われつつある風景を過去に撮影した写真と現状の写真とを比較展示した。

また、関連事業として、青山学院女子短期大学教授 鈴木直子氏を招き、「いま読み直す島尾敏雄 新資料とともに」という演題で、講演会を開催した。

〔開催期間〕 平成 30 年 6 月 16 日（土）～7 月 30 日（月）

〔期間入館者〕 426 人

〔展示資料〕 展示総数 53 点 展示資料内訳

島尾敏雄資料		35 点	埴谷雄高資料		16 点
	著書	7 点		著書	16 点
	初出誌	12 点			
	原稿	2 点			
	写真	12 点			
	関係書誌	2 点			

〔関連事業〕

講演会 「いま読み直す島尾敏雄 新資料とともに」

開催日時 平成 30 年 7 月 14 日（土）午後 2 時～4 時 30 分

会場 小高生涯学習センター「浮舟文化会館」研修室

講師 鈴木 直子 氏（青山学院女子短期大学教授）

参加者数 20 人

(2) 生誕 160 年半谷清壽展

〔概要〕 平成 30 年は、小高出身の実業家である半谷清壽氏の生誕 160 年の年であった。代表作『将来之東北』をはじめ、半谷清壽氏の著作資料や写真資料等を展示し、業績や思想を、市民をはじめとする多くの方に知っていただくことを目的として開催。さらに、小高の夏の風物詩「火の祭り」の創始者であることや、富岡町夜ノ森の桜並木についても紹介した。

また、関連事業として、愛知学院大学准教授 柴田哲雄氏を招き、「小高が生んだ偉大な警世家 半谷清壽」という演題で、半谷清壽とはどのような人物だったのかを紹介する講演会を開催した。

〔開催期間〕 平成 30 年 8 月 11 日（土）～10 月 7 日（日）

〔期間入館者〕 651 人

〔展示資料〕 展示総数 57 点 展示資料内訳

半谷清壽資料		28 点	島尾敏雄資料		16 点
	著書	5 点		著書	12 点
	写真	13 点		関連著書	4 点
	関連書誌	6 点	埴谷雄高資料		13 点
	関係原稿	1 点		著書	11 点
	その他	3 点		関連書誌	2 点

〔関連事業〕

講演会 「小高が生んだ偉大な警世家 半谷清壽」
 開催日時 平成 30 年 9 月 22 日（土）午後 2 時～4 時
 会場 浮舟文化会館 研修室
 講師 柴田 哲雄 氏（愛知学院大学 准教授）
 参加者数 74 人

（3） トシヲノオト、ミホノコエ 吉増剛造展

〔概要〕 福島県立博物館連絡協議会 被災博物館・被災文化財救済事業として、福島県立博物館及び猪苗代町の「はじまりの美術館」との 3 館連携により、同時期開催し、それぞれの館に合わせた資料の展示を行った。

吉増剛造氏は、東京都杉並区出身であり、島尾敏雄、ミホ夫妻と親交があったことから、その関連資料の展示も行った。

また、関連事業として吉増剛造氏を招き、島尾夫妻との交流から垣間見た島尾敏雄像、ミホ像について、篠原誠司氏（足利市立美術館学芸員）を聞き手として迎えてトークイベントを開催した。

〔開催期間〕 平成 30 年 11 月 23 日（金）～平成 31 年 1 月 6 日（日）

〔期間入館者〕 345 人

〔展示資料〕 展示総数 62 点 展示資料内訳

吉増剛造資料		28 点	埴谷雄高資料		16 点
	吉増剛造原稿	8 点		著書	16 点
	著書	13 点			
	その他	7 点			
島尾敏雄資料		15 点			
	著書	15 点			
島尾敏雄・ミホ共著		1 点			
	著書	1 点			
島尾ミホ資料		2 点			
	著書	2 点			

〔関連事業〕

講演会 「吉増剛造の声 トシヲ、ミホに触れて」

講 師 詩人 吉増 剛造 氏
 開催日時 平成 30 年 12 月 1 日（土）午後 2 時～4 時
 会 場 小高生涯学習センター浮舟文化会館
 参加者数 39 人

【4】その他

（1）福島ビエンナーレ 2018 海神の芸術祭 駒井哲郎展

〔概要〕 「福島ビエンナーレ」は福島大学が中心となり、平成 16 年から地域住民との協力により隔年で開催。平成 26 年は会津地方、平成 28 年は二本松市で開催されてきた。

平成 30 年は南相馬市において「海神の芸術祭」として開催し、その一環として、版画家駒井哲郎氏の版画作品を展示した。

駒井氏の版画作品は、埴谷雄高、島尾敏雄の作品において挿画や装丁として使用されている。両氏と関係の深い版画家であることから、文学と芸術をつなぐ意味合いから開催した。

〔開催期間〕 平成 30 年 10 月 13 日（土）～11 月 16 日（金）

〔期間入館者〕 395 人

〔展示資料〕 展示総数 50 点 展示資料内訳

駒井哲郎資料	12 点	島尾敏雄資料	16 点
	銅版画		著書
	『闇のなかの黒い馬』から		16 点
埴谷雄高資料	18 点		
	著書		
	18 点		

◆組織機構改革により、平成 31 年 4 月 1 日より埴谷・島尾記念文学資料館は生涯学習課へ移管。

5 文化振興関係

(1) 令和元年度事業計画

事業名	事業目的	事業内容
芸術文化協会等事業補助金	市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図るため、芸術文化の普及を行う団体に対し、補助金を交付する。	◇事業主体 原町区芸術文化協会 ・内 容 芸術文化協会文化祭、 情報紙発行、機関紙発行 ・補助金額 1,000千円 / 定額 ◇事業主体 鹿島区文化協会 ・内 容 文化祭、芸能発表大会、 短歌大会 ・補助金額 600千円 / 定額 ◇事業主体 小高区文化団体連絡協議会 ・内 容 加盟団体事業補助 ・補助金額 50千円 / 定額
地域文化振興助成事業補助金	市民の文化活動の振興及び育成を図るため、成果発表等を行う団体等に対し、補助金を交付する。	◇事業主体 市内の個人又は団体 ・補助率 補助対象経費の1/2以内(上限あり) ・対象事業 成果発表、大会出場・出品・派遣、 地区文化祭、文化財保護等 ◇文化団体の成果発表事業等への助成 地区文化祭 7件、成果発表 25件 文化財 1件、大会出場 2件 計 35件
学校等市民文化会館利用支援補助金	学校等の芸術文化及び教育活動の進行を図るため、行事等で市民文化会館を利用する学校等に対し、利用料金の一部を補助する。	◇事業主体 市内小中学校及び高等学校等 ・補助率 対象経費全額又は1/2 (回数制限あり) ・対象経費 学校行事、部活動で市民文化会館を利用した際の施設利用料金及び附属設備利用料金 ・予定件数 11件 (学校行事4件、部活動7件)
ふるさと民俗芸能伝承事業	伝統芸能の保存伝承と後継者育成を図るため、伝承活動を支援する。	◇ふるさと民俗芸能伝承事業 小中学校における「相馬流れ山踊り」ほか伝承事業に対する講師派遣
文化芸術祭事業	市民が芸術文化にふれる機会の充実と芸術文化による新たなまちづくりの契機とするため、地域の文化芸術資源を活用した市民参加型の芸術祭を開催する。	◇文化芸術情報紙発行 「みなみそうまの文化芸術」 ・10月1日号 27,000部発行予定 ・3月1日号 27,000部発行予定 ◇子ども文化芸術交流事業 期日 8月7日(水)～9日(金) 会場 原町生涯学習センターほか 講師 女子美術大学(東京都杉並区) 教授 南島 隆 ほか学生 参加者 30人予定 ※うち市外協定自治体から10人予定
第13回南相馬市総合美術展覧会	美術・芸術への理解と関心を高めるとともに、創作活動を促し、美術・芸術の振興と情操の育成を図るため、小学生から大人までの作品を集め、展覧会を開催する。	◇第13回南相馬市総合美術展覧会の開催 ・会 期 令和元年11月16日(土) ～19日(火) ・会 場 小川町体育館 ・部 門 一 般：日本画・洋画・書・彫刻工芸・写真 小中学生：平面・立体作品・書・技術家庭 ◇展覧会表彰式 ◇子ども茶道教室参加児童生徒による茶会 期 日 令和元年11月17日(日) 会 場 原町生涯学習センター

(2) 平成30年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容									
芸術文化協会等事業補助金	市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図るため、芸術文化の普及を行う団体に対し、補助金を交付する。	◇文化芸術団体が実施する文化事業に対する補助 《鹿島区文化協会》 ・芸能発表大会 - 期日 平成30年6月24日(日) - 会場 鹿島生涯学習センター(さくらホール) - 出演 17団体 361人 ・鹿島区文化祭 - 期日 平成30年11月3日(土)～4日(日) - 会場 鹿島生涯学習センター(万葉ふれあいセンター) - 展示数 1,499点 《原町区芸術文化協会》 ・情報紙「芸文協だより」発行(第73号、第74号) ・機関紙「会報」発行(第51号) ・文化祭 - 期日 平成30年11月10日(土)～11日(日) - 会場 市民文化会館(ゆめはっと) - 出演 15団体 209人									
地域文化振興助成事業補助金	市民の文化活動の振興及び育成を図るため、成果発表等を行う団体等に対し、補助金を交付する。	◇文化団体の成果発表事業等へ補助 <table> <tr> <td>地区文化祭</td> <td>7件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果発表</td> <td>21件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大会出場</td> <td>2件</td> <td>計 30件</td> </tr> </table>	地区文化祭	7件		成果発表	21件		大会出場	2件	計 30件
地区文化祭	7件										
成果発表	21件										
大会出場	2件	計 30件									
学校等芸術文化活動支援事業補助金	市内学校の芸術文化活動を支援するため、学校行事等で市民文化会館を利用する際の利用料金の一部を補助する。	◇市民文化会館施設利用料金及び附属設備利用料金の一部を補助 <table> <tr> <td>学校行事</td> <td>3件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>部活動</td> <td>4件</td> <td>計 7件</td> </tr> </table>	学校行事	3件		部活動	4件	計 7件			
学校行事	3件										
部活動	4件	計 7件									
ふるさと民俗芸能伝承事業	伝統芸能の保存伝承と後継者育成を図るため、伝承活動を支援する。	◇ふるさと民俗芸能伝承事業 小中学校における「相馬流れ山踊り」ほか伝承事業に対する講師派遣 ・2校 延べ507人 ・鹿島小学校 「相馬流れ山踊り」「二編返し」 児童 延べ318人 ・小高中学校 「相馬流れ山踊り」 生徒 延べ189人									

文 化 芸 術 祭 事 業	市民が芸術文化にふれる機会の充実と芸術文化による新たなまちづくりの契機とするため、地域の文化芸術資源を活用した市民参加型の芸術祭を開催する。	◇文化芸術情報紙発行 「みなみそうまの文化芸術」 ・平成 30 年 10 月 1 日号 27,000 部発行 ・平成 31 年 3 月 1 日号 27,000 部発行 市内全戸、文化協会、市内小中学校、県立高等学校、公共施設等に配布 ◇子ども文化芸術交流事業 期日 平成 30 年 11 月 17 日（土） ～18 日（日） 会場 鹿島農村環境改善センター （万葉ふれあいセンター） 講師 女子美術大学 教授ヤマザキミノリほか学生 11 人 参加者 34 人 ※うち交流 4 自治体から 14 人参加 ◇染色講座 ・初級者向け 全 2 回 期日 8/18, 10/13 参加者 延べ 39 人 ・中～上級者向け 全 6 回 期日 7/11, 8/8, 9/12, 10/10, 11/14, 12/12 参加者 延べ 87 人 ・成果発表展覧会 期日 平成 31 年 2 月 23 日（土） ～2 月 24 日（日） 会場 野馬追通り銘醸館 入場者 190 人
第 1 2 回 南 相 馬 市 総 合 美 術 展 覧 会	美術・芸術への理解と関心を高めるとともに、創作活動を促し、美術・芸術の振興と情操の育成を図るため、小学生から大人までの作品を集め、展覧会を開催する。	◇展覧会 会 期 平成 30 年 11 月 10 日（土） ～13 日（火） 会 場 小川町体育館 出品展数 一般の部 193 点 小中学校の部 791 点 入場者数 2,422 人 ◇表彰式 期 日 平成 30 年 11 月 11 日（日） 会 場 原町生涯学習センター 表彰者 48 人 【一般の部】 市美展賞 5 人 優秀賞 10 人 奨励賞 17 人 特別賞 2 人 【小中学校の部】 市長賞 7 人 教育長賞 7 人

(3) 文化施設一覧

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
南相馬市民文化会館	原町区本町二丁目 28-1 TEL 2 5 - 2 7 6 3	R C 造 (地上4階、地下1階) 7,536.71 m ²	大ホール 客席 1階席 721席 2階席 388席 多目的ホール 椅子席 120人 (スクール形式 80人) 練習室 5室 楽屋 6室 スタジオ 1室 ギャラリー 1スペース 事務室 2室
鹿島生涯学習センター	鹿島区寺内字迎田 22-1 TEL 4 6 - 5 1 1 6	R C 造一部4F 建物 2,008.49 m ²	ホール 504席 研修室〔控室〕(15 m ²) 研修室〔リハーサル室〕(50 m ²) 和室(8帖) 鹿島図書館(120 m ²) I T室(18席) 相談室(23.12 m ²) 事務室(51.87 m ²)
小高生涯学習センター 「浮舟文化会館」	小高区本町二丁目 89-1 TEL 4 4 - 3 0 4 9	R C 造2F 建物 2,463.77 m ² (1F 1,954.33 m ²) (2F 509.44 m ²)	ホール 298席 第1研修室(91.59 m ²) 第2研修室(91.59 m ²) 第3研修室(15.91 m ²) 第1和室〔楽屋〕(10帖) 第2和室〔茶室〕(20帖) 創作室(64.229 m ²) 小高図書館(161 m ²) 埴谷・島尾記念文学資料館(98.54 m ²) 資料収蔵庫(119.584 m ²) 事務室(89.04 m ²)

(4) 芸術文化団体

(令和元年5月1日現在)

団体名 領域	小高区文化団体 連絡協議会(参考)		鹿島区文化協会		原町区芸術文化協会		計	
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
文芸	(4)	(62)	2	20	3	72	5	92
生活文化			5	93	4	241	9	334
美術	(4)	(59)	2	12	3	33	5	45
音楽	(6)	(61)	10	178	9	149	19	327
舞踊	(10)	(134)	4	29	8	64	12	93
趣味	(1)	(30)						
演劇								
研究	(1)	(40)	1	39	1	19	2	58
ダンス			6	154			6	154
体操	(2)	(31)	1	11			1	11
その他			1	14			1	14
計	(28)	(417)	32	550	28	578	60	1,128

※小高区文化団体連絡協議会の団体数・会員数については、平成22年5月1日の数字を記載。

Ⅶ 文 化 財

1 文化財保護関係

(1) 南相馬市の文化財

国指定文化財

No.	名 称	指定の種別	指定年月日	所 在 地	所 有 者 等
1	刺繍阿弥陀名号掛幅	重要文化財 (工芸品)	S35. 6. 9	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
2	旧武山家住宅	重要文化財 (建造物)	S46. 3. 11	原町区 北原	南相馬市
3	桜井古墳	史 跡	S31. 11. 7	原町区 上渋佐	南相馬市
4	羽山横穴	史 跡	S49. 12. 23	原町区 中太田	南相馬市
5	薬師堂石仏 附阿弥陀堂石仏	史 跡	S5. 7. 8	小高区 泉沢	慈徳寺ほか
6	観音堂石仏	史 跡	S5. 7. 8	小高区 泉沢	慈徳寺
7	真野古墳群	史 跡	S54. 10. 24	鹿島区 寺内、小池	個人ほか
8	浦尻貝塚	史 跡	H18. 1. 26	小高区 浦尻	南相馬市
9	泉官衙遺跡	史 跡	H22. 2. 22	原町区 泉	南相馬市ほか
10	横大道製鉄遺跡	史 跡	H23. 2. 7	小高区 飯崎	南相馬市ほか
11	相馬野馬追	重要無形 民俗文化財	S53. 5. 22	南相馬市ほか	管理団体 相馬野馬追保存会

国登録有形文化財

1	朝日座	建造物	H26. 4. 25	原町区 大町	一般社団法人 朝日座
2	大谷家住宅東蔵・中蔵・門	建造物	H28. 8. 1	鹿島区 栃窪	個人
3	高島家住宅コンクリート蔵、門及び塀	建造物	H29. 10. 26	小高区 上町一丁目	個人
4	天野家住宅主屋、米蔵、西蔵、外便所、正門、通用門・裏門および塀、	建造物	H30. 11. 2	小高区 耳谷	個人
5	太田家住宅屋、米蔵、味噌蔵、道具蔵、	建造物	H30. 11. 2	原町区 信田沢	個人
6	鈴木家住宅主屋	建造物	H30. 11. 2	小高区 仲町一丁目	個人

県指定文化財

1	木造十一面観音立像	重要文化財 (彫 刻)	S37. 3. 30	原町区 泉	泉行政区
2	地藏菩薩立像板木	重要文化財 (工 芸)	S31. 9. 4	鹿島区 小島田	個人
3	刺繍阿弥陀三尊来迎掛幅	重要文化財 (工 芸)	S54. 3. 23	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
4	法然上人像板木	重要文化財 (工 芸)	S55. 3. 28	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
5	大名婚礼調度品	重要文化財 (工 芸)	S62. 3. 27	小高区 小高	同慶寺
6	大悲山文書	重要文化財 (書 跡)	S30. 2. 4	小高区 小高	個人
7	泉廃寺跡出土瓦	重要文化財 (考古資料)	S31. 9. 4	原町区 博物館	南相馬市
8	杉阿弥陀堂 木造阿弥陀如来坐像	重要文化財 (彫 刻)	H30. 4. 6	鹿島区 江垂	江垂行政区
9	杉阿弥陀堂 木造毘沙門天立像	重要文化財 (彫 刻)	H30. 4. 6	鹿島区 江垂	江垂行政区
10	泉廃寺跡	史 跡	S30. 12. 27	原町区 泉	個人

11	小高城跡	史 跡	S33. 8. 1	小高区 小高	相馬小高神社ほか
12	横手廃寺跡	史 跡	S33. 8. 1	鹿島区 横手	個人
13	横手古墳群	史 跡	S53. 4. 7	鹿島区 横手	個人
14	大悲山の大スギ	天然記念物	S30. 2. 4	小高区 泉沢	慈徳寺
15	泉の一葉マツ	天然記念物	S30. 12. 27	原町区 泉	泉行政区
16	海老浜のマルバシヤリンバイ自生地	天然記念物	S31. 9. 4	鹿島区 南海老	南相馬市
17	初発神社のスダシイ樹林	天然記念物	S44. 4. 11	原町区 江井	初発神社
18	相馬野馬追額	重要有形 民俗文化財	S34. 3. 17	小高区 小高	相馬小高神社
19	蛭沢稲荷神社奉納絵馬地引大漁図 及び和船模型	重要有形 民俗文化財	H8. 3. 22	小高区 下蛭沢	蛭沢稲荷神社
20	旧修験日光院所蔵修験資料	重要有形 民俗文化財	H9. 3. 25	鹿島区 小山田	日光寺
21	紙本著色野馬追図	重要有形 民俗文化財	H12. 3. 31	原町区 博物館	個人
22	相馬野馬追図屏風	重要有形 民俗文化財	H28. 4. 26	原町区 博物館	南相馬市
23	日吉神社のお浜下りと手踊	重要無形 民俗文化財	S53. 4. 7	鹿島区 江垂	日吉神社
24	村上の田植踊	重要無形 民俗文化財	H27. 3. 31	小高区 村上	村上の田植踊保存会

市指定文化財

1	裏剣蓋付舟形刳抜石棺	有形文化財	S41. 3. 31	小高区 泉沢	南相馬市
2	平福徳庵筆馬額	有形文化財	S42. 8. 29	原町区 博物館	相馬太田神社
3	藤田家所蔵文書	有形文化財	S42. 8. 29	原町区 博物館	個人
4	薮内の十一面観音	有形文化財	S43. 2. 1	小高区 上浦	共有
5	龍と唐獅子	有形文化財	S45. 11. 12	原町区 本町	三嶋神社
6	野馬追図屏風	有形文化財	S45. 11. 12	原町区 本町	個人
7	阿弥陀寺の善光寺式仏像	有形文化財	S48. 12. 20	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
8	浮田の木造聖観音立像	有形文化財	S54. 5. 15	鹿島区 浮田	浮田行政区
9	深鉢「縄文前期関山式併行」	有形文化財	S57. 9. 20	県立博物館	南相馬市
10	上栃窪遺跡出土の縄文土器	有形文化財	S61. 9. 1	原町区 博物館	南相馬市
11	阿弥陀寺の銅鐘	有形文化財	S61. 9. 1	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
12	高台寺式唐草模様懸盤漆塗膳枕	有形文化財	S61. 9. 1	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
13	安養寺の十三仏	有形文化財	S62. 12. 15	鹿島区 小池	安養寺
14	一文字頭本縫丸胴具足	有形文化財	S62. 12. 15	原町区 博物館	個人
15	陣幕	有形文化財	S63. 12. 15	鹿島区 塩崎	塩崎行政区
16	北郷の四脚門一括	有形文化財	S63. 12. 15	鹿島区 北海老ほか	個人
17	中村迫の文殊菩薩座像	有形文化財	H2. 2. 14	小高区 上浦	金性寺
18	中村迫の虚空蔵菩薩座像	有形文化財	H2. 2. 14	小高区 上浦	金性寺
19	下岩崎の聖観音菩薩立像	有形文化財	H2. 2. 14	小高区 福岡	金性寺
20	曳覆曼荼羅版木	有形文化財	H6. 6. 9	鹿島区 北海老	宝蔵寺
21	牛王宝印版木	有形文化財	H6. 6. 9	鹿島区 北海老	宝蔵寺
22	弘法大師御影版木	有形文化財	H6. 6. 9	鹿島区 北海老	宝蔵寺
23	四日市文書	有形文化財	H7. 7. 13	鹿島区 南柚木	個人
24	中村城小書院板壁画	有形文化財	H7. 7. 13	原町区 博物館	個人
25	木造聖観音菩薩立像	有形文化財	H10. 8. 11	鹿島区 江垂	江垂行政区
26	木造薬師如来坐像	有形文化財	H10. 8. 11	鹿島区 大内	大内行政区
27	八幡大菩薩旗	有形文化財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
28	能装束	有形文化財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
29	伝相馬昌胤着用白羅紗地陣羽織	有形文化財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
30	麻地錆浅葱色大紋	有形文化財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
31	女房火事装束	有形文化財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
32	野馬狩の告文	有形文化財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
33	相馬家系図	有形文化財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人

34	小高城跡採集金鯢片	有形文化財	H11. 2. 17	小高区	小高	個人
35	火矢野原六字名号石碑	有形文化財	H11. 6. 25	鹿島区	小池	個人
36	大六天遺跡出土ヘラ書「少穀殿」土器	有形文化財	H11. 6. 25	原町区	博物館	南相馬市
37	銅製鰐口（正長元年鑄造）	有形文化財	H12. 2. 1	原町区	江井	個人
38	銅製鰐口（元禄九年鑄造）	有形文化財	H12. 2. 1	原町区	江井	個人
39	上渋佐 7 号墳出土銅鏡	有形文化財	H13. 9. 1	原町区	博物館	南相馬市
40	生駒家文書	有形文化財	H14. 3. 31	小高区	泉沢	個人
41	高平の板石塔婆	有形文化財	H14. 11. 5	原町区	上高平	白山神社ほか
42	荷渡大権現の板石塔婆	有形文化財	H14. 11. 5	原町区	北長野	泉龍寺
43	相馬太田神社の板石塔婆	有形文化財	H14. 11. 5	原町区	中太田	相馬太田神社
44	社号額「大明神」	有形文化財	H14. 11. 5	原町区	博物館	塩釜神社
45	火縄銃 銘中村住神尾久右衛門橋公宗	有形文化財	H17. 3. 31	原町区	押釜	個人
46	黒漆塗鳩胸五枚胴具足 附采配、具足櫃、櫃覆	有形文化財	H17. 3. 31	原町区	博物館	南相馬市
47	文禄四年「俵口橋左衛門宛相馬義胤書状」	有形文化財	H17. 10. 13	鹿島区	北右田	個人
48	牛河内の木造聖観音立像	有形文化財	S54. 5. 15	鹿島区	牛河内	牛河内行政区
49	陣太鼓	有形民俗文化財	S42. 8. 29	原町区	博物館	相馬太田神社
50	鳥毛槍	有形民俗文化財	S42. 8. 29	原町区	博物館	相馬太田神社
51	聖石	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	大甕	日祭神社
52	金箔押盛上本小札紺糸威二枚胴具足	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
53	紺糸威二枚胴具足の兜と大袖	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	栄町	個人
54	盛上本小札紺糸裾濃威胴丸	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
55	盛上本小札縹糸威二枚胴丸	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
56	切付盛上札色々威二枚胴具足	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
57	色々威胴丸	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
58	紺糸威丸胴および兜と袖	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
59	金箔押盛上本小札緋鹿角紺糸紋	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区	博物館	個人
60	測量具と量地三略版木	有形民俗文化財	H5. 9. 14	原町区	博物館	南右田神社
61	旧門馬家所蔵火伏せ資料、外火伏せ資料	有形民俗文化財	H10. 8. 11	原町区	博物館	南相馬市
62	小浜千石稻荷神社 地引網漁図絵馬	有形民俗文化財	H21. 4. 10	原町区	小浜	千石稻荷神社
63	相馬家墓地並びに相馬家霊堂	史 跡	S41. 3. 31	小高区	小高	同慶寺
64	浪岩横穴古墳A群 11 号	史 跡	S41. 3. 31	小高区	泉沢	南相馬市
65	村上城跡	史 跡	S41. 3. 31	小高区	村上	個人ほか
66	菖蒲沢の野馬土手・高木戸の野馬土手	史 跡	S45. 3. 1	小高区	羽倉	個人
67	小谷津の貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	泉沢	個人
68	片草の貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	片草	個人
69	角部内南台の東貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	角部内	個人
70	角部内南台の南貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	角部内	個人
71	浦尻の神ノ前貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	浦尻	個人
72	浦尻の北向貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	浦尻	個人
73	浦尻の北原貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	浦尻	個人
74	上浦の加賀後貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	上浦	個人
75	上浦の宮田北貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	上浦	個人
76	上浦の宮田東貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区	上浦	個人
77	羽山岳の木戸跡	史 跡	S47. 7. 1	原町区	上太田	個人
78	泉の館跡	史 跡	S48. 6. 1	原町区	泉	南相馬市ほか
79	岩屋堂の磨崖仏	史 跡	S48. 12. 20	鹿島区	塩崎	個人
80	北原古墳群	史 跡	S48. 12. 20	鹿島区	南海老	個人
81	日向横穴群 1 号墓	史 跡	S57. 9. 20	小高区	塚原	個人
82	岩屋堂石仏並びに横穴墓群	史 跡	H6. 1. 26	小高区	吉名	個人

83	桜井古墳群上渋佐 7 号墳	史 跡	H12. 2. 1	原町区 上渋佐	南相馬市
84	野馬土手	史 跡	H14. 11. 5	原町区 上渋佐	南相馬市ほか
85	行津の大杉	天然記念物	S43. 2. 1	小高区 行津	星神社
86	阿弥陀寺の大いちょう	天然記念物	S48. 12. 20	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
87	日吉神社の大杉	天然記念物	S48. 12. 20	鹿島区 江垂	日吉神社
88	鹿島御子神社の大けやき	天然記念物	S48. 12. 20	鹿島区 鹿島	鹿島御子神社
89	宝蔵寺の楓と大モミ	天然記念物	S48. 12. 20	鹿島区 北海老	宝蔵寺
90	山田沼のモリガオガエル生息地	天然記念物	S48. 12. 20	鹿島区 上栢窪	個人
91	同慶寺のいちょう	天然記念物	S50. 10. 1	小高区 小高	同慶寺
92	飯崎のしだれ桜	天然記念物	S57. 9. 20	小高区 飯崎	南相馬市
93	冠嶺神社の樹林一括	天然記念物	H2. 10. 12	鹿島区 上栢窪	冠嶺神社
94	八坂神社のアカガシ樹林	天然記念物	H5. 4. 1	原町区 石神	八坂神社
95	上浦のキャラ	天然記念物	H6. 1. 26	小高区 上浦	個人
96	下大神宮のヒイラギ	天然記念物	H7. 7. 13	鹿島区 南柚木	下大神宮
97	恐竜の足跡化石産出地	天然記念物	H9. 4. 17	鹿島区 小山田	個人
98	(新種) 裸子植物ソテツ目の絶滅種化石ニルソニオ・クレイダス・タイラエ／ニルソニオ・クレイダス・ジャポニカス	天然記念物	H9. 4. 17	原町区 博物館	南相馬市
99	大富のヒイラギ	天然記念物	H9. 7. 1	小高区 大富	個人
100	小林家のアカガシ	天然記念物	H13. 6. 4	鹿島区 小池	個人
101	金谷の獅子舞	無形民俗文化財	S50. 10. 1	小高区 金谷	金谷地区
102	小池の獅子踊り	無形民俗文化財	S62. 12. 15	鹿島区 小池	小池地区
103	中村藩日置流印西派弓組	無形民俗文化財	S63. 12. 15	鹿島区 塩崎	中村藩日置流印西派弓組保存会
104	北萱浜の天狗舞	無形民俗文化財	H7. 5. 1	原町区 北萱浜	北萱浜神楽愛好会
105	馬場の神楽七芸	無形民俗文化財	H7. 5. 1	原町区 馬場	馬場民俗芸能保存会

(2) 令和元年度事業計画

事業名	事業目的	事業内容
文化財保護審議会	文化財を指定し、保護・保存を図る。	・市指定文化財候補を調査し、価値を有する場合は、文化財指定を行う。 ・文化財保護審議会の開催 3 回
文化財保護事業	市内に残る文化財等の調査を進め、指定等の文化財の保護を図る。	・建造物調査 ・薬師如来坐像（大内）保存施設修繕補助
文化財活用事業	市内文化財の公開、活用を行い、地域に学び育つ人づくりに資する。	・文化財案内、出前講座等の実施 ・羽山横穴、旧武山家住宅の一般公開 年 4 回（4・5・9・10 月）
指定文化財保存管理事業	指定文化財を市民共有の財産として保存に努め、文化財保護・保存意識の高揚を図る。	・桜井古墳公園等の保存管理 ・桜井古墳公園支障木伐採 ・泉の一葉マツ枯枝伐採
民俗芸能保存伝承事業	市内に残る民俗芸能の保存、伝承、公開に努め、郷土愛の育成を図る。	・第 14 回南相馬市民俗芸能発表会の開催 ・福島県民俗文化財伝承復興事業（文化庁補助）、地域のきずな結ぶ民俗芸能伝承事業（県補助）による用具等の新調等 3 団体予定
市内遺跡発掘調査事業	市内に存する遺跡の確認調査を進め、開発との調整に必要な保存協議資料を得るための発掘調査を実施する。	・期間 4 月～3 月 ・試掘調査の調査原因 個人住宅、土砂採取等 ・保存目的発掘調査 真野古墳群 調査面積 150 m ²

復興事業推進発掘調査事業	復興計画に伴う開発関連の埋蔵文化財発掘調査の整理調査を実施する。	・整理調査（過年度実施分 東町遺跡ほか） ・報告書刊行（中才遺跡、上洪佐原田遺跡）
浦尻貝塚史跡整備事業	東日本を代表する縄文時代の浦尻貝塚を史跡公園として保存整備する。	・基本設計 ・市民検討会の開催 ・整備検討委員会の開催 年 2 回 ・発掘調査 550 m²
泉官衙遺跡史跡整備事業	行方郡家跡と確認された泉官衙遺跡を史跡公園として保存整備するため、指定地の公有化を図るとともに、保存活用計画を策定する。	・公有化予定面積 17,371.13 m² ・保存整備指導委員会の開催 年 2 回 ・整備基本計画策定 ・発掘調査
大悲山石仏保存修理事業	国指定史跡である大悲山石仏の恒久的保存のため、保存環境の改善を行う。	・保存整備指導委員会の開催 年 1 回 ・薬師堂石仏、阿弥陀堂石仏環境調査 ・阿弥陀堂石仏覆屋復旧工事
県立特別支援学校建設関連発掘調査事業	県立特別支援学校建設に伴い、発掘調査の整理調査を行う。	・整理調査（鷺内遺跡、調査面積約 6,500 m²） ・出土遺物の保存処理
相馬野馬追保存会	相馬野馬追の保存伝承を図る。	・甲冑着付・馬具着装・陣貝術講習会の実施 ・相馬流れ山踊の伝承公開 担当 北郷) ・相馬野馬追保存伝承基本方針策定 ・相馬野馬追保存会総会の開催 2 回 ・相馬野馬追保存専門委員会の開催 2 回

（３）平成３０年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
文化財保護審議会	文化財を指定し、保護・保存を図る。	・文化財保護審議会の開催 3 回 ・市指定文化財候補を調査し、審議を行った。
文化財保護事業	市内に残る文化財等の調査を進め、指定等の文化財の保護を図る。	・建造物調査 門馬家住宅 ・馬場の神楽七芸映像記録作成補助 ・岩屋堂の摩崖仏保存施設修繕補助
文化財活用事業	市内文化財の公開、活用を行い、地域に学び育つ人づくりに資する。	・文化遺産冊子の刊行 ・羽山横穴、旧武山家住宅の一般公開 年 4 回（4・5・9・10 月） 178 人参加 ・朝日座公開イベント 3 回 104 人参加 ・西迫横穴墓群発掘調査説明会 5 月 12 日 140 人参加 ・梨木西館下遺跡発掘調査説明会 7 月 14 日 60 人参加 ・泉官衙遺跡発掘調査説明会 12 月 16 日 73 人参加 ・鷺内遺跡出土遺物一般公開 12 月 16 日 485 人参加 ・泉官衙遺跡説明板 1 基設置
指定文化財保存管理事業	指定文化財を市民共有の財産として保存に努め、文化財保護・保存意識の高揚を図る。	・桜井古墳公園等の保存管理 ・国登録文化財への登録 天野家住宅、太田家住宅、鈴木家住宅
民俗芸能保存伝承事業	市内に残る民俗芸能の保存、伝承、公開に努め、郷土愛の育成を図る。	・第 13 回南相馬市民俗芸能発表会 500 人参加 ・福島県民俗文化財伝承復興事業（文化庁補

		助)による用具等の新調等 相馬流れ山踊り保存会(鹿島)、 小高郷相馬流れ山踊り保存会(小高)
市内遺跡発掘調査事業	市内に存する遺跡の確認調査を進め、開発との調整に必要な保存協議資料を得るための発掘調査を実施した。	・試掘調査 桜井D遺跡他 33 件 調査原因 個人住宅、土砂採取等 ・本発掘調査 梨木西館跡 5 次 1 件 ・保存目的調査 八幡林遺跡 1 件 ・調査報告書刊行 (H29 年度調査分)
復興事業推進発掘調査事業	復興計画に伴う開発関連の埋蔵文化財発掘調査の整理調査を実施する。	・整理調査 (過年度実施分 東町遺跡ほか) ・報告書刊行 (南海老南町遺跡)
罹災者住宅移転発掘調査事業	東日本大震災により全壊・流失した罹災者の住宅移転に伴う発掘調査報告書を刊行する	・報告書刊行 (過年度実施分)
浦尻貝塚史跡整備事業	東日本を代表する縄文時代の浦尻貝塚を史跡公園として保存整備する。	・基本計画(案)作成 ・地形測量業務 ・市民検討会の開催 年 4 回 委員 33 人 ・整備検討委員会の開催 年 3 回 委員 4 人
泉官衙遺跡史跡整備事業	行方郡家跡と確認された泉官衙遺跡を史跡公園として保存整備するため、指定地の公有化を図るとともに、保存活用計画を策定する。	・公有化予定面積 6971.87 m² 平成 31 年度に継続 ・保存整備指導委員会の開催 年 2 回 委員 9 人 ・市民検討会の開催 年 5 回 委員 38 人 ・整備基本計画検討 ・発掘調査
大悲山石仏保存修理事業	国指定史跡である大悲山石仏の恒久的保存のため、保存環境の改善ならびに保存活用計画の策定を行う。	・保存整備指導委員会の開催 年 2 回 委員 10 人 ・薬師堂石仏、阿弥陀堂石仏環境調査 ・阿弥陀堂石仏覆屋土設計業務 ・観音堂石仏斜面防護測量設計業務
下太田工業団地造成事業関連発掘調査事業	下太田地区の工業団地造成事業に伴い、記録保存のための発掘調査ならびに報告書の刊行を行う。	・発掘調査完了 (西迫横穴墓群、調査面積約 6,000 m²) ・整理調査 ・報告書刊行
県立特別支援学校建設関連発掘調査事業	県立特別支援学校建設に伴い、発掘調査を行う。	・発掘調査完了 (鷺内遺跡、調査面積約 6,500 m²) ・整理調査
相馬野馬追保存会	相馬野馬追の保存伝承を図る。	・甲冑着付・馬具着装・陣貝術講習会の実施 ・相馬流れ山踊りの伝承公開 担当 小高郷 7 月 29 日 参加者 87 人 ・相馬野馬追保存伝承基本方針(案)作成 ・相馬野馬追保存会総会の開催 2 回 ・相馬野馬追保存専門委員会の開催 2 回

2 博物館関係

・南相馬市博物館

(1) 施設概要

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
博物館	原町区牛来字出口 194 Tel 23-6421	R C 造	事務室 (84 m ²) 体験学習室 (108 m ²) 補修工作室 (84 m ²) 写真室 (42 m ²) 燻蒸室 (12 m ²) シアター (78 m ²) エントランスホール (82 m ²) 常設展示室 (593 m ²) 特別展示室 (176 m ²) 展示ホール (82 m ²) 収蔵庫 (225 m ²) 特別収蔵庫 (70 m ²)

(2) 令和元年度事業計画

① 展示事業

・企画展

展示会名	期 間	趣旨・目的等
双葉地方の昆虫	4 月 13 日 ～ 6 月 9 日	双葉町歴史民俗資料館と双葉地方在住のコレクターが収集してきた昆虫標本コレクションを公開する。あわせて、双葉町で行われている震災・原発事故後の昆虫調査についても紹介する。
武士の装い	6 月 29 日 ～ 8 月 18 日	相馬地方には、相馬野馬追に欠かせない武具として、多くの甲冑・馬具などが現存している。野馬追出馬者はもちろん、出馬しない武具愛好家も多く、質の高いものが少なくない。これは野馬追という伝統行事があればこそその地域性と言える。本展では、武具類鑑賞を楽しむためのコソ・ポイントを紹介する。
奥相三十三所観音札所巡り	9 月 14 日 ～ 11 月 10 日	奥相三十三所観音札所は、正徳年間 (1711～1715) に中村藩主相馬昌胤が、西国三十三所観音札所に倣い領内に設置して以来、相馬地方の人々の心の拠り所として信仰されてきた。 震災・原発事故後は帰還困難区域となった札所もあり、住民の避難が続いて仏堂の維持管理が十分にできない事態が続いている。本展では、奥相三十三所観音の信仰と現状の調査結果を紹介する。
国立科学博物館巡回展 日本の生物多様性とその保全	11 月 30 日 ～ 3 月 1 日 (予定)	日本の生物の多様性を支えているのは国内の一つ一つの地域の多様な自然と生物の存在である。しかしこうした豊かさは徐々に、あるいは急激に失われつつある。本展では日本の生物多様性とそれを守るための取り組みについて紹介する。

・ミニテーマコーナー展示

常設展示室の一部に小展示スペースを設け、学芸調査で一定のまとまった資料の展示を行う。

テーマ	展示期間	展 示 の 概 要
本物そっくり！？博物館のレプリカ	4月16日～未定	足跡化石・ミズアオイレプリカ等

・エントランスホール展示

季節の話題（野馬追・正月等）・ニュース性があるテーマ、また常設展・企画展の導入としてエントランスホールを活用し、展示や情報提供を行う。

テーマ	展示期間	展 示 の 概 要
南相馬味めぐり 春がやってきた編	3月8日～6月3日	郷土料理レプリカ 小女子の天ぷら等
端午の節供	4月2日～5月24日	節供具足、朱漆塗童鞍、童陣羽織
大化から平成、そして令和へ	5月1日～6月9日	大化～平成の略年表パネル
企画展「武士の装い」予告展示	5月25日～6月28日	総髪桃形兜、椎形兜
南相馬味めぐり 夏編	6月4日～	郷土料理レプリカ ホッキ料理

② 調査研究事業

テーマ	事業内容
【共同テーマ】 1) 東日本大震災にかかる資料・情報収集	将来の東日本大震災の展示等（常設展示および令和2年度3月特別展予定）を念頭に、震災に係る資料・情報を収集する。
1) 東日本大震災と野馬追	原発事故により、一時中断していた旧警戒区域の野馬追行事を中心に、記録の収集に努める。昨年行事が復活した浪江町、小高区に注視する。
2) 『野馬追備列絵巻』の精査	平成29年度当館で購入し、野馬追期の展示会にて紹介した『野馬追備列絵巻』について、より詳しい内容の調査を行う。成果は、将来、報告書等の出版物にて発表する。
3) 東日本大震災後の生物（小高の自然）調査	東日本大震災後の津波被災地、原発20キロ圏内の動植物について、環境省、国内の研究者、大学と連携し、情報交換を行いながら生物相（変化）の継続した調査を行う。津波被災地では、被災後に県内において初確認された数種の動植物についての今後の動向や保全策について、地元や関係機関との調整を行っていく。また、原発事故後の生物の状況については、関係機関にサンプル提供を継続し、データの蓄積を行う。これらの結果や今後の課題については、当館の企画展示のみならず、学会や研究者のシンポジウム等にて発表し、各地の研究者と情報を共有すると共に、議論しながら今後の復興工事や保全計画等に活かせるものとする。
4) 津波跡地の植物相調査と標本の収集	津波の跡地に生じた湿地や水路には新たな生態系が広がっている。中には絶滅危惧種であるツツイトモ（震災前には福島県で未報告）、リュウノヒゲモ（福島県絶滅危惧ⅠA類）などが確認されている。これらの生物の存在の証拠となる植物標本を収集・作製を継続して進める。
5) 南相馬市内の木の実の放射能濃度調査	学校や家庭において教育目的で扱われることの多い植物種（ドングリなど）の放射能濃度および空間線量を市内各地で調査する。データの蓄積が進めば放射能濃度検査を行わなくとも、空間線量の計測だけで木の实などを利用する際の目安として利用することができ、子どもが外遊びなどをする際の助けとなることが期待される。 この調査は「市民科学」の方法を念頭に、市民と学芸員が協働して進

	める。それによって、身近な生物や科学的な調査への市民の関心を喚起することも狙いである。
6) 文化財レスキュー活動	震災以降、小高区を中心に被災家屋の主屋・蔵・納屋等の解体が急ピッチで進められている。それに伴い、多くの文献資料や民俗資料（民具）が大量に廃棄されているため、被災文化財のレスキュー活動と資料整理を行う。
7) 奥相三十三所観音札所に関する調査	奥相三十三所観音札所は震災・原発事故後は帰還困難区域となった所もあり、住民の避難が続いて仏堂の維持管理が十分にできない事態が続いている。そのため、奥相三十三所観音の信仰と現状を調査し、史跡巡り等で文化遺産としての広報・普及を図る。
8) 「南相馬の川漁師」映像記録制作	市内にはサケ・アユ以外のウナギ等の川魚やイタチ・スズメ等の小動物を捕る川漁師がいる。しかし、現在では伝統的な漁法を伝え、生業とする漁師はほとんどいない。この伝統技術を映像記録（令和2年度予定）として保存し、博物館で上映公開するほか、図書館・学校及び希望者に配布し伝統的漁法の教育普及を図る。
9) 相双地方のオリンピック調査	令和2年の東京オリンピック・パラリンピックの開催にあわせ、同年に、相双地方出身のオリンピック出場選手とその活躍をテーマにした企画展を開催し、相双地方のスポーツ文化を紹介するための調査を行う。
10) 相双地方の焼き物調査	近世に開窯した大堀相馬焼は、中村藩の外貨獲得に貢献したほか、東北地方から関東地方まで広く流通し、特に東北地方の各窯に影響を与えたと言われている。同窯の製品や作品の調査を行い、その優れた作品、技術等を紹介する展示につなげるための調査を行う。

③ 教育普及事業

・博物館講座

開催日	内 容	担当・講師	定員(人)
5月11日	座談会「双葉地方の昆虫を語ろう」	吉野高光氏ほか	40
5月12日	蓄音機コンサート	担当学芸員	80
6月15日	相馬氏の甲冑	二上裕嗣氏	30
7月20日	武具の見かた入門	担当学芸員	30
8月24日	蒸気機関車C50の見かた	猪又義光氏	30
9月28日	奥相三十三所観音札所巡り	植田辰年氏	17
10月20日	ドングリ講座	担当学芸員	30
1月13日	映像で見る福島県の民俗	担当学芸員	80

・体験学習

開催日	内 容	担当・講師	定員(人)
4月19日	香りのてごねせっけんを作ろう	小林香代子氏	20
4月21日	化石のレプリカを作ろう	八巻安夫氏、荒好氏	20
7月6日	わら工芸 わら馬	担当学芸員	20
8月3日	まち歩きと建物ペーパークラフト作り	担当学芸員	20
8月4日	押し葉標本作り	担当学芸員	20
8月11日	樹脂封入標本作ろう	担当学芸員	15
8月18日	コハクを取ってみよう	平宗雄氏、八巻安夫氏	25
9月8日	勾玉を作ろう	担当学芸員	25

10月12日	縄文土器を作ろう（1）	森幸彦氏	20
10月27日	絵馬を作ろう	担当学芸員	20
11月17日	化石採集	八巻安夫氏、荒好氏	20
11月24日	縄文土器を作ろう（2）	森幸彦氏	20
12月 8日	和綴じ本作り	担当学芸員	10
12月22日	正月飾り作り	高田求幸氏	18
2月2日	化石のレプリカを作ろう	八巻安夫氏、荒好氏	20
2月23日	勾玉を作ろう	担当学芸員	25
3月15日	消しゴムスタンプ作り	矢内歩惟氏	20

④ 各機関との連携

1) 学校との連携	ア 小学校・中学校・高等学校との連携・協力	・小学校3年生社会科の単元「古い道具と昔の暮らし」への館蔵資料による展示と解説 ・博物館を活用した「総合的な学習の時間」への協力 ・出前講座や資料の貸出しによる学校教育活動への協力
	イ 指導者対象の講座・行事	・地域指導の資料としての情報提供（→講座・体験的行事）
2) 各生涯学習関係機関との連携	ア 生涯学習課・生涯学習センターとの連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	イ 生涯学習各種団体との連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
3) 地域創生の核となる博物館実行委員会事業（事務局：本館）	ア 構成団体	・南相馬市博物館（会長）・こどもひかりプロジェクト（副会長）・九州国立博物館・兵庫県立人と自然の博物館・兵庫県立考古博物館・仙台市縄文の森広場・ふくしま海洋科学館
	イ 連携事業	・子ども・親子対象体験プログラムの実施 ・ミュージアムユース（高校生・大学生）の育成
4) 博物館・その他の機関との連携		・福島県博物館連絡協議会（事務局：県博）への参加 ・「ライフミュージアムネットワーク実行委員会（事務局：県博）」への参加 ・館蔵資料の貸出等

(2) 平成30年度事業実施状況

① 利用状況

・観覧者数

(単位：人)

入館者数				開館日数
一般	高校生	小・中学生	合計	
6,306	96	1,138	7,540	301

・その他利用者

(単位：人)

講座・体験学習 21件	381
出前講座 55件(学校関係11件、一般44件)	2,127(391、1,736)
職場体験受入れ 2校	5
博物館実習受入れ 1校	1
レファレンス 166件	166
地域創生の核となる博物館実行委員会事業 6回23件	2,533
他団体との連携 3件	555
合計	5,768

② 展示事業

・特別展

展示会名	期間	趣旨・目的等
「南相馬の樹」 観覧者数 992人	4月28日 ～ 6月17日	平成30年6月10日に本市で開催された「第69回全国植樹祭ふくしま2018」を記念して開催。当市における「樹」について歴史・文化・自然などの視点から紹介することで、本市の自然・歴史・文化財への関心・理解を深めた。
「伊達成実 南相馬に来たる一北の大地に共存する相馬と伊達」 観覧者数 2,053人	6月30日 ～ 8月19日	生誕450年の節目を迎える亙理伊達氏の初代伊達成実という武将と、北海道伊達市で息づく相馬の文化を紹介し、相馬と伊達の新たな交流のきっかけを探った。
「描かれた相馬野馬追2018」 観覧者数 1,445人	9月8日 ～ 11月4日	相双地方出身またはゆかりのある美術作家たちが表現する野馬追の世界を紹介。
「相双の化石大集合」 観覧者数 1,308人	平成31年 1月12日 ～ 3月24日	本市は、古生代・中生代・新生代すべての地質年代の化石が採れる大変恵まれた地域である。当館に収蔵されている化石標本を中心に、数億年にわたる地球の歴史の一端を紹介。

・ミニテーマコーナー

テーマ	展示期間	展示の概要
変り兜	4月15日 ～ 6月29日	通常の「筋兜」「星兜」とは異なる、異形の兜「変り兜」の造形美を紹介。
伯楽 一馬の鑑定・馬医の名人ー	7月4日 ～ 12月28日	馬の鑑定・馬医の名人である「伯楽」と、馬の安全を願う祈りである「馬頭観音信仰」資料から、「野馬追」だけでない相馬地方の人と馬のつながりを紹介。
イノシシあれこれ事始め	1月4日 ～ 4月14日	平成31年の干支・亥にちなむ、博物館収蔵のイノシシ関連資料を展示。

・エントランスホール展示

テーマ	展示期間
メダカ（生体展示）	4月1日～3月31日
藪内の十一面観音	4月27日～6月29日
郷土料理	5月17日～10月30日
変り兜	6月30日～10月12日
野馬追の絵巻物	7月26日～8月10日
まちかど写真館in原町（共催：ふっこうステーション実行委員会）	8月11日～9月30日
海神の芸術祭（共催：海神の芸術祭実行委員会）	10月10日～27日
パンタネリウムの時代	10月13日～
ひつつきむし	10月31日～12月18日
鷺内遺跡・中才遺跡の出土品	12月16日～18日（以降、常設展示室）
年取り・正月料理イロイロ	12月19日～平成31年1月29日
全国植樹祭メモリアル展示	12月21日～
正月の風揚げ	12月28日～平成31年2月8日
昔の道具	1月18日～2月19日
郷土料理－冬の味、集めました－	1月30日～3月7日
雛祭り	2月22日～3月31日
郷土料理－南相馬味めぐり 春がやってきた編－	3月8日～

③ 収蔵資料の状況

（平成31年3月31日現在）

区 分	収集・寄贈等	購入	寄託	合計
人文科学資料				
古美術資料	6 7 4	4 1	2	7 1 7
近代美術資料	1 4	0	1	1 5
考古資料	5, 2 2 2	6	2, 4 7 7	7, 7 0 5
民俗資料	6, 4 4 1	1 6	2 6 2	6, 7 1 9
歴史資料	5, 2 9 7	1 6 8	5, 3 0 3	1 0, 7 6 8
その他	5 4 8	0	0	5 4 8
図書	1 0, 9 1 5	2 0 0	0	1 1, 1 1 5
写真	1, 3 3 0	0	0	1, 3 3 0
小計	3 0, 4 4 1	4 3 1	8, 0 4 5	3 8, 9 1 7
自然科学資料				
動物資料	1, 2 4 9	4 0	4 0	1, 3 2 9
植物資料	9 2	5	0	9 7
地学資料	9	0	2	1 1
その他	6 4	0	0	6 4
図書	3 4 9	2 5	0	3 7 4
写真	1 1 6	0	0	1 1 6
小計	1, 8 7 9	7 0	4 2	1, 9 9 1
合計	3 2, 3 2 0	5 0 1	8, 0 8 7	4 0, 9 0 8

④ 教育普及事業

・博物館講座

開催日	内 容	担当・講師	参加者数
5月13日	蓄音機コンサート	八日市屋典之氏	35
6月16日	相馬の兵法―甲州流軍学を中心に	二上裕嗣氏	19
6月23日	樹木の文化財めぐり in 南相馬	岩崎真幸氏	21
7月21日	北の大地で息づく相馬と伊達の不思議な関係	担当学芸員	28
10月20日	観音札所巡り	植田辰年氏	18
10月28日	やさしいドングリ講座	担当学芸員	6
1月12日	映像で見る福島民俗	担当学芸員	24
7回	合 計		151

・体験学習

開催日	内 容	担当・講師	参加者数
4月22日	化石のレプリカを作ろう	八巻安夫氏、荒好氏	26
6月10日	香りのせっけんを作ろう	小林香代子氏	19
7月7日	わら馬づくり	東京農工大学科学博物館友の会	8
8月12日	自由研究お助け隊 植物標本をつくろう	担当学芸員	13
8月19日	コハクを取ってみよう	平宗雄氏、八巻安夫氏	25
9月9日	勾玉を作ろう	担当学芸員	23
9月17日	絵馬を描いてみよう	朝倉悠三氏	18
10月13日	小高のキノコを観察しよう	阿部武氏、橋本和昭氏	7
11月25日	消しゴムスタンプを作ろう	矢内歩惟氏	22
12月2日	小高の野鳥を観察しよう	五十嵐悟氏、佐藤勝彦氏、 佐藤慎一氏	10
12月24日	正月飾り作り	高田求幸氏	15
2月17日	押し花とタネのペンダントづくり	担当学芸員	7
2月24日	勾玉を作ろう	担当学芸員	15
3月10日	化石の標本を作ろう	平宗雄氏、八巻安夫氏	22
14回	合 計		230

⑤ 各機関との連携

1) 学校との連携	ア 小中高等学校との連携・協力	・小学校3年生社会科の単元「古い道具と昔の暮らし」への館蔵資料による展示と解説 ・博物館を活用した「総合的な学習の時間」への協力 ・出前講座や資料の貸出しによる学校教育活動への協力
	イ 指導者対象の講座・行事	・地域指導の資料としての情報提供（→講座・体験的行事）
2) 各生涯学習関係機関との連携	ア 生涯学習課・生涯学習センターとの連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	イ 生涯学習各種団体との連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）

3) 地域創生の核となる博物館実行委員会事業（事務局：本館）	ア 構成団体	・南相馬市博物館（会長）・こどもひかりプロジェクト（副会長）・九州国立博物館・兵庫県立人と自然の博物館・兵庫県立考古博物館・仙台市縄文の森広場・ふくしま海洋科学館
	イ連携事業	・子ども・親子対象体験プログラムの実施 ・ミュージアムユース（高校生・大学生）の育成
4) 博物館・その他の機関との連携		・福島県博物館連絡協議会（事務局：県博）への参加 ・「ライフミュージアムネットワーク実行委員会（事務局：県博）」への参加 ・東京農工大学科学博物館ボランティアグループとの事業連携 ・館蔵資料の貸出等

3 市史編さん関係

（1）令和元年度事業計画

事業名	事業目的	事業内容
震災記録	東日本大震災及び原子力災害の関係資料を収集し、発災状況から応急対応、復旧・復興の取り組みなどについて、市の記録として編さんする。	・東日本大震災及び原子力災害の関係資料調査、収集 ・震災記録編さん協力員会議の開催
市史編さん事業	生まれ育った人の郷土の誇りや愛着心を育み、将来の豊かな地域文化を創造させるとともに、原町の郷土の豊かさを広く周知するため、旧原町市の歴史、文化、自然、民俗等の資料を収集し調査研究のうえ、整理集約し、公開する。	・市史編さん事業の広報促進活動 市民に対する市史編さん事業の広報普及活動 刊行した第1巻『通史編Ⅰ』（自然・原始・古代・中世・近世）、第2巻『通史編Ⅱ』（近代・現代）、原町市史第3巻資料編Ⅰ『考古』、第4巻資料編Ⅱ『古代・中世』、第5巻資料編Ⅲ『近世』、第6巻資料編Ⅳ『近代』、第7巻資料編Ⅴ『現代』、第8巻特別編Ⅰ『自然』、第9巻特別編Ⅱ『民俗』、第10巻特別編Ⅲ『野馬追』、第11巻特別編Ⅳ『旧町村史』の販売促進広報活動 原町市史取扱書店組合（相双地区内の5書店）への協力依頼による販売広報活動

（2）平成30年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
市史編さん事業	生まれ育った人の郷土の誇りや愛着心を育み、将来の豊かな地域文化を創造させるとともに、原町の郷土の豊かさを広く周知するため、旧原町市の	・『通史編Ⅱ』（近代・現代）の編集・刊行（平成30年度刊行終了） ・資料調査、収集および整理保存 原町市史資料編および特別編『古代・中世』『野馬追』『自然』『民俗』『近世』『旧町村史』『考古』『近代』『現代』、通史編『自然・原始・古代・中世・近世』『近代・現代』の資料調査、収集ならびに整理保存

	歴史、文化、自然、民俗等の資料を収集し調査研究のうえ、整理集約し、公開する。	・原町市史編さん事業の広報促進活動 - 市民に対する市史編さん事業の広報普及活動 - 刊行した第1巻『通史編Ⅰ』（自然・原始・古代・中世・近世）、第2巻『通史編Ⅱ』（近代・現代）、原町市史第3巻資料編Ⅰ『考古』、第4巻資料編Ⅱ『古代・中世』、第5巻資料編Ⅲ『近世』、第6巻資料編Ⅳ『近代』、第7巻資料編Ⅴ『現代』、第8巻特別編Ⅰ『自然』、第9巻特別編Ⅱ『民俗』、第10巻特別編Ⅲ『野馬追』、第11巻特別編Ⅳ『旧町村史』の販売促進広報活動 - 原町市史取扱書店組合（相双地区内の5書店）への協力依頼による販売広報活動 ・市史編さん関係部会の開催 - 原町市史編さん専門委員会
震災記録	東日本大震災及び原子力災害の関係資料を収集し、発災状況から応急対応、復旧・復興の取り組みなどについて、市の記録として編さんする。	・東日本大震災及び原子力災害の関係資料調査、収集 ・震災記録編さん協力員会議の開催

Ⅷ スポーツ

1 スポーツ関係

(1) 令和元年度事業計画

事業名	事業目的	補助団体	事業内容	開催期間
社会体育団体等補助事業	スポーツ団体へ援助を行い、その活動や指導者の支援及び選手の競技力向上等を図る。	南相馬市体育協会	競技力向上対策事業 内 容：各競技の技術力の向上（10 競技） 参加者：南相馬市体育協会加盟団体登録者・市民全般他 2,000 人 場 所：南相馬市内他	4 月～2 月
			第 13 回南相馬市総合体育大会を中心とした各種事業 内 容：市民を対象とした各種競技大会（26 競技） 参加者：市民全般 約 2,000 人 場 所：南相馬市内他	8 月～12 月
		南相馬市レクリエーション協会	第 20 回南相馬市スポーツレクリエーション祭を中心とした各種事業 内 容：市民を対象とした各種競技大会 参加者：市民全般 約 1,000 人 場 所：南相馬市内他	5 月～2 月
			生涯スポーツ推進事業（スポーツ教室） 内 容：各種ニュースポーツ 12 教室の開催 参加者：市民全般 約 1,000 人 場 所：南相馬市内他	7 月～2 月
		南相馬市陸上競技協会	第 31 回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 内 容：市町村対抗駅伝大会 参加者：一般市民ランナー 計 22 人（選手 16 人・補欠 6 人） 場 所：白河～福島 94.8 km 16 区間	11 月 17 日
		南相馬市スポーツ少年団本部	少年少女のつどい 内 容：スキー交流 参加者：スポーツ少年団員 場 所：北塩原村 裏磐梯スキー場	2 月中旬
		野馬追の里健康マラソン大会実行委員会	南相馬市スポーツ復興祈念 第 32 回野馬追の里健康マラソン大会・ 第 14 回ウォーキング大会 種 目：1.5 km、2 km、3 km、5 km、10 km、ハーフ、親子ペア、ウォーキング 参加者：小学生～一般男女 約 3,000 人 場 所：雲雀ヶ原陸上競技場	12 月 1 日

			南相馬市スポーツ復興祈念 第8回みらい夢こども交流事業 内 容：トップアスリートによるワークショ ップ、子ども交流会、法螺貝体験 参加者：小中学生 150 人（南相馬市及び招待 自治体の子どもたち） 場 所：ウエディングパーク原町フローラ	11 月 30 日
	相馬氏の祖 「平将門」 終焉の地で ゆかりのあ る茨城県坂 東市との歴 史的な縁と して、大会 に参加する ことでスポ ーツ交流人 口の拡大を 図る。		第 29 回いわい将門ハーフマラソン大会 種 目：3 km、5 km、10 km、ハーフ 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、 スタッフ 約 60 人 会 場：茨城県坂東市	11 月 10 日
共催事業	スポーツの 振興を図る ため、各種 団体と共催 して大会等 を開催する。	福 島 県	第 72 回福島県総合体育大会 競技名：軟式野球 場 所：みちのく鹿島球場	6 月 15 日～ 6 月 16 日 6 月 22 日
			第 72 回福島県総合体育大会 競技名：馬術 場 所：南相馬市馬事公苑	6 月 22 日～ 6 月 23 日
			第 72 回福島県総合体育大会 競技名：相撲 場 所：相馬農業高等学校	7 月 6 日
交流・滞在型 スポーツ事 業	野馬追の里 浮舟杯卓球 大会及びト ップアスリ ート教室を 開催し、本 市の子ども たちの卓球 の競技力向 上と指導者 の指導力向 上を図る。	野馬追の里浮舟 杯卓球大会実行 委員会	野馬追の里 第 45 回浮舟杯卓球大会 第 6 回トップアスリート教室 種 目：卓 球 場 所：南相馬市スポーツセンター	2 月 8 日～ 2 月 10 日
まちづくり 活性化スポ ーツ交流支 援事業	滞在型スポ ーツ大会等 を誘致し、 スポーツ交 流人口の拡 大と地域経 済の活性化 を図る。	第 46 回東北総合 体育大会卓球競 技南相馬市実行 委員会	第 46 回東北総合体育大会 種 目：卓球 場 所：南相馬市スポーツセンター	8 月 23 日～ 8 月 25 日
		第 46 回東北総合 体育大会馬術競 技南相馬市実行 委員会	第 46 回東北総合体育大会 種 目：馬 術 場 所：南相馬市馬事公苑	8 月 24 日～ 8 月 25 日

		東北学生卓球連盟	令和元年度東北学生卓球連盟秋季リーグ戦 第 86 回全日本大学総合卓球選手権大会予選大会 種 目：卓 球 場 所：南相馬市スポーツセンター	8 月 28 日～ 8 月 30 日
		南相馬市パークゴルフ協会	第 24 回パークゴルフ東北交流大会 種 目：パークゴルフ 場 所：南相馬市パークゴルフ場	9 月 28 日～ 9 月 29 日
健康スポーツ推進事業	市民の誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室を開催し市民のスポーツ人口の拡充や健康増進を図る。	南相馬市スポーツ推進委員会	健康スポーツ教室 内 容：市民の誰もが気軽に参加できるスポーツ教室の開催 場 所：南相馬市スポーツセンター	4 月～3 月
スポーツ大会等出場激励金交付事業	全国大会並びに国際大会その他東北大会以上の規模で行われる各種スポーツ大会に出場する選手及び団体に対し、激励金を交付する。	個 人 ・ 団 体	全国スポーツ大会等出場選手への激励金交付 2, 223, 000 円	4 月～3 月
スポーツ少年団選手派遣事業	スポーツ少年団に加盟する団員の県大会以上の大会に出場するスポーツ少年団に対して、補助金を交付する。	団 体	スポーツ少年団県大会等派遣事業 19 件 1, 670, 000 円	4 月～3 月
南相馬市・杉並区スポーツ交流事業	杉並区とのスポーツ交流事業の実施により、市民がスポーツに親しむ機会の拡	南相馬市少年野球連盟	杉並区との少年野球交流大会派遣事業 派遣者：南相馬市少年野球連盟員・選手等 会 場：杉並区	8 月 13 日～ 8 月 15 日
		南相馬市少年野球連盟	杉並区・取手市・南相馬市交流自治体少年野球大会 参加者：南相馬市少年野球連盟員・選手等 会 場：南相馬市	8 月 31 日～ 9 月 1 日

充やスポーツ団体等の活性化、震災後のスポーツ活動の復興に繋げていくため、事業実施団体に対し補助金を交付する。	南相馬市野球協会	杉並区交流自治体中学生親善野球交流大会派遣事業 派遣者：南相馬市スポーツ少年団指導者・市内中学生選手等 会 場：台湾	12月26日～ 12月29日
	南相馬市バレーボール協会	杉並区交流自治体スポーツ交流大会派遣事業（家庭婦人バレーボール） 派遣者：南相馬市バレーボール協会会員・選手等 会 場：杉並区	11月16日～ 11月17日
	南相馬市陸上競技協会	杉並区中学校対抗駅伝大会派遣事業 派遣者：南相馬市陸上競技協会会員・市内中学生選手 会 場：杉並区	12月7日～ 12月8日
	原町ミニバスケットボールスポーツ少年団	ミニバスケット交流大会派遣事業 派遣者：原町ミニバスケットボールスポーツ少年団員・監督・コーチ 会 場：南相馬市	8月10日～ 8月11日
	南相馬市サッカー協会	サッカー交流大会派遣事業 派遣者：南相馬市内サッカースポーツ少年団員・監督・コーチ 会 場：杉並区	2月

（２）平成３０年度事業実施状況

事業名	事業目的	補助団体	事業内容	開催期間
社会体育団体等補助事業	スポーツ団体へ援助を行い、その活動や指導者の支援及び選手の競技力向上等を図る。	南相馬市体育協会	競技力向上対策事業 内 容：各競技の技術力の向上（10 競技） 参加者：南相馬市体育協会加盟団体登録者・市民全般他 2,029 人 場 所：南相馬市内他	4月～2月
			第12回南相馬市総合体育大会を中心とした各種事業 内 容：市民を対象とした各種競技大会（26 競技） 参加者：市民全般 2,317 人 場 所：南相馬市内他	8月～12月
		南相馬市レクリエーション協会	第19回南相馬市スポーツレクリエーション祭を中心とした各種事業 内 容：市民を対象とした各種競技大会 参加者：市民全般 12 種目 762 人 場 所：南相馬市内他	5月～3月
			生涯スポーツ推進事業（スポーツ教室） 内 容：各種ニュースポーツ 11 教室の開催 参加者：市民全般 826 人 場 所：南相馬市内他	8月～12月

		南相馬市陸上競技協会	第 30 回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 内 容：市町村対抗駅伝大会 参加者：一般市民ランナー 計 22 人 (選手 16 人・補欠 6 人) 場 所：白河～福島 95.0 16 区間 結果：総合 19 位／52 市町村及び合同 1 チーム 市の部 10 位／13 市	11 月 18 日
		南相馬市スポーツ少年団本部	少年少女のつどい 内 容：スキー交流 参加者：スポーツ少年団員他 31 人 場 所：北塩原村 裏磐梯スキー場	2 月 16 日～ 2 月 17 日
		野馬追の里健康マラソン大会実行委員会	南相馬市スポーツ復興祈念 第 31 回野馬追の里健康マラソン大会・ 第 13 回ウォーキング大会 種 目：1.5km、2 km、3 km、5 km、10 km、 ハーフ、親子ペア、ウォーキング 参加者：小学生～一般男女 3,376 人 場 所：雲雀ヶ原陸上競技場	12 月 2 日
			南相馬市スポーツ復興祈念 第 7 回みらい夢こども交流事業 内容：トップアスリートによるワークショップ、 法螺貝体験、手作り名刺交換 参加者：小中学生 142 人（南相馬市及び招待自治体の子どもたち） 場 所：ブライダル&ホテル ラフィーヌ	12 月 1 日
			第 28 回いわい将門ハーフマラソン大会 種 目：3km、5km、10km、ハーフ 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、 スタッフ 計 34 人 会 場：茨城県坂東市	11 月 11 日
共催事業	相馬氏の祖「平将門」終焉の地でゆかりのある茨城県坂東市との歴史的な縁として、大会に参加することでスポーツ交流人口の拡大を図る。	福 島 県	第 71 回福島県総合体育大会馬術競技大会 種 目：馬 術 場 所：南相馬市馬事公苑	6 月 23 日～ 6 月 24 日

交流・滞在型スポーツ事業	野馬追の里浮舟杯卓球大会及びトップアスリート教室を開催し、本市の子どもたちの卓球の競技力向上と指導者の指導力向上を図る。	野馬追の里浮舟杯卓球大会実行委員会	野馬追の里 第44回浮舟杯卓球大会 第5回トップアスリート教室 種 目：卓 球 場 所：南相馬市スポーツセンター 参加者：県内外の小学生以上 178人	2月9日～ 2月11日
まちづくり 活性化スポーツ交流支援事業	滞在型スポーツ大会等を誘致し、スポーツ交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	東北学生卓球連盟	平成30年度東北学生卓球連盟秋季リーグ 第85回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）予選大会 種 目：卓 球 場 所：南相馬市スポーツセンター 参加者：東北学生卓球連盟加盟の大学生 261人	8月20日～ 8月22日
		北日本学生馬術連盟	第54回北日本学生馬術大会 種 目：馬 術 場 所：南相馬市馬事公苑 参加者：岩手大学ほか7大学 117人	8月30日～ 9月3日
スポーツ大会等出場激励金交付事業	全国大会並びに国際大会に出場する選手及び団体に対し、激励金を交付する。	個 人 ・ 団 体	全国スポーツ大会等への派遣事業 64件 2,020,000円	4月～3月
スポーツ少年団選手派遣事業	スポーツ少年団に加盟する団員の県大会以上の大会に出場するスポーツ少年団に対して、補助金を交付する。	団 体	スポーツ少年団県大会等派遣事業 10件 1,253,318円	4月～3月

南相馬市・杉並区スポーツ交流事業	杉並区とのスポーツ交流事業の実施により、市民がスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ団体等の活性化、震災後のスポーツ活動の復興に繋げていくため、事業実施団体に対し補助金を交付する。	南相馬市少年野球連盟	杉並区との少年野球交流大会派遣事業 派遣者：南相馬市少年野球連盟員・選手等 48人 会 場：杉並区	8月14日～ 8月15日
		南相馬市少年野球連盟	杉並区・取手市・南相馬市交流自治体少年野球大会 参加者：南相馬市少年野球連盟員・選手等 250人 会 場：南相馬市	9月1日～ 9月2日
		南相馬市野球協会	杉並区交流自治体中学生親善野球大会派遣事業 派遣者：スポーツ少年団指導者・市内中学生 選手等 24人 会 場：杉並区	10月6日～ 10月8日
		南相馬市バレーボール協会	杉並区交流自治体スポーツ交流大会派遣事業 (家庭婦人バレーボール) 派遣者：南相馬市バレーボール協会員・選手等 10人 会 場：東吾妻町	11月17日～ 11月18日
		南相馬市陸上競技協会	杉並区中学生駅伝大会派遣事業 派遣者：南相馬市陸上競技協会員・市内中学生選手等 18人 会 場：杉並区	12月8日～ 12月9日

(3) 平成30年度スポーツ施設利用状況

・小高区

社会体育施設等の利用状況 ※震災の影響により一部施設のみ利用再開 (単位：件、人)

施設名	利用件数	利用者数
小高体育センター	5,498	12,292
中部運動場	124	3,247
西部運動場	83	1,982
東部運動場	—	—
片草運動場	—	—
合計	5,705	17,521

学校体育施設開放事業の利用状況

※震災の影響により学校開放を休止していたが、平成29年6月より小高小、小高中の学校開放再開
(単位：件、人)

学校名	体育館		校庭		合計	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
小高小学校	33	220	18	605	51	825
金房小学校	—	—	—	—	—	—
福浦小学校	—	—	—	—	—	—
鳩原小学校	—	—	—	—	—	—
小高中学校	24	210	0	0	24	210
合計	57	430	18	605	75	1,035

・鹿島区

社会体育施設等の利用状況 ※震災の影響により一部施設のみ利用再開 (単位：件、人)

施設名	利用件数	利用者数
千倉体育館	742	8,884
前川原体育館	746	5,353
千倉グラウンド	—	—
前川原グラウンド	—	—
千倉テニスコート	—	—
鹿島B&G海洋センター	—	—

施 設 名	利用件数	利用者数
鹿 島 体 育 館	1,048	28,976
み ち の く 鹿 島 球 場	100	8,410
南相馬市パークゴルフ場	-	65,204
合 計	2,636	116,827

学校体育施設開放事業の利用状況

(単位：件、人)

学 校 名	体 育 館		校 庭		合 計	
	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数
鹿 島 小 学 校	124	1,542	2	30	126	1,572
八 沢 小 学 校	281	4,652	0	0	281	4,652
上 真 野 小 学 校	174	6,014	0	0	174	6,014
鹿 島 中 学 校	230	2,235	0	0	230	2,235
合 計	809	14,443	2	30	811	14,473

・原町区

社会体育施設等の利用状況

※震災の影響により一部施設の利用休止（単位：件、人）

施 設 名	利用件数	利用者数
南相馬市スポーツセンター	11,024	40,718
雲雀ヶ原陸上競技場	15,612	25,126
夜の森公園テニスコート	1,430	2,095
南相馬市テニスコート	17,687	35,912
南相馬市弓道場	2,438	5,838
南相馬市野球場	173	6,725
南相馬市民プール	5,687	5,720
小川町体育館	3,199	21,027
南相馬市サッカー場	—	—
北新田第一運動場	114	6,264
北新田第二運動場	62	1,443
北新田野球場	122	3,171
南相馬市相撲場	5	487
栄町柔剣道場	8,541	16,700
屋内市民プール	48,458	48,535
合 計	114,552	219,761

学校体育施設開放事業の利用状況

(単位：件、人)

学 校 名	体 育 館		校 庭		合 計	
	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数
原 町 第 一 小 学 校	313	6,922	213	5,433	526	12,355
原 町 第 二 小 学 校	249	4,123	48	563	297	4,686
原 町 第 三 小 学 校	200	4,615	94	1,367	294	5,982
高 平 小 学 校	320	4,060	0	0	320	4,060
大 甕 小 学 校	216	5,044	0	0	216	5,044
太 田 小 学 校	165	1,585	1	100	166	1,685
石 神 第 一 小 学 校	119	1,868	3	45	122	1,913
石 神 第 二 小 学 校	254	6,620	43	1,115	297	7,735
原 町 第 一 中 学 校	0	0	0	0	0	0
原 町 第 二 中 学 校	334	5,104	0	0	334	5,104
原 町 第 三 中 学 校	154	1,764	0	0	154	1,764
石 神 中 学 校	337	4,921	0	0	337	4,921
合 計	2,661	46,626	402	8,623	3,063	55,249

馬事公苑の利用状況

(単位：人、頭)

区 分	入苑者延人数	馬匹延頭数
各 種 馬 術 大 会	3,763	1,368
馬 術 競 技 合 宿	1,965	1,462
個 人 乗 馬 練 習	353	463
デ ィ ス ク ゴ ル フ	1,338	0
一 般 利 用	4,705	2,385
合 計	12,124	5,678

2 スポーツ施設一覧

小高区

施設名	所在地	競技種目	施設内容	使用料
小高体育センター	小高区関場一丁目 77 Tel (44) 6092	屋内競技	床面積 1,417.00 m ² バレーボール 2 面 バドミントン 4 面 バスケット 2 面 卓球 6 面 テニス 1 面	体育目的の場合 全面利用（単 1 時間） 市民 1,140 円 市民以外 1,710 円 半面利用（単 1 時間） 市民 570 円 市民以外 850 円 個人利用（単 1 区分） 大人 100 円 高校生 50 円 小中学生 20 円 〔時間区分〕 A. 9 時～12 時 B. 12 時～15 時 C. 15 時～17 時 D. 17 時～19 時 E. 19 時～21 時 体育目的以外、営利目的等に利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。
小高東部運動場	小高区蛭沢字藤沼 50-1	屋外競技	敷地面積 10,844.00 m ² ソフトボール 1 面 野球場 1 面 (夜間照明有) トイレ	利用料 無料 夜間照明料 1 時間 2,100 円 市民以外が利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。
小高中部運動場	小高区関場二丁目 29	屋外競技 多目的広場 1 面	敷地面積 4,251 m ²	許可を得た者 無料 市民以外が利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。
小高西部運動場	小高区飯崎字北原 51-1	屋外競技 ソフトボール 2 面 野球場 1 面 ゲートボール	敷地面積 14,445 m ² トイレ	許可を得た者 無料 市民以外が利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。

小高片草運動場	小高区片草字南原 46-1	屋外競技 多目的広場 1 面 テニスコート 3 面 (ナイター設備有)	敷地面積 13,285.38 m ² トイレ	多目的広場 許可を得た者は無料 テニスコート 大人 2 時間 200 円 高校生 2 時間 100 円 小中学生 2 時間 50 円 夜間照明 1 時間 200 円 〔時間区分〕 A. 9 時～11 時 B. 11 時～13 時 C. 13 時～15 時 D. 15 時～17 時 E. 17 時～19 時 F. 19 時～21 時 市民以外が利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。
---------	---------------	--	---	--

鹿島区

施設名	所在地	競技種目	施設内容	使用料
千倉体育館	鹿島区鹿島字北千倉 20	室内競技	バレーボール 2 面 バスケットボール 1 面 バドミントン 3 面 卓球 5 台 アリーナ 32m×23m	体育目的の場合 全面利用（単 1 時間） 市内 1,140 円 市外 1,710 円 半面利用（単 1 時間） 570 円 市外 850 円
前川原体育館	鹿島区角川原字前川原 69-1	室内競技	バレーボール 2 面 バスケットボール 1 面 バドミントン 3 面 アリーナ 644m ²	個人利用（単 1 区分） 大人 100 円 高校生 50 円 小中学生 20 円 〔時間区分〕 A. 9 時～12 時 B. 12 時～15 時 C. 15 時～17 時 D. 17 時～19 時 E. 19 時～21 時
鹿島体育館	鹿島区横手字川原 186-1	室内競技	アリーナ面積 1,050 m ² バドミントン 6 面 バレーボール 2 面 バスケットボール 1 面 2 階多目的室	体育目的以外、営利目的等に利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。
千倉グラウンド	鹿島区鹿島字北千倉 24-1	屋外競技	競技場面積 17,895 m ² ソフトボール 2 面 野球 他 夜間照明有	体育目的の場合（単 1 時間） 市内 無料 市外 630 円 千倉グラウンド夜間照明料 30 分 1,050 円
前川原グラウンド	鹿島区角川原字前川原 69-1	屋外競技	競技場面積 14,496 m ² ソフトボール 1 面 野球 他	体育目的以外、営利目的等に利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。

千倉テニスコート	鹿島区鹿島字北千倉 24-1	テニス	ハードコート 2面 (ナイター設備2面)	非営利目的の場合 全面貸切(単1時間) 市内 1,050円 市外 1,570円 個人利用(1回券) 大人 2時間 200円 高校生 2時間 100円 小中学生 2時間 50円 夜間照明料(単1時間) 1面 200円 営利目的等に利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。
みちのく鹿島球場	鹿島区南右田字榎内 146-1	野球 その他	競技場面積 13,980㎡ 両翼100m 中堅122m 収容人員3,000人 本部室、審判室 救護室、放送室 スコアボード	体育目的の場合(単1時間) 市内 700円 市外 1,050円 体育目的以外、営利目的等に利用する場合、また、入場料を徴する場合等は別料金が設定されています。
パークゴルフ場	鹿島区川子字大迫地内	パークゴルフ	コース面積 52,580㎡ 6コース54ホール 管理棟、東屋、トイレ 棟、駐車場261台	個人利用(1回券) 大人 1回 500円 高校生以下 1回 250円 個人利用(回数券) 大人 12回 5,000円 高校生以下 12回 2,500円 付属備品利用料金 クラブ 1回 500円 ボール 1回 50円

原町区

施設名	所在地	競技種目	施設内容	使用料
夜の森公園 テニスコート	原町区三島町一丁目 88	ソフト テニス	競技場面積7,051㎡ クレートコート6面 管理棟・物品庫	個人利用(1回券) 大人 100円 高校生 50円 小中学生 20円 個人利用(回数券) 大人(12回) 1,000円 高校生(12回) 500円 小中学生(12回) 200円 個人利用(年間利用券) 大人 3,000円 高校生 1,500円 小中学生 600円 貸切一面1回 非営利目的の場合(1時間) 市内 260円 市外 390円 営利目的の場合(1時間) 910円

雲 雀 ケ 原 陸 上 競 技 場	原町区中太田字天 狗田 96	陸上競技	競技場面積 21,996 m ² 400mトラック (第3種公認)	個人利用 (1回券) 大 人 1回 100 円 高 校 生 1回 50 円 小中学生 1回 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12回) 1,000 円 高 校 生 (12回) 500 円 小中学生 (12回) 200 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,000 円 高 校 生 1,500 円 小中学生 600 円 全面貸切の場合は、別料金が設定 されています。
南 相 馬 市 野 球 場	原町区桜井町二丁 目 166	野 球 そ の 他	競技場面積 17,367 m ² 両翼 100m 中堅 119m 収容人員 5,000 人 本部席・審判席 内野席(両翼)864 席 夜間照明 6 基	貸切利用 (1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合市内 520 円 市外 780 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,040 円 市外 1,300 円 営利目的の場合 1,820 円 夜間照明料 (単 1 時間) 全灯 6,940 円 半灯 3,470 円
南 相 馬 市 民 プ ー ル	原町区桜井町二丁 目 166 TEL (22) 4871	水 泳	総面積 5,018 m ² 50mプール (50m×19m) 9 コース 幼児プール (26m×22m) 管理棟・機械棟	全面貸切利用 非営利目的の場合 市内 2,100 円 市外 3,150 円 営利目的の場合 7,350 円 一部貸切利用 非営利目的の場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 3,670 円 個人利用 (1回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 30 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12回) 1,000 円 高 校 生 (12回) 500 円 小中学生 (12回) 300 円

南 相 馬 市 サ ッ カ ー 場	原町区高見町一丁目 5	サッカー	競技場面 10,050 m ² コート 1 面 (芝) (70m×105m)	全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合市内 1,050 円 市外 1,570 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 2,100 円 市外 2,620 円 営利目的の場合 3,670 円
南 相 馬 市 テニスコート	原町区高見町一丁目 5	テニス	競技場面積 10,130.8 m ² 砂入り人工芝 14 面 (ナイター設備 14 面) 管理棟 139.12 m ² 物品庫	1 面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 3,670 円 個人利用 (1 回券) 大 人 200 円 高 校 生 100 円 小中学生 50 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 2,000 円 高 校 生 (12 回) 1,000 円 小中学生 (12 回) 500 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 6,000 円 高校生 3,000 円 小中学生 1,500 円 夜間照明料 (単 1 時間) 1 面 200 円
南相馬市スポーツセンター	原町区桜井町二丁目 200 TEL (22) 8951~2 FAX (22) 8953	室内競技	総面積 6,135 m ² 1 階 4,061 m ² 2 階 1,862 m ² バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 10 面 テニス 2 面 卓 球 26 台 体操・トレーニング 収容人員 1 階 3,000 名 2 階 (固定席) 1,716 名	競技場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 1,890 円 市外 2,830 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 3,780 円 市外 4,720 円 営利目的の場合 6,610 円 競技場半面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 940 円 市外 1,410 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,880 円 市外 2,350 円 営利目的の場合 3,290 円 ステージ (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 630 円 市外 940 円

				体育競技以外を目的とする場合 市内 1,260 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 2,200 円 多目的室 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 230 円 市外 340 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 460 円 市外 570 円 営利目的の場合 800 円 会議室 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 170 円 市外 250 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 340 円 市外 420 円 営利目的の場合 590 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円
南 相 馬 市 弓 道 場	原町区三島町一丁目 67-1 Tel (24) 3294	弓 道	競技場面積 880 m ² 6 人立射場 会議室・練習場 更衣室	全面貸切利用 非営利目的の場合 市内 520 円 市外 780 円 営利目的の場合 1,820 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,000 円 高 校 生 1,500 円 小中学生 600 円

北 新 田 第 一 運 動 場	原町区北新田字諏訪 231-1 TEL (22) 0969	少年野球 ソ フ ト ボ ー ル	競技場面積 11,387 m ² 少年野球 2 面 ソフトボール 2 面 (157m×78m) 管理棟・物品庫 便所	全面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 630 円 市外 940 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,260 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 2,200 円 半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 310 円 市外 460 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 620 円 市外 770 円 営利目的の場合 1,080 円
北 新 田 第 二 運 動 場	原町区北新田字諏訪 231-3 TEL (22) 0969	屋外競技	競技場面積 7,758 m ² ゲートボール アーチェリー フェンス H=4.5m L=395m 矢 止 H=2.0m L=20m 物品庫 便 所	全面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 420 円 市外 630 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 840 円 市外 1,050 円 営利目的の場合 1,470 円 半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 210 円 市外 310 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 420 円 市外 520 円 営利目的の場合 730 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,000 円 高 校 生 1,500 円 小中学生 600 円

北新田野球場	原町区北新田字諏訪 231-3 TEL (22) 0969	野 球 ソ フ ト ボ ー ル	競技場面積 7,780 m ² 両 翼 85m センター 90m 外野フェンス H=3.00m バックネット H=10.00m 倉 庫 2 足洗場 1	全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 520 円 市外 780 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,040 円 市外 1,300 円 営利目的の場合 1,820 円
南 相 馬 市 馬 事 公 苑	原町区片倉字畦原 4-1 TEL (24) 4511 FAX (24) 4518	馬 術 ディスク ゴ ル フ	競技場面積 28ha 障害馬術馬場 馬場馬術馬場 履馬場 走 路 直線坂路 みどりの広場 管理棟	個人使用 単位 2 時間 学生以下 100 円 一 般 200 円 (回数券 12 回) 学生以下 1,000 円 一 般 2,000 円 貸切使用料 全面 1 日 50,970 円 半日 25,480 円 1 施設ごと 1 日 16,310 円 半日 8,150 円
栄町柔剣道場	原町区栄町二丁目 42 TEL (24) 2810	柔 道 剣 道 囲 碁 会 議	総面積 781 m ² 1 階 320 m ² 2 階 461 m ² 柔道場 (96 畳) 剣道場 (19m×20m) 講話室 2 更衣室 2	講和室全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 3,670 円 講和室半面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 520 円 市外 780 円 営利目的の場合 1,820 円 柔剣道場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 3,670 円 柔剣道場半面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 520 円 市外 780 円 営利目的の場合 1,820 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,000 円

				高 校 生 1,500 円 小中学生 600 円
南相馬市相撲場	原町区桜井町二丁目 333	相 撲	土俵 1 面 更衣室、トイレ	全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 710 円 市外 1,060 円 営利目的の場合 2,480 円 個人利用 (1 回券) 大 人 110 円 高 校 生 60 円 小中学生 30 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,100 円 高 校 生 (12 回) 600 円 小中学生 (12 回) 300 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,300 円 高 校 生 1,800 円 小中学生 900 円
小川町体育館	原町区小川町 322-1 Tel (23) 1077	室内競技	総面積 1,269 m ² バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 6 面 卓 球 10 台 フロアー (35m×30m) 2 階多目的ホール	競技場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 1,140 円 市外 1,710 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 2,280 円 市外 2,850 円 営利目的の場合 3,990 円 競技場半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 570 円 市外 850 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,140 円 市外 1,420 円 営利目的の場合 1,990 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 多目的ホール 1 区画貸切利用 (1

				時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 210 円 市外 310 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 420 円 市外 520 円 営利目的の場合 730 円
南 相 馬 屋 内 市 民 プ ー ル	原町区小川町 553-1 TEL (26) 5586	屋内プール	面積 325 m ² 25mプール (25m×10m) 6 コース	全面貸切利用 非営利目的の場合 市内 6,300 円 市外 9,450 円 営利目的の場合 22,050 円 一部貸切利用 非営利目的の場合 市内 3,150 円 市外 4,710 円 営利目的の場合 11,010 円 個人利用 (1 回券) 大 人 500 円 高 校 生 200 円 小中学生 100 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 5,000 円 高 校 生 (12 回) 2,000 円 小中学生 (12 回) 1,000 円 個人利用 (年間券) 大 人 (年間) 15,000 円 高 校 生 (年間) 6,000 円 小中学生 (年間) 3,000 円

3 学校体育施設開放

小高区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目	開放する日時
小高区内 小中学校	校庭 多目的ホール 屋内運動場	サッカー バレーボール 卓球 剣道など	(火) 午後 5:00～午後 7:00 (水、金) 午後 7:00～午後 9:00 (土) 第 1・第 3 土曜日 午前 9:00～正午 第 2・第 4 土曜日 午前 9:00～午後 5:00

鹿島区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目	開放する日時
鹿島区内 小中学校	校庭	サッカー 等	(月～金) 開放しない (土・日・祝日及び長期休業日) 午前 8:30～午後 5:00
	屋内運動場	バレーボール バドミントン 剣道 他	(月～金) 午後 5:00～午後 9:00 (土・日・祝日及び長期休業日) 午前 8:30～午後 9:00

原町区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目	開放する日時
原町区内 小中学校	校庭	ソフトボ ール サッカー など	5月1日～ 10月31日 まで (月～金) 午後 5:00～午後 9:00 (土・日・祝日・長期休業日) 午前 8:30～午後 9:00
			上記以外の 日 (土・日・祝日・長期休業日) 午前 8:30～午後 5:00
	多目的ホール 屋内運動場	バレーボール 卓球など	(月～金)午後 5:00～午後 9:00 (土・日・祝日・長期休業日) 午前 8:30～午後 9:00

使用料（各区共通）

施設等	使用料	摘要
多目的ホール	1時間につき 520 円	普通券及び回数券の1回の使用時間は、1時間とする。
屋内運動場	1時間につき 520 円	
	普通券 1回 520 円	
	回数券 12回 5,200 円	
校庭	夜間照明を使用する場合 1時間につき 200 円	
	夜間照明を使用しない場合 無料	

Ⅸ 各種委員会等名簿

南相馬市生涯学習推進委員

職 名	氏 名	所 属 等	選 出 区 分
委員長	大 場 盛 子	学識経験者	原町区
副委員長	豊 田 一 弘	学識経験者	鹿島区
委 員	和 田 節 子	南相馬市小中学校長会 (原町第二中学校)	関係機関
委 員	赤 石 澤 啓 雅	南相馬市体育協会	関係機関
委 員	目 黒 道 崇	原町青年会議所	関係機関
委 員	杉 重 典	学識経験者	小高区
委 員	飯 塚 宏	学識経験者	小高区
委 員	西 山 喜 代 子	学識経験者	小高区
委 員	茂 木 美 紀	学識経験者	小高区
委 員	今 野 秀 幸	学識経験者	鹿島区
委 員	今 野 愛	学識経験者	鹿島区
委 員	渡 部 喜 典	学識経験者	鹿島区
委 員	渡 部 紀 佐 夫	学識経験者	原町区
委 員	西 千 イ 子	学識経験者	原町区
委 員	若 月 陽 思 子	学識経験者	原町区

任期 平成30年4月1日から令和2年3月31日まで

南相馬市文化財保護審議会委員

役 職 名	氏 名	所 属 等	専門分野
会 長	二 上 裕 嗣	学識経験者	歴 史
副 会 長	石 井 幹 雄	学識経験者	歴 史
委 員	伊 賀 和 子	学識経験者	自 然
委 員	猪 狩 正 志	学識経験者	歴 史
委 員	岩 崎 真 幸	学識経験者	民 俗
委 員	岡 田 清 一	学識経験者	歴 史
委 員	玉 川 一 郎	学識経験者	考 古
委 員	藤 原 一 良	学識経験者	歴 史
委 員	八 巻 安 夫	学識経験者	自 然
委 員	山 本 富 士 夫	学識経験者	歴 史

任期 平成30年4月1日から令和2年3月31日まで

南相馬市スポーツ推進審議会委員

No.	氏 名	所 属	役 職
1	佐 久 間 光 弘	南相馬市体育協会	会長
2	片 山 義 雄	南相馬市体育協会	副会長
3	江 本 節 子	南相馬市レクリエーション協会	会長
4	門 馬 浩 二	南相馬市スポーツ少年団本部	本部長
5	成 田 祐 介	相双高等学校体育連盟	事務局
6	林 典 行	南相馬市小中学校長会	大甕小学校校長
7	國 分 伸 志	相双教育事務所	社会教育主事
8	西 祥 一	指定管理者協議会	太田大甕スポーツ クラブ会長
9	岡 田 祐 司	原町青年会議所	副理事長
10	小 林 友 樹	南相馬市PTA連絡協議会	副会長 (上真野小学校PTA会長)
11	中 村 博 之	南相馬みらい創造塾卒塾生	

任期 委嘱の日から2年

南相馬市スポーツ推進委員

No.	氏 名	性別	住 所	役職名・ グループ名	No.	氏 名	性別	住 所	役職名・ グループ名
1	小 屋 進	男	南相馬市 鹿島区	会 長	21	三本松 裕子	女	南相馬市 小高区	
2	米 津 とき子	女	南相馬市 原町区	副会長	22	岡 崎 真奈美	女	南相馬市 小高区	
3	松 本 淳	男	南相馬市 小高区	副会長 (兼事務局長)	23	大 浦 完 一	男	南相馬市 原町区	
4	岡 本 慶 子	女	南相馬市 鹿島区	会 計	24	佐 藤 文 彦	男	南相馬市 原町区	
5	大 口 光 雄	男	南相馬市 鹿島区	監 事	25	高 玉 雅 利	男	南相馬市 原町区	
6	佐 藤 実	男	南相馬市 原町区	監 事	26	佐 藤 信 成	男	南相馬市 小高区	
7	杉 重 博	男	南相馬市 小高区	おだかグループ長	27	米 田 寛	男	南相馬市 小高区	
8	和 泉 ひで子	女	南相馬市 鹿島区	かしまグループ長	28	草 野 禎 夫	男	南相馬市 原町区	
9	境 原 祥 友	男	南相馬市 原町区	はらまちグループ長					
10	荒 義 裕	男	南相馬市 鹿島区						
11	立 谷 ち ず 子	女	南相馬市 鹿島区						
12	松 野 たつ子	女	南相馬市 鹿島区						
13	小野田 収一	男	南相馬市 原町区						
14	鈴 木 時 子	女	南相馬市 原町区						
15	松 本 森 雄	男	南相馬市 小高区						
16	小 倉 陽 一	男	南相馬市 鹿島区						
17	佐々木 剛	男	南相馬市 鹿島区						
18	阿 部 秀 子	女	南相馬市 原町区						
19	秩 父 重 弘	男	南相馬市 鹿島区						
20	佐 藤 徳	男	南相馬市 原町区						

任期 平成30年4月1日から令和2年3月31日まで

南相馬市立図書館協議会

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	鎌 田 孝 子	社 会 教 育 関 係
副 会 長	松 永 雄 一	学 識 経 験 者
委 員	木 村 恵 子	学 校 教 育 機 関 （ 石 神 第 二 小 学 校 ）
委 員	伊 藤 浩 樹	学 校 教 育 機 関 （ 原 町 第 二 中 学 校 ）
委 員	大 谷 留 美 子	学 識 経 験 者
委 員	（ 欠 員 ）	
委 員	金 谷 清 子	学 識 経 験 者
委 員	今 野 聡	学 識 経 験 者
委 員	湯 澤 由 紀 子	社 会 教 育 関 係
委 員	森 岡 こ う	社 会 教 育 関 係

任期 平成30年4月1日から令和2年3月31日まで

南相馬市立博物館協議会

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	渡 部 紀 佐 夫	生 涯 学 習 推 進 委 員
副 会 長	岩 崎 真 幸	学 識 経 験 者 （ 民 俗 ）
委 員	黒 木 貞 子	女 性 団 体 関 係
委 員	高 田 昌 幸	小 学 校 長 会 （ 太 田 小 学 校 ）
委 員	高 橋 知 宏	中 学 校 長 会 （ 鹿 島 中 学 校 ）
委 員	山 崎 雅 弘	高 等 学 校 長 会 （ 原 町 高 等 学 校 ）
委 員	米 澤 政 美	南 相 馬 観 光 協 会
委 員	藤 原 妃 敏	学 識 経 験 者 （ 考 古 ）
委 員	岡 田 清 一	学 識 経 験 者 （ 歴 史 ）
委 員	竹 谷 陽 二 郎	学 識 経 験 者 （ 自 然 ）

任期 平成30年4月1日から令和2年3月31日まで

小学校長会、高等学校長会、南相馬観光協会の委員は、平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

X 教育史年表

小高町

年	沿 革
昭和 29	町村合併促進法により、旧小高町、福浦村、金房村の一町二カ村が合併して小高町となる 町村合併により福浦村立福浦小学校を小高町立福浦小学校、金房村立金房小学校を小高町立金房小学校と改称 金房小学校から独立し、小高町立鳩原小学校となる 小高中学校特別教室（理科室・技術実習室）完成
31	小高小学校プール完成
34	小高小学校校舎の老朽化により改築、第一校舎完成
37	塚原分教場廃止 金房小学校学校給食開始 給食室完成 小高中学校屋内運動場落成式
39	小高小学校 12 月 8 日、火災により校舎全焼 改築の第 1、第 3 校舎は類焼をまぬがれ、2・4 校舎を完成
40	小高中学校プール関連施設完成
43	金房小学校プール完成 鳩原小学校町立幼稚園併設
44	小高小学校町立幼稚園併設 鳩原小学校プール完成
45	福浦小学校体育館完成、校門舗装並びに校庭柵新設、吊輪設置
47	小高、金房、福浦三中学校を統合
48	小高中学校新校舎第 1 期工事開始
49	小高中学校新校舎第 2 期工事開始
50	小高中学校新校舎第 3 期工事開始
51	小高中学校体育館完成
52	小高小学校米食給食開始 小高中学校プール完成
53	金房小学校新校舎第 1 期建築工事着工（旧金房中学校校舎へ移転）同完成（995 m ² ）
54	金房小学校新校舎第 2 期建築工事着工（1,171 m ² ） 新校舎完成 金房小学校教育振興会結成
55	福浦小学校旧校舎解体開始 校舎新築起工式
56	福浦小学校新校舎落成式、同祝賀会
57	福浦幼稚園舎、校地内に新築 鳩原小学校校舎改築工事、新校舎への移転
58	鳩原小学校屋内運動場建築工事完成
61	金房小学校給食室新築（100 m ² ） プール配管修理
平成 2	金房小学校プール改修工事完成
3	小高小学校校舎改築第 1 期工事着工
4	小高小学校校舎改築第 1 期工事完成 校舎改築第 2 期工事着工、同完成
5	小高小学校体育館プール工事着工、同完成 小高小学校新築落成式
13	福浦小学校プール改修工事完成

鹿島町

年	月	沿 革
昭和 29	3	町村合併促進法により、旧鹿島町、真野村、八沢村、上真野村の一町三カ村が合併し鹿島町となる 町村合併により、鹿島町立真野小学校、鹿島町立上真野小学校と改称
32	3	北右田分校廃止
34	12	上真野小学校学校給食開始
35	12	真野小学校学校給食開始
37	1	鹿島小学校学校給食開始
39	10	町村合併により鹿島町立八沢小学校と改称
40	3	上真野小学校新校舎第 1 期工事 4 教室完成
41	3	真野小学校屋内運動場新設
	〃	上真野小学校新校舎第 2 期工事 4 教室完成
42	3	上真野小学校新校舎第 3 期工事 4 教室完成
	7	鹿島小学校プール完成
43	2	鹿島小学校屋内運動場完成
	〃	真野小学校北校舎とりこわし
	4	給食センター開設、給食センターによる給食開始
	6	真野小学校特別教室新設（4 教室）
44	3	栃窪分校廃校
	4	烏崎分校を真野小学校に統合 特殊学級設置
45	2	八沢小学校、校舎鉄筋改築 プール完成 南柚木分校を本校へ統合、スクールバスを運行
	3	小池分校廃校
	7	真野小学校プール完成
46	1	上真野小学校プール新築
	12	八沢小学校屋内体育館完成
47	4	鹿島小学校に鹿島幼稚園を併設
48	3	上真野小学校に上真野幼稚園併設
49	9	真野小学校新校舎建築着工
50	3	真野小学校新校舎完成
51	4	鹿島幼稚園を新設し移転
52	9	八沢小学校給食へ米飯給食取り入れ
53	4	真野小学校に真野幼稚園併設
54	9	鹿島小学校新校舎落成式典
56	3	上真野幼稚園新園舎完成移転
	4	真野幼稚園独立園舎完成
58	4	鹿島中学校・上真野中学校を統合し、鹿島町立鹿島中学校となる
59	3	鹿島幼稚園新園舎完成移転
60	3	鹿島中学校屋外部室完成
61	1	鹿島中学校柔剣道場完成・道場開き
平成 4	3	真野小学校体育館新設
	4	上真野小学校校舎大規模改造工事完成
	9	鹿島中学校校庭を整地
5	10	鹿島中学校プール専用水道配管工事完成
	11	体育館道路フェンス完成
6	2	上真野小学校校舎大規模改造内装工事完成

鹿島町

年	月	沿 革
6	3	鹿島中学校南校舎内壁塗装工事完成
7	3	八沢小学校プール西側及び北側フェンス改修工事完成
	7	上真野小学校プール修理工事完成
8	3	鹿島中学校北校舎内壁塗装工事完成
10	3	八沢小学校プール改築工事完成
11	3	鹿島小学校プール完成
12	6	真野小学校プール改修工事完成
15	3	鹿島小学校屋内運動場工事完成
17	5	八沢小学校新校舎完成

原町市

年	月	日	沿 革
昭和 29	3	20	原町、太田村、大甕村、高平村の一町三カ村が合併して原町市となる
	4	1	原町第二小学校を設置（原町第一小学校に併設、9月22日から橋本町1丁目）
	5	6	原町市教育委員会傍聴人規則を制定（教規2）
	6	20	太田中学校体育館完成
		28	原町市公立施設等の使用に関する条例を制定（条29）
	11	19	原町市公立学校通学区域に関する規則を制定（教規10）
	12	27	原町市社会教育委員の定数及び任期に関する条例が制定される（条63）
30	12	27	「泉の一葉松」福島県の天然記念物に指定される
		〃	「泉廃寺跡」福島県の史跡に指定される
	12	30	太田中学校校舎増築
31	5	15	原町市営夜の森テニスコート完成（三島町1丁目地内）
	8	21	原町第二小学校校舎完成
	9	4	「泉廃寺跡出土瓦一括26点」福島県の重要文化財に指定される
		30	石神村が原町市に合併
	10	3	教育長に対する事務委任規則を制定（教規6）
		〃	教育長専決規定を制定（教程1）
	11	7	「桜井古墳」国の史跡に指定される
	12	26	原町市教育委員会事務局処務規程を制定（教程3）
32	6	3	学校の長に対する事務委任規則を制定（教規1）
		〃	原町市立公民館管理運営規則を制定（教規2）
	10	1	原町市社会教育委員の会議運営に関する規則を制定（教規3）
	12	27	原町市育英資金貸付条例を制定（条28）
34	1	24	原町第二小学校体育館完成
	4	1	高平中学校を校名変更し原町第二中学校を設置
	5	10	高平校舎の347名原町第二中学校に移転
35	2	6	原町校舎の391名原町第二中学校に移転
	3	29	石神第二小学校プール兼防火用池完成
	4	6	原町市立公民館運営審議会規則を制定（教規2）
	7	20	原町市体育館条例を制定（条19）
	11	24	原町第二中学校校舎完成（桜井町1丁目地内）
		26	原町市立公民館の連絡等にあたる公民館に関する規則を制定（教程10）
36	3	31	高平小学校に体育館完成
	4	1	太田・大甕中学校を統合し原町第三中学校を設置（下太田川内前地内）
	7	31	原町市営雲雀ヶ原陸上競技場完成（中太田天狗田地内）
37	3	30	「木造十一面観音立像」が福島県の重要文化財に指定される
	4	20	大甕校舎から原町第三中学校に移転
	5	24	体育指導委員の定数、任期等に関する規則を制定（教規1）
	6	16	原町第二中学校体育館完成
		27	原町市教育委員会事務局組織規則を制定（教規2）
38	1	14	原町第三中学校校舎竣工
		18	太田校舎から原町第三中学校に移転、完全統合なる
39	2	1	石神第二小学校校舎増築
	3	27	原町市小学校及び中学校条例を制定（条37）
		〃	原町市公民館条例を制定（条38）
		〃	原町市文化財保護条例を制定（条例46）
	3	31	原町第三中学校の校舎及び給食調理室完成
		〃	原町第二小学校プール完成
	4	1	原町市文化財保護条例規則を制定（教規1）

	6 7 8 9	29 10 10 19	原町第一中学校校舎の一部火災により焼失 原町第一小学校プール完成（25m 5コース） 原町市スポーツ少年団発足（22団体 448人） 太田小学校の校舎増築
40	3 4 8 10	17 12 29 5 10	原町第一小学校体育館完成 原町第三中学校体育館完成 石神第二小学校横川分校1～6年生を廃止 原町市三道会館完成（三島町1丁目地内） 原町市総合体育大会を開催
41	2 4 11	15 1 20	原町第二中学校特別教室完成 充て指導主事1名配置 原町第二小学校特別教室完成
42	3 8 10	31 " 29 2 "	石神第一小学校不動分校（1～4年生）並びに原町第一小学校渋佐分校（1～2年生）を廃止 原町第二中学校プール完成（25m 6コース） 「陣太鼓」「鳥毛槍」を市有形民俗文化財に「平福德庵神馬額」「藤田家所蔵文書」を市有形文化財に指定 石神中学校給食調理室完成 原町第一中学校特別教室完成
43	1 3 8 11	26 25 31 15 10	原町第一中学校校舎完成 原町第二小学校校舎増築 原町市教育委員会職員の職名等に関する規則を制定（教規2） 原町第二小学校給食調理室完成 原町第一中学校体育館完成
44	2 3 4 11 8 11 11	25 31 1 11 24 3 20	原町市公の施設等の使用に関する条例施行規則を制定（規5） 大甕小学校堤谷分校（1～2年生）廃止 原町第一小学校に「ことばの教室」を開設 「初発神社のスダシイ樹林」福島県の天然記念物に指定される 原町第二中学校給食調理室完成 原町市民憲章を制定（告25） 原町第三中学校プール完成（25m 5コース）
45	2 6 11	25 28 1 12	石神第一小学校体育館完成 原町第二小学校に交通安全教育センター完成 教育委員会事務局に総務課、指導課を設置 「三島神社の竜と唐獅子」「野馬追図屏風」を市有形文化財に「片倉の笠松」「医徳寺のしだれ松」を市天然記念物に指定（教告4）
46	1 3 8 4 6 7 12	11 11 8 25 1 26 17 1 " 11	原町第一中学校給食調理室完成 「旧武山家住宅」国の重要文化財に指定される 石神第二小学校体育館完成 原町市幼稚園条例を制定（条9） 原町第三小学校を設置（原町第二小学校に併設） 石神第一、石神第二、高平、大甕、太田に幼稚園を設置 原町市立幼稚園の授業料の納入及び減免措置に関する規則を制定（教規5） 原町市教育施設使用規則を制定（規6） 原町市農業青年研修センター設置条例を制定（条19） 原町市農業青年研修センター管理規則を制定（教規5） 大甕小学校プール完成（25m 6コース）
47	2 5 6 7 " "	28 20 " 1 " "	原町第三小学校6年生、新校舎（上町1丁目地内）に移動 原町市教育委員会事務局財務規程を制定（教訓1） 市内小学校一年生の児童を対象に心電図検査を実施 原町市教育財産管理規則を制定（教規6） 原町市社会教育指導員設置等に関する規則を制定（教規7） 「羽山岳の木戸跡」を史跡に指定

	8	9 10 " 9 10 10 11 12	原町第三小学校校舎（第二期）完成、全校移動完了 太田小学校プール完成（25m 6コース） 原町第一小学校夜間スポーツ活動用夜間照明完成 原町第一小学校給食調理室完成 原町市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を制定（教規9） 原町第三小学校給食調理室完成 原町第三小学校体育館完成 市内小中学校にO・H・P46台導入
48	2 3 26 " 4 " 6 8 " 10	3 25 26 " 26 " 23 " 10	原町第一小学校校舎改築工事完成 原町公民館改築工事完成 原町公立学校教育指導委員設置に関する規則を制定（教規5） 原町市教育委員会公告式規則を制定（教則10） 原町市公立学校職員の勤務時間に関する規程を制定（教訓1） 原町市立幼稚園職員の勤務時間に関する規程を制定（教訓4） 原町市教育委員会公印規程を制定（教訓5） 指導主事1名を配置 羽山装飾横穴古墳を発見 市内小学校一年生の児童を対象に尿検査を実施 「泉の館跡」を市史跡に指定 石神第一小学校、石神第一幼稚園プール完成（25m 6コース） 原町第二小学校夜間スポーツ活動用夜間照明完成 市内小中学校にアナライザー16台設置 原町第一中学校に相撲場建設（国庫補助300,000円）
49	2 " 3 21 " 31 4 " 6 7 12	5 " 22 " 31 22 " 6 7 17 23	原町市立図書館完成 原町市立勤労青少年ホーム完成 原町第三小学校校舎完成 原町市野球場完成（桜井町1丁目地内） 原町市立図書館条例を制定（条21） 原町市勤労青少年ホーム条例を制定（条22） 原町市スポーツ施設条例を制定（条23） 原町第一小学校ことばの教室増築 教育委員会に対する事務委任規則を制定（規16） 原町市立図書館処務規則を制定（教規3） 原町市立図書館運営協議会の会議運営に関する規則を制定（教規4） 原町市勤労青少年ホーム条例施行規則を制定（教規5） 原町市文化センター管理規則を制定（教規6） 原町市体育館条例施行規則を制定（教規12） 原町市スポーツ施設使用料の減免及び返還に関する規則を制定（教規13） 原町市スポーツ施設条例施行を制定（教規14） 原町市教育委員会事務決裁規程を制定（教訓1） 原町市勤労青少年ホーム処務規程を制定（教訓3） 原町市立図書館規則を制定（教規2） 原町市教育委員会会議規則を制定（教規17） 原町市育英資金貸付条例施行規則を制定（教規21） 「羽山横穴」国の史跡に指定される
50	5 9	16 13	高平小学校校舎の一部を火災により焼失 原町第三小学校プール完成（25m 6コース）
51	3 " 4	23 30 1	石神第二小学校校舎の一部を火災により焼失 大甕小学校校舎改築及び給食調理室完成 原町市社会教育事業連絡協議会規程を制定（訓4・教訓1） 「聖石」鎧「紺威銅丸」・「金箔押盛上本小札紺糸威二枚胴具足」・「紺糸威二枚胴具足の兜と大袖」・「盛上本小札紺糸裾濃威胴丸」・「盛上本小札縹糸威二枚胴具足」・「切付

	6 10	5 30 31	盛上札色々威二枚胴具足」・「色々威胴丸」・「紺糸威胴丸および兜と袖」・「金箔押盛上本小札緋鹿角紺糸紋柄威二枚胴具足」を市有形民俗文化財に指定 原町市私立幼稚園在籍園児の保護者に対する助成金交付要綱を制定（教訓 2） 原町市勤労青少年ホーム運営委員会規則を制定（教規 3） 大甕小学校体育館完成
52	2 3 4 9	15 〃 17 20 1 2	原町第一中学校特別教室完成 石神第二小学校校舎改築及び給食調理室完成 高平小学校校舎（第一期）改築工事完成 原町市民プール完成（50m 9 コース） 学校給食に米飯導入（週 1 回） 高平小学校に給食調理室完成
53	3 5 8 9 11 12	3 〃 17 〃 〃 30 22 10 30 〃 10 27	高平小学校校舎（第二期）改築工事完成 高平幼稚園園舎改築工事完成 大甕幼稚園園舎改築工事完成 原町サッカー場完成（高見町 1 丁目地内） 大甕公民館の改築漏示完成 原町市補助金等の交付等に関する規則に基づく市長の権限を原町市教育委員会に委任する規則を制定（規 10） 「相馬野馬追」国の重要無形民俗文化財に指定される 高平小学校・高平幼稚園プール完成（25m 6 コース） 石神第一小学校給食調理室完成 原町市中心身障害児就学指導審議会条例を制定（条 28） 原町市中心身障害児就学指導審議会条例施行規則を制定（教規 2） 太田小学校の給食調理室改築工事完成
54	2 3 4 5 6 7 8	10 28 5 30 〃 31 〃 〃 1 7 20 30 15 〃	原町市勤労者体育センターの管理及び運営に関する条例を制定（条 5） 原町市公立小中学校管理規則を制定（教規 1） 太田幼稚園園舎改築工事完成 原町市スポーツ振興審議会条例を制定（条 6） 原町勤労者体育センター管理規則を制定（規 4） 原町運動公園テニスコート完成（高見町 1 丁目地内） 石神第二幼稚園園舎改築工事完成 石神公民館改築工事完成 原町市教育委員会事務局に社会教育課設置 原町市公立幼稚園管理規則を制定（教規 3） 石神第二小学校校舎増築 原町第一中学校プール完成（25m 7 コース） 原町市公立学校体育施設の開放に関する規則を制定（教規 7） 原町市公立学校体育施設の開放に関する実施要綱を制定（教訓 4）
55	1 2 3	19 20 24 〃	石神第一幼稚園園舎改築工事完成 高平公民館改築工事完成 石神第一小学校校舎改築工事完成 石神中学校校舎（第一期）改築工事完成
56	1 3 4 7 9	31 21 24 〃 25 31 〃 1 16 30 5	石神中学校給食調理室完成 太田公民館改築工事完成 石神中学校校舎（第二期）改築工事完成（校舎及び給食室） 太田小学校校舎（第一期）改築工事完成 原町市福島県営原町体育館管理条例を制定（条 7） 原町市福島県営原町体育館管理条例施行規則を制定（教訓 1） 原町市福島県営原町体育館処務規程を制定（教訓 1） 高平小学校通学区域の正常化を図る 原町市立公民館処務規程を制定（教訓 2） 石神中学校プール完成（25m 7 コース） 原町市弓道場完成（三島町 1 丁目地内）

57	3	11	石神中学校体育館完成
		29	太田小学校校舎（第二期）改築工事完成
		30	高平小学校校舎増築工事完成
	5	25	高平小学校体育館火災により焼失
	6	21	赤沼遺跡を試掘
	7	7	石神第二小学校用地を買収
	12	8	小川町体育施設にゲートボールコート（2面）完成
58	1	31	高平幼稚園園舎増築
	2	15	市営野球場にバックスクリーン及びスコアボード完成
		28	原町第二小学校校舎及び給食調理室改築工事完成（第一期）
		〃	大甕小学校校舎増築
		〃	石神第二小学校校舎増築
	3	30	桜井運動公園駐車場用地を買収
	4	1	修行年限2年以上の専修学校在学者を原町市育英資金貸付の対象とする
		〃	通学距離3km以上の小学校1年生、2年生のバス通学者にバス定期代実費の1／2を補助
59		〃	大甕・太田小学校通学区域の正常化
	5	10	高平小学校体育館完成
		27	原町市公立小学校遠距離通学費助成金交付要綱を制定（教訓2）
	1	31	太田小学校体育館改築工事完成
	2	29	原町第二小学校校舎改築（第二期）工事完成
		〃	石神第二小学校校舎改築工事完成
		〃	市営野球場に本部席、バックネット及びフェンス等設置
	3	4	原町第一中学校の校舎一部火災により焼失
		28	バス定期利用者以外の遠距離通学児童についても月額1,000円が58年4月に朔及し補助対象となる（教訓1）
		〃	原町市文化及びスポーツ振興基金条例を制定（条12）
60	4	12	遠距離通学助成対象者を小学生4年まで拡大（教訓2）
	5	1	原町市歴史資料及び民俗文化財調査員設置要綱を制定（教訓4）
		〃	原町市教育センター運営要綱を制定（教訓5）
	6	20	原町無線塔記録ビデオ完成
	7	31	原町第二小学校プール完成（25m 8コース）
	2	28	原町第二小学校校舎改築工事完成
	3	15	北新田に運動場、管理棟完成
61	4	1	全公民館に社会教育指導員配置
		〃	原町市教育委員会事務局処務規程全面改正（訓1）
		〃	副読本「社会科はらまち」を刊行し小学校第3学年児童に無償給付する
	7	20	石神第二小学校にプール完成（25m 6コース）
	11	8	教育相談員による教育相談開始（毎週火・金曜日）
	1	18	北新田に野球場完成
		30	石神第二小学校低学年用プール完成
		31	大甕公民館に研修室（洋室）増築
	3	10	原町第二中学校校舎改築（第一期）工事完成
		〃	原町第二中学校給食室改築工事完成
	4	1	原町市教育センター指導員配置
	7	1	市立幼稚園授業料改訂（現行3,000円を4,000円に改訂）
		31	雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成（公認期間延長66.8.5まで）
	8	25	原町第一小学校プール附属建物改修工事完成
		30	原町第一中学校校舎大規模改修（第一期）工事完成
62	11	17	市内中学校4校にパーソナル・コンピュータ各1台配置（NEC製）。
	12	13	石神中学校校舎増築
		15	北新田に第二運動場及び附属設備完成
62	2	28	原町第二中学校校舎改築（第二期）工事完成

	3	6	市指定文化財の解除（鎧・紺威胴丸）
	3	25	原町第二中学校自転車置場及び外構工事完成
	4	1	育英資金貸付条例の一部改正され、昭和 62 年度より貸付額の引上げ実施(条 4)
		〃	教育委員会事務局組織が改正され、社会教育課に文化振興係及び体育振興課を新設（教規 1）
	〃	〃	原町第二中学校に多目的ホールを設置し一般開放（教訓 4）
	5	12	市民プール公認期間延長（公認期限 67. 5. 10 まで）
		30	大甕幼稚園幼児プール設置
	6	1	原町第一小学校敷地借地 124 m ² 所有者佐々木隆殿より 寄付される
		30	原町市公立学校施設の開放に関する要綱を制定（教訓 4）
	7	1	生涯教育推進本部設置要綱を制定（教訓 5）
		〃	生涯教育推進会議設置要綱を制定（教訓 6）
		10	石神第二小学校及び大甕小学校に防球ネット設置
	9	30	原町第二中学校体育館床改修工事完成
	11	17	市内小学校 8 校にパーソナル・コンピュータ各 1 台を設置（NEC 製）
	12	21	原町第一小学校（南校舎）庇パラペット補修工事完成
63	2	29	原町第二中学校校舎改築（第三期）工事完成
	3	15	原町第二中学校外構及び解体工事完成
	4	1	原町文化及びスポーツ振興育成事業に関する規則を制定施行（教規 2）
		〃	原町市文化及びスポーツ振興育成事業特別会計条例を制定し助成事業を開始
	6	1	第 50 回国民体育大会原町市準備推進本部設置要綱を制定（教訓 1）
		〃	第 50 回国民体育大会原町市幹事会設置要綱を制定（教訓 2）
	11	10	北新田運動場（第一運動場）緑化工事完成
	12	19	石神第二幼稚園遊戯室改築（180 m ² ）完成
平成 元年	1	8	元号改正され「平成」となる
	3	13	石神第二小学校体育館改築（1,100 m ² ）工事完成
		20	市野球場マウンド改修工事完成（基準改正による）
	4	1	原町市語学指導を行う外国青年の給与に関する条例を制定（条 3）
		〃	育英資金貸付条例の一部改正され、平成元年度より貸付額の引上げ実施（条 8）
		〃	招致外国青年就業規則を制定（教規 2）
		〃	教育委員会事務局組織が改正され、体育振興課に国体係を新設（教規 1）
	6	20	北新田運動場（第二運動場）緑化工事完成
	9	20	市野球場に内野スタンド新設（252 人収容）
	10	11	原町第二中学校に相撲練習場（68.96 m ² ）完成
	12	10	北新田運動場に、プレハブ倉庫（46.2 m ² ）完成
		26	育英資金貸付条例の一部改正され、大学生貸付額に区分を設け、なお、貸付額の引上げ実施（条 43）
		〃	原町市公民館条例の一部改正を行い、「ひがし公民館」を設置する条例を制定（条 44）
2	2	15	原町第三中学校校舎一期（1,496 m ² ）及び給食室（127 m ² ）改築及び防球ネット・フェンス等設置工事完成
		28	原町第三小学校校舎増築（861 m ² ）及び外構工事完成
	3	20	原町第二小学校体育館及び附属便所改修工事完成
		〃	ひがし公民館建設（493 m ² ）
	7	20	北新田運動場（多目的広場）緑化工事完成
	8	20	市野球場に内野スタンド新設（二期）
		31	運動公園に原町市相撲場建設
	10	5	原町第一小学校屋体整備第一期改修工事完成
		9	原町第二中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC 製）10 台配置
	11	9	原町市相撲場関連施設工事完成

3	3	11	原町第三中学校校舎二期（2,151 m ² ）改築工事完成
		15	原町第一小学校（北校舎）庇パラペット補修工事完成
		25	原町第三中学校屋外環境整備工事、外構工事等完成
	3	28	教育委員会事務局組織が改正され、体育振興課国体系を市長部局に組織替となる
	4	1	社会体育課が生涯教育課と改称（4月1日実施）
	7	17	雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成（公認期間延長 8. 8. 5 まで）
	10	15	原町第三小学校パラペット・外壁塗装改修工事完成
		31	原町市野球場スタンド改修工事完成
4	1	24	野馬追の里歴史民俗資料館建設の基本構想
		31	市指定文化財の解除（天然記念物・片倉の笠松）
	2	29	原町第一中学校校舎一期（534 m ² ）増改築工事完成
	3	31	原町第三中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）10 台配置
		〃	グランドピアノ 5 台を更新（原町第二小学校・太田小学校・石神中学校・原町第一中学校・原町第二中学校）
		〃	教育委員会事務局組織が改定され、生涯教育課を生涯学習課と文化課の 2 課とする（4月1日実施）
	4	1	県営原町体育館を原町市スポーツセンターと名称を変更
	9	12	学校週五日制に係る学校開放事業開始
	10	6	市民プール公認期間延長（公認期間 9. 5. 10 まで）
5	3	5	原町市第三小学校屋体の屋根ふき替工事完成
		10	太田小学校校舎（400 m ² ）改築工事完成
		〃	原町第一中学校校舎二期（509 m ² ）増築工事完成
		20	原町第一中学校・石神中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）10 台配置
		30	グランドピアノ 8 台を更新（石神第一小学校・石神第二小学校・原町第一小学校・原町第三小学校、全中学校）
		〃	全小中学校にファクシミリ機器を設置
		31	「八坂神社のアカガシ樹林」を市天然記念物に指定
	4	1	市情報公開条例により教育委員会が実施機関となる
		〃	各公民館に空調設備工事完成
	8	30	「野馬追図の屏風」を市有形民俗文化財に指定
	9	1	原町第一中学校屋内運動場（一期）工事完成
		10	大甕小学校校舎外壁・防水改修工事完成
		30	全中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）10 台配置
	10	29	1 学校 21 台の配置を完了
	12	20	生涯学習都市宣言
6	1	31	野馬追の里歴史民俗資料館建設起工式
	3	15	大甕小学校・原町第二中学校及び原町第三中学校のプール施設の全面改修工事完成
		25	太田小学校・原町第三小学校・石神第一小学校プール改築・改修工事完成
		〃	サッカー場改修工事完成（芝張）
		31	勤労者体育センター外部等改修工事完成
	6	20	高平小学校プール施設の全面的な塗装改修工事完成
	7	20	市立図書館及び原町公民館事務室の冷暖房設備の整備
	9	20	太田幼稚園の園庭整備（太田小旧プール跡地の活用）
		30	原町第一中学校屋内体育館の内・外壁及び照明器具の全面改修工事完成（平成 5 年は、当該施設の床の全面改修を図ったもの）
	6	20	高平小プール全面塗装改修工事完成
	9	20	太田幼稚園園庭整備
		30	原町第一中学校屋内運動場改修工事完成（2 期）
	10	31	石神中学校運動場用地取得（8,528 m ² ）
7	3	15	大甕小学校プール改築工事完成
		〃	原町第二中学校プール改築工事完成
		〃	原町第三中学校プール改築工事完成

	4	1	野馬追の里歴史民俗資料館開設
		〃	原町市生涯学習センター、各地区生涯学習センター開設
	5	1	「北萱浜の天狗舞」・「馬場の神楽七芸」を原町市無形民俗文化財に指定
	8	26	野馬追の里歴史民俗資料館一般公開開始
	9	20	大甕小学校浄化槽全面改修工事完成
	10	31	原町市体育館屋根改修工事完成
8	3	22	小川体育館改築完成
		〃	原町市野球場夜間照明施設整備
		〃	石神中学校プール改築工事完成
		〃	石神中学校運動場整備
		〃	運動公園テニスコート改修工事完成
	4	1	生涯学習部設置
	5	9	野馬追の里歴史民俗資料館が博物館法に定める博物館に登録される
	6	26	全小学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）各 21 台配置
	8	15	農業研修センターを改築し、陸上競技場管理棟に改める
	11	1	原町市教育相談室「やすらぎ広場」開設
9	3	17	原町第二中学校屋内運動場改築工事完成
	4	1	生涯学習部文化課内に市史編さん担当の配置
		〃	石神第一幼稚園で 3 歳児保育を試行
		〃	市立幼稚園の授業料改訂（月額 4,000 円から 5,000 円へ）
	7	24	英語指導助手 2 名体制となる
	10	1	生涯学習まちづくり出前講座開講
		15	全中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）各 42 台配置
	12	2	原町図書館業務電算システム導入
10	3	20	石神第一小学校屋内運動場改築工事完成
	4	1	生涯学習部文化課内に市史編さん室を設置
		〃	野馬追の里歴史民俗資料館が野馬追の里原町市立博物館に名称変更
		〃	「野馬追の図二葉」を市有形民俗文化財に指定
		〃	全幼稚園において 3 歳児保育開始
	6	30	文化センター、各地区生涯学習センターの冷暖房の整備
11	3	12	原町第三小学校屋内運動場改築工事完成
12	1	28	原町第三中学校屋内運動場改築工事完成
	2	1	「銅製鰐口 2 口」を市有形文化財に指定
		〃	「桜井古墳群上渋佐 7 号墳」を市史跡に指定
	3	30	ふれあいドーム建設完成
		31	「紙本著色野馬追図 二鋪」が福島県の重要有形文化財に指定される （市有形民俗文化財「野馬追の図二葉」は市指定解除）
	4	1	原町市教育委員会所管に係る原町市個人情報保護条例施行規程を制定（教訓 2）
		〃	原町市教育委員会会議規則全面改正（教規 1）
		〃	学校給食用食器を漆器製食器に切り替え使用開始
13	4	1	原町市教育委員会事務局等組織規則全面改正
		〃	原町市生涯学習センター条例及び施行規則制定
		〃	原町市公立中学校管理規則全面改正
		〃	市立幼稚園の授業料を改訂（月額 5,000 円から 5,700 円へ）
	8		ひばり生涯学習センター建設完成
	8	31	小学校にパーソナル・コンピュータ（富士通製）各 51 台、中学校に各 9 台（富士通製）を配置
	9	1	「上渋佐 7 号墳出土銅鏡」を市有形文化財に指定
14	2	16	市民文化会館建設着工
		20	原町第三中学校屋外運動場（テニスコートフェンス）整備
		28	太田幼稚園園舎（保育室）増築
	8	23	全中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）各 42 台の入れ替え
	11	5	「野馬土手」及び「行方郡家政庁院跡」を市史跡に指定

		〃	「高平の板石塔婆群」、「荷渡大権現の板石塔婆群」、「相馬太田神社板石塔婆群」及び「社号額『大明神』」を市有形文化財に指定
15	2 3 4 5 6 8 10	7 25 1 18 18 20 23 30	大甕小学校屋内運動場改築工事完成 原町市史第4巻「古代・中世」の刊行 公募による地区生涯学習センター所長が就任 桜井古墳公園開園 ハネダ・カンボス彗星の看板を設置 市立幼稚園トイレの洋式化（2ヶ所） 小学校にパーソナル・コンピュータ（富士通製）全100台、中学校全47台を配置 市民文化会館建設完成
16	2 3 4 6 8 11	25 25 1 〃 30 24 13	原町市史第10巻「野馬追」の刊行 市野球場改修工事完成（ダッグアウト増設、フェンス防護マット設置、防球ネット設置） 市立図書館が図書業務係と建設係の2係となる 市内中学校給食の民間委託を行う 市民プールを改修工事完成 原町第二小学校トイレの洋式化 第10回全国報徳サミット原町大会を開催
17	2 3 4 7 8 12	1 25 31 1 29 31 11	子ども110番の家・車を指定し、防犯マップを作成 原町市史第8巻「自然」の刊行 「火縄銃 銘中村住神尾久右衛門橘公宗」「黒漆塗鳩胸五枚胴具足 附采配 具足櫃 櫃覆」を原町市文化財として指定 市立幼稚園で預かり保育を実施 市立幼稚園に空調設備設置 石神中学校、太田小学校のトイレの洋式化 石神中学校屋内運動場火災により全焼

南相馬市

年	月	日	沿 革
平成 18	1	1	小高町・鹿島町・原町市の二町一市が合併して南相馬市となる
		26	浦尻貝塚（小高区浦尻）、国指定史跡となる
		30	運動公園トリムコースの外灯を増設
	2	28	原町第一中学校北校舎耐震補強工事完成
	3	24	原町市史第9巻「民俗」の刊行
		31	小高町史「おだかの人物」「写真集おだかまちのすがた」の刊行
	4	1	市立幼稚園園長（小高幼稚園、福浦幼稚園、鳩原幼稚園を除く）の専任化
	5	31	石神中学校屋内運動場取壊し（18.3.28～）
	9	27	雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成（公認期間延長 23.8.5 まで）
		29	小高町史「おだかの歴史入門」の刊行
	11	30	鹿島町史「ふる里の歴史」の刊行
19	2	28	石神中学校屋内運動場改築工事完成
	3	15	上真野小学校屋外プール改築工事完成
		26	原町市史第5巻「近世」の刊行
		30	小高町史「写真集おだかまちの民家」の刊行
	5	15	石神中学校屋内運動場落成式
20	2	1	小高体育センターにトレーニング室設置
		15	小高中学校南校舎耐震補強工事完成
		29	真野小学校屋外プール改築工事完成
		〃	原町第一小学校南校舎耐震補強工事完成
	3	24	原町市史第11巻「旧町村史」の刊行
		28	小高町史「海辺の民俗～福浦村を中心に」の刊行
	4	1	小高図書館・鹿島図書館が地域教育課所管から原町図書館所管となる
21	2	13	小高中学校北校舎耐震補強工事完成
		18	原町第一小学校北校舎耐震補強工事完成
		23	上真野小学校屋内運動場改築工事完成
		27	鹿島小学校校舎耐震補強工事完成
		31	小高町史「DVD映像で見るおだかの民俗芸能」の刊行
	3	1	スポーツ施設指定管理制度導入
	4	10	小浜千石稲荷神社 地引網漁図絵馬、市有形民俗文化財に指定
		15	原町市史「旧町村史」が福島民報出版文化賞特別賞受賞
	10	16	博物館入館者開館以来20万人達成
	12	1	移転により原町図書館から中央図書館に名称変更
22	2	22	泉官衙遺跡（原町区泉）、国指定史跡となる
		〃	浦尻貝塚、国史跡の追加指定となる
		26	福浦小学校校舎耐震補強工事完成
	3	4	原町第二小学校屋内運動場改築工事完成
		31	小高町史「山手の民俗～金房村を中心に」の刊行
	10	7	八沢小学校屋内運動場改築工事完成
23	1	31	原町市史第3巻「考古」の刊行
		2	横大道製鉄遺跡（小高区飯崎）、国指定史跡となる
		28	原町第一小学校屋内運動場改築工事完成
	3	11	東日本大震災（震度6弱、大津波警報）
		〃	大津波により真野小学校及び真野幼稚園が被災
		12	避難指示（福島第一原発から半径20km圏内）
	4	15	屋内退避指示（福島第一原発から半径20km～30km圏内）
		22	警戒区域指定（福島第一原発から半径20km圏内）
		〃	緊急時避難準備区域指定
		〃	（福島第一原発から半径20km～30km圏内は教育施設休止）

4 5 6 8～11 8 9 10 11 12	4 5 6 8 9 10 11 12	22 25 6 " " 1 29 1～5 5～7 9 " 25 " 1 30 11 17 " 20 31 " 1 " 15 21 30 6 22 28	小・中学校が鹿島区に移転し再開（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
			炊き出し昼食提供開始（2, 500食）
			小学1年生の入学式（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
			公立保育園の再開（かしま保育園・かみまの保育園）
			私立保育園の再開 （原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園が鹿島区寺内地区に臨時園舎にて再開）
			児童クラブの再開（千倉（鹿島）・上真野・八沢小学校）
			公立幼稚園の再開（鹿島区鹿島幼稚園・上真野幼稚園）
			八沢小地震被害改修工事完成
			除染作業（保育園・幼稚園・小・中学校の校庭・園庭の表土入替え及び校舎・園舎の洗浄）（警戒区域を除く）
			中央図書館施設除染作業
			中央図書館の再開
			南相馬市博物館の再開
			学校給食再開（3, 300食）
			鹿島区内小・中学校にユニット教室完成・使用開始（24教室～高平小・大甕小・原町一小・石神二小・小高小・金房小・鳩原小・原町二中）
			公立幼稚園の再開（鹿島区八沢幼稚園）
			緊急時避難準備区域の解除（福島第一原発から半径20km～30km圏内）
			私立保育園の本園再開（原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園）
			原町区内小中学校の本校再開①（原町一小・原町三小・大甕小・原町一中・原町二中）
			児童クラブの再開（東町・上町・大甕児童クラブ）
			原一小地震被害改修工事完成
			原一中地震被害改修工事完成
			原二中地震被害改修工事完成
			私立幼稚園再開（青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園・さゆり幼稚園）
			原町区内の生涯学習センター（原町を除く）を再開
			南相馬市紹介映画「悠久の風吹くまち」の上映を開始
			仮設校舎完成・使用開始（鹿島小仮設校舎～真野小・福浦小・小高小・鹿島中仮設校舎～石神一小・石神中）
			石神中地震被害改修工事完成
			鹿島図書館の再開
			石神二小地震被害改修工事完成
			原二小地震被害改修工事完成
24	1 2 3 4	1 8 10 " 20 1 15～27 " 29 1 15 31 1 " " "	南相馬市民文化会館を再開
			南相馬市成人式を3区合同により「ゆめはっと」で開催
			原町区内小学校の本校再開②（原町二小・高平小・太田小）
			児童クラブの再開（橋本町児童クラブ）
			高平小地震被害改修工事完成
			スポーツ施設の再開 （原町区内：南相馬市テニスコート、南相馬市弓道場、原町ふれあいドーム） （鹿島区内：千倉体育館、前川原体育館）
			小・中学校プールの除染作業（警戒区域を除く）
			原町区内小中学校の本校再開③（石神一小・石神二小・原町三中・石神中）
			児童クラブの再開（石神第二児童クラブ）
			鹿島小地震被害改修工事完成
			スポーツ施設の再開（夜の森公園テニスコート）
			原三小地震被害改修工事完成
			鹿島体育館、牛島体育館を解体・廃止
			児童クラブの再開（石神第一児童クラブ・高平児童センター）
			鹿島生涯学習センターを再開
			原町生涯学習センターが市民情報交流センターに一時移転し、業務を再開
			スポーツ施設の再開（栄町柔剣道場）

	4	〃	公立幼稚園の再開（原町区大甕幼稚園・高平幼稚園）
		〃	生涯学習課とスポーツ推進課が市長部局「市民生活部文化スポーツ課」に再編移行
	3	3	学校図書館支援員の派遣開始（原町三小・石神二小・小高小・鹿島小）
	6		鹿島中仮設校舎入居校（小高小・金房小・鳩原小）
	9		スポーツ施設の再開（南相馬市スポーツセンター）
	7	1	スポーツ施設の再開（南相馬市野球場、北新田野球場、北新田運動場多目的広場）
		2	スポーツ施設の再開（雲雀ヶ原陸上競技場）
	14		スポーツ施設の再開（南相馬市民プール）
	8	31	太田小地震被害改修工事完成
	11	9	南相馬市文化センターの解体
	12	28	原町市史第6巻「近代」の刊行
25	2	28	鹿島・原町区小中学校空調機器（エアコン）整備（上真野小・石神中を除く）
	3	29	小高町史「資料の調査と記録」の刊行
		31	南海老グラウンドを廃止
	〃		鹿島歴史民俗資料館を廃止
	4	1	福浦小が鹿島小仮設校舎から鹿島中仮設校舎へ引越し
	〃		真野小が鹿島小仮設校舎から鹿島小校舎へ引越し
	〃		南相馬屋内市民プールの市の直営管理を開始
	〃		原町生涯学習センターがサンライフ南相馬に移転
	〃		市内全小学校（16校）への学校図書館支援員の派遣開始
	29		鹿島中地震被害改修工事完成
	5	17	スポーツ施設の再開（南相馬市相撲場）
		20	スポーツ施設の再開（小川町体育館）
	7	1	スポーツ施設の再開（北新田第一運動場・北新田第二運動場）
		16	鳩原小地震被害改修工事完成
	8	30	小高小地震被害改修工事完成
	〃		金房小地震被害改修工事完成
	9	1	原町ふれあいドームを廃止
		30	小高中学校屋内運動場耐震改修工事（地震被害改修工事含む）完成
	〃		福浦小地震被害改修工事完成
	11	29	原町第一中学校屋内運動場改築工事完成
	12	16	小高生涯学習センター「浮舟文化会館」を再開
26	1	31	上真野小学校校舎耐震改修工事（エアコン整備を含む）完成
	2	3	スポーツ施設の再開（小高体育センター）
	3	10	原町第二小学校プール改築工事完成
		31	鹿島区真野幼稚園廃止
	4	1	真野小を鹿島小に統合
	〃		市内全中学校（6校）への学校図書館支援員の派遣開始
	6	25	朝日座、国登録有形文化財となる
	7	20	石神中学校校舎耐震改修工事完成（エアコン整備を含む）
	8	30	鹿島町史第1巻「通史」の刊行
	9	29	小高中エレベーター設置工事完成
	12	3	新八沢児童クラブ開所
		1	鹿島中敷地内仮設体育館竣工・供用開始
27	2	1	スポーツ施設の再開（南相馬市馬事公苑）
	3	3	原町区公立保育園芝生化整備（原町あずま保育園）
	〃		鹿島区公立保育園芝生化整備（かしま保育園・かみまの保育園）
	6		鹿島区公立幼稚園芝生化整備（八沢幼稚園・上真野幼稚園）
	7		新潟県立大学との子どもの福祉・教育に関する連携協定締結
	13		原町区公立幼稚園芝生化整備（大甕幼稚園・高平幼稚園）
	31		上町児童センター耐震改修工事完成
	〃		原町市史第7巻「現代」の刊行
	〃		村上の田植踊、県指定重要無形民俗文化財となる

	4	1	公立保育園の再開（原町あずま保育園）
		〃	南相馬屋内市民プール指定管理制度導入
	7	21	スポーツ施設の再開（みちのく鹿島球場）
28	3	31	鹿島町史別巻「続現代資料」の刊行
		〃	小高町史「おだかまちの現代資料～南相馬市誕生までの30年～」の刊行
	4	1	南相馬市就業改善センター、小高コミュニティセンター再開
		23	公立保育園の再開（原町さくらい保育園）
		26	相馬野馬追図屏風、県指定重要有形民俗文化財となる
		27	スポーツ施設の再開（鹿島体育館）
	5	26	移動図書館車運行スタート（中央図書館）
	7	15	小高図書館再開
		〃	埴谷・島尾記念文学資料館再開
		21	新鹿島児童クラブ開所
	8	1	大谷家住宅東蔵・中蔵・門、国登録有形文化財となる。
	10	17	南相馬市パークゴルフ場供用開始
29	3	31	原町市史第1巻「通史Ⅰ」の刊行
	4	1	公立幼稚園の再開（小高区小高幼稚園）
		〃	南相馬市パークゴルフ場指定管理者制度導入
		〃	スポーツ施設の再開（小高中部運動場・小高西部運動場）
	10	27	高島家住宅コンクリート蔵・門及び塀、国登録有形文化財となる
30	2	13	泉官衙遺跡、国史跡の追加指定となる
	3	30	小高町史「町場と里の民俗～小高町を中心に～」の刊行
	4	1	市民生活部文化スポーツ課を「市民生活部生涯学習課」と「市民生活部スポーツ推進課」に組織再編
	4	6	杉阿弥陀堂 木造阿弥陀如来坐像・木造毘沙門天立像、県指定重要文化財となる
	4	15	南相馬市テニスコート増設8面供用開始
	11	2	天野家住宅主屋、米蔵、西蔵、外便所、正門、通用門・裏門および塀、太田家住宅屋、米蔵、味噌蔵、道具蔵、鈴木家住宅主屋、国登録有形文化財となる。
	12	27	原町市史第2巻「通史Ⅱ」の刊行
31	4	1	組織機構改革により市民生活部生涯学習課を「教育委員会事務局生涯学習課」に編入
		〃	幼児教育課が市長部局「こども未来部こども育成課」に再編移行
		〃	スポーツ施設の再開（千倉グラウンド・前川原グラウンド）
令和 元年	5	1	元号改正され「令和」となる

編集・発行

令和元年7月発行

南相馬市教育委員会

〒975-8686

福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地

TEL 0244-24-5282

FAX 0244-23-7782

